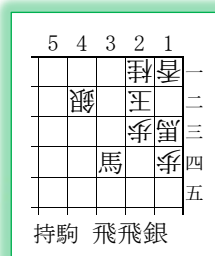
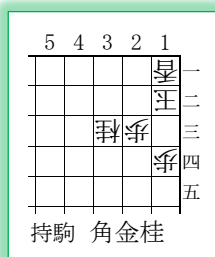
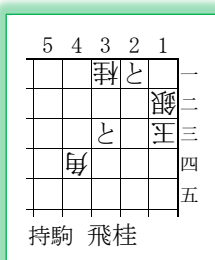


小石広志、Subの名で創作歴60年

安南詰全集 小西 寛

安南詰一筋 足跡を訪ねて



安南詰一筋で生涯を終えた小西寛氏の全集

安南詰のバイブル

発表作品は渾身の236局

付録 柴田昭彦氏/大野孝氏との私信を収録

目次

No.	発表誌／掲載内容	頁
001	詰棋界 1955(S30)年 1月号	2
002～006	近代将棋1968(S43)年 6月号	2
007～011	近代将棋1968(S43)年10月号	4
012～016	近代将棋1969(S44)年 5月号	5
017～019	近代将棋1970(S45)年 1月号	7
020～021	近代将棋1970(S45)年 2月号	7
022～025	詰バラ 1979(S54)年 (小石)	8
026～033	詰バラ 1980(S55)年 (小石)	9
034～042	詰バラ 1981(S56)年 (小石)	12
043～048	詰バラ 1982(S57)年 (小石)	14
049～054	詰バラ 1983(S58)年 (小石)	16
055～059	詰バラ 1984(S59)年 (小石)	18
060～066	詰バラ 1985(S60)年 (小石)	19
067～070	詰バラ 1986(S61)年 (小石)	22
071～076	詰バラ 1987(S62)年 (小石)	23
077～078	詰バラ 1989(H01)年 (小石)	25
079～082	詰バラ 1990(H02)年 (小石)	26
083～088	詰バラ 1991(H03)年 (小石)	27
089～093	詰バラ 1992(H04)年 (小石)	29
094～096	詰バラ 1993(H05)年 (小石)	31
097～100	詰バラ 1994(H06)年 (小石)	32
101～102	詰バラ 1999(H11)年 (Su b)	33
103～111	詰バラ 2000(H12)年 (Su b)	34
112～123	詰バラ 2001(H13)年 (Su b)	38
124～126	詰バラ 2002(H14)年 (Su b)	43
127～132	詰バラ 2003(H15)年 (Su b)	44
133～139	詰バラ 2004(H16)年 (Su b)	46
140～147	詰バラ 2005(H17)年 (Su b)	50
148～155	詰バラ 2006(H18)年 (Su b)	53
156～170	詰バラ 2007(H19)年 (Su b)	57
171～174	詰バラ 2008(H20)年 (Su b)	62
175～195	詰バラ 2009(H21)年 (Su b)	65
196～207	詰バラ 2010(H22)年 (Su b)	72
208～217	詰バラ 2011(H23)年 (Su b)	77
218～221	詰バラ 2012(H24)年 (Su b)	81
222	詰バラ 2013(H25)年 (Su b)	83
	おもしろゲーム将棋	84
	四百人一局集	85
223～236	作品集発表作品	86
237～246	付録1「柴田昭彦氏との私信より」	93
	付録2「大野孝氏との私信より」	119
	作品集作品一覧表 (刊行版)	122
	編集後記	123

注意書き

- ・小西寛氏作として判明している作品で、安南詰と安南ばか詰のみを掲載しています。
小西氏は数十局の普通作を発表していますが、タイトル通り本編では割愛致します。
- ・分かる範囲で調査した結果ですが、パラ以外や読者サロン等での漏れがあるかもしれません。
- ・発表誌の記述内容をそのまま掲載しています。
明らかな誤記以外は修正していません。
- ・＊以降や太字の記述は編者で追加 (追記) したものです。上記の修正分を含む。
- ・作品集は2004年11月に本人により手書き版を作成 (柴田昭彦氏所蔵の1部)。その後も発表は続きましたが、修正版を発行されないまま2012年に逝去。手書き版を優先した内容で、可能な不完全作の修正、その後の作品から11局選出した活版本を大野孝氏の手により2016年6月に正式に刊行されました。
文中の記載内容は本経緯に基づきます。
- ・刊行後も不完全は判明しており、作品集に選出された作品を中心に修正図の検討、掲載をしています。
- ・番号 (No.) は編者が付けた作品指定番号です。
新作として掲載された作品はすべて採番しています。同一図や改作図などを含みます。
- ・引用記事は作品発表図の所に掲載していますが、おもしろゲーム将棋、四百人一局集 は別枠で掲載しています。

ルール

【安南詰】味方どうしの駒が、間を空けずに前後に重なった場合 (その瞬間) に限り、前の駒は後の駒の性能になる。駒自体は不変で性能変化のみ。前の駒は後の駒の性能が変わっていても、後の本来の駒の性能に変化する。

重なりが解消された瞬間に本来の駒の性能に戻る。(後駒が取られたり、関係が崩れた瞬間に)

- ・二歩禁 (筋が変わって動く場合も含む)
- ・打歩詰禁止 (歩の駒で、どんな動きでも)
- ・行き所のない駒は可 (B式)。すかし詰可。

【安南ばか詰】上記ルールに加えて、先後協力して最短手数 (表示手数) で詰ませる。最短手数より長い詰手順はいくら存在しても構わない。
すかし詰不可。(手数が延びるので無駄合はない)

【詰棋界 1955(S30)年 1月号】

変則詰将棋としてはいろいろあるようだが、今までに

①二つ玉詰将棋。

②玉以外の駒を詰める詰将棋（良い名がないかな）

③安南詰将棋

などが発表されております。

③については内藤国雄氏が難解作をものされており、いずれ御紹介されるでしょう。

（期待しております）

私も次のような安南詰将棋を創りましたが、こんなものでも検討は厄介です。

（大阪 長田富美夫）

No.001 長田富美夫

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	科	皇	一
											二
								馬			三
								駒		角	四
											五
										香	六
											七
											八
											九

安南詰

11手

詰棋界

1955年1月号

作品集

第12番

持駒 飛銀銀

32飛 41玉 42銀 同銀 31飛成 同玉 32銀 22玉 12角成 同香 23銀生まで11手詰。

作品集

初期の作品。桂頭玉、銀一枚、小石流。



*大野孝氏『安南詰将棋作品集』内

磯田征一氏『安南将棋・安南詰将棋の歴史』より要約

呼び名は「安南」として誕生し、「朝鮮」が長く使われたが、小石氏が「アングラ」を提唱。1970年代中盤以降は元の「安南」に定着した。

【近代将棋 1968(S43)年6月号】

アングラ詰将棋

小石広志

次に紹介するのは、巷間いう所の朝鮮詰将棋です。この名前は、実際に朝鮮将棋のある以上、まぎらわしいので、小生勝手にアングラ詰将棋と改名しました。

このアングラの特徴、即普通の将棋と違う所は駒が重なっている場合は、その瞬間だけ上の駒の性能が下の駒のそれになる事です。その瞬間だけという意は、離れると本来の駒の性能になってしまう訳です。

また、普通の将棋と異なる点は、行き所のない駒はないという事です。だから、一段目の桂香歩、二段目の桂も存在します。

二歩の方も一寸やっこしいのですが、A図は成立せず、B図は成立します。なぜなら、B図は歩が成れるからです。

お分かりになりましたか。では、拙作五題を詰めてみて下さい。

A図

5	4	3	2	1	
					一
					二
				香	三
				王	四
					五
			歩	歩	六
		角			七
					八
					九

B図

5	4	3	2	1	
					一
				王	二
					三
			歩	歩	四
		角			五
					六
					七
					八
					九

No.002 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	科	皇	一
											二
							と	王			三
								香	香		四
							角				五
											六
											七
											八
											九

安南詰

9手

近代将棋

1968年6月号

- 1 -

*関連図

No.239

持駒 銀

22角成 34玉 44馬 23玉 32銀 13玉 22馬 同玉 23銀生まで9手詰。

No.003 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
								王
							歩	三
							歩	四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
9手
近代将棋
1968年6月号
- 2 -
作品集
第2番(原図)

持駒 飛銀

32飛 13玉 22銀 12玉 21銀生 13玉 12銀成
同香 22飛成まで9手詰。

作品集 第2番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
								王
							歩	三
							歩	四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
11手
2004/11(手書)
2016/6 (刊行)

*関連図
No.071・211

持駒 飛金銀

12金 同玉 32飛 13玉 22銀 12玉 21銀生 13
玉 12銀成 同香 22飛成まで11手詰。

作品集

狙いは7手目、銀をどう動かすか。3三は論外、
3一銀ナラズは飛の働きになり不詰コース。

No.004 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						と	皇	一
						王	二	
						歩	三	
								四
					銀			五
						歩	六	
								七
								八
								九

安南詰
9手
近代将棋
1968年6月号
- 3 -
作品集
第32番

持駒 角銀

32角 14玉 13と 同玉 24銀 同歩 14銀 12玉
23角成まで9手詰。

作品集：2四銀捨てが安南の得意技。
好型でまづまづの仕上り。

No.005 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
11手
近代将棋
1968年6月号
- 4 -
作品集
第16番

持駒 飛銀

22飛 33玉 34銀 44玉 33銀生 同桂 24飛成
34金打 同龍 同金 35金まで11手詰。

作品集

2二飛一発で案外狭い。5二飛配置が詰上り
限定と3四飛合の不詰防ぎになった。

*関連図：No.100、126

No.006 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

不詰・余詰

安南詰
23手

近代将棋
1968年6月号
- 5 -

持駒 銀

12飛成 24玉 ㊶22龍 23香 同龍 同玉 25香
24金 同香 ㊶同桂 22馬 34玉 25金 45玉 44
馬 36玉 26馬 45玉 54銀打 55玉 44馬 同玉
45銀まで23手詰。

*不詰 ㊶同玉または13玉で不詰

余詰 ㊶21龍 23香 同龍 同玉 33馬以下

逃げ口上ですが、平凡な早詰や余詰が
あるかも知れません。検討も厄介ですし、そ
れよりも早くこの詰棋になれる事です。

割合、面白いでしょう。貴方も一つ作って
みては…。

【近代将棋 1968(S43)年10月号】

続 アングラ詰将棋 小石広志

六月号で拙作五題紹介しましたが、作り易いのは玉を桂頭へ導く手筋ものでしょうね。もう少しこの種の詰棋力を養えば、趣向ものや合駒もの、ひょっとすると煙も可能かも…。またアングラにしか起り得ぬ三重王手等も面白い題材です。では今回は拙作五題をどうぞよろしく。一寸手強いのもありますよ。

No.007 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	飛	星	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛銀銀

32飛 41玉 42銀 同銀 31飛成 同玉 32銀 22玉 12角成 同香 23銀生まで11手詰。

No.008 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						星	飛	馬	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

27銀 14玉 16銀 13玉 25銀 12玉 13銀生 21玉 14桂 32玉 21銀生まで11手詰。

【詰将棋パラダイス 1979(S54)年4月号】

[担当：加藤 徹]

温故知新

さて、今月の問題は、趣向をかえて昔の作品からいくつかとりあげてみました。フェアリー詰将棋って、案外古くからあるんですよ。

小石氏は、43年から45年にかけて、近将に多数の安南詰を発表した。本局は、安南ルールの特徴を活かしたユーモラスな作品。

初形からは銀が21まで行くとはい想像できない。趣向的な手順は担当子のお気にいり。

*大野孝氏『安南詰将棋作品集』内

磯田征一氏『安南将棋・安南詰将棋の歴史』
大野：銀、桂がスクラムを組んで進んでいくのはわたしの123番にもあります。
磯田：躍動的で気持ちのいい手筋ですね。

No.009 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角金

36角 25香 ①15金 23玉 45角 同桂 35桂 33玉 42歩 22玉 23桂成まで11手詰。

*余詰

②24金 41玉 63角成 31玉 53馬以下。

No.010 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金

13金 同玉 24角 ①14玉 13角成 同玉 24金 ②同歩 12金 ③同香 23角成まで11手詰。

*不詰 ④22玉以下。

作品集は⑤同玉が作意。

作品集

4一金が苦心の配置。間延びしない様、重い金が軽く捨てられる。

作品集 第43番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					金			王
					角			王
					金	金		王
						金		王
					角		金	王
								王
							歩	王
								王
								王

安南詰
11手

作品集(刊行版)
2016年6月

修正図
大野 孝

持駒 金金

変化㊥22玉 23金 31玉 33金打 32金 同金まで2手長駒余り。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					金			王
					角			王
						金		王
						金		王
					角		金	王
						金		王
							歩	王
								王
								王

安南詰
11手

刊行後検討
修正図
佐藤 達也

持駒 金金

No.011 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						金		王
					金	金		王
					金	金		王
								王
								王
								王
							歩	王
								王
								王

安南詰
13手

近代将棋
1968年10月号
-10-

作品集
第37番

持駒 角金銀桂

22金 同金 24桂 同歩 23銀 11玉 22銀成 同玉 23金 14玉 37角 25歩 24金まで13手詰。

作品集

無仕掛風。金の特性が色濃く、捌きも上々。

【近代将棋 1969(S44)年5月号】

続々アングラ詰将棋 小石広志

アングラ詰将棋の創作も、本来の詰将棋と大した変りは無く、自分の作風から中々抜け出せぬもの。思い切って入玉型に挑戦しましたが、御鑑賞下さい。

今回は多少解説をさせて下さい。

No.012 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王

安南詰
9手

近代将棋
1969年5月号
-11-

持駒 金金

38金 19玉 29金 同玉 27金 39玉 38馬 同玉 28金まで9手詰。

簡潔で五局の中で一番気に入ってますが、変化同手数があり残念です。

No.013 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王

安南詰
11手

近代将棋
1969年5月号
-12-

作品集
第30番

持駒 なし

16龍 同玉 28角 27玉 16角 28玉 38角 39玉 48歩 28玉 37桂まで11手詰。

入玉型実戦型。実は、普通の詰将棋創作中に誕生したもの。案外と手こずると思う。

作品集

此のストーリーは好きな作の一つ。
案外平凡だが、使える。

*関連図：No.164

No.014 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

余詰

安南詰
9手

近代将棋
1969年5月号
-13-

作品集
第19番

持駒 なし

18桂 36玉 19角 26玉 ①73角成 27玉 19馬
26玉 37馬まで9手詰。

12番と似た手筋。両王手三回が狙い。

作品集：詰上ってみれば3六歩が消えて、角
が馬に昇格しただけ。捌けてないのに、そ
れを意識させない捌き。

*余詰 ①36飛まで。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

刊行後検討
修正図
大野 孝

持駒 なし



No.015 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

余詰

安南詰
11手

近代将棋
1969年5月号
-14-

持駒 金銀

①27銀 17玉 26銀 同玉 36馬 17玉 16金 同
歩 19飛 同と 27馬まで11手詰。

佳作と信ずる。

24歩が苦しいが、余詰防止上致し方なし。

*余詰

①19銀 同と 同飛 28玉 18金 27玉 17金 28
玉 18飛 39玉 38馬まで。

No.016 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

余詰

安南詰
27手

近代将棋
1969年5月号
-15-

持駒 金

①38馬 19玉 18金 同玉 37馬 27銀 同銀 同
桂成 19銀 17玉 53角 44歩 同角成 26銀 同
馬引 同成桂 28銀 16玉 17歩 15玉 25銀 24
香 16歩 25玉 ②36馬 同成桂 17銀まで27手
詰。

愚作。中々まとまらぬため局面が広がり過ぎ
た。駒がさばけるのが取柄。

19手目の17歩は27歩もあり、どうも…。

*余詰

①29飛 18玉 19歩 同角成 同飛 同玉 37角
以下。

②47馬もあり。(当時でもどうか)

【近代将棋 1970(S45)年1月号】

アングラ詰将棋(1) 小石広志

アングラ詰将棋は超短篇でも結構楽しめるし、案外なまざれがあるもの。
ご笑覧のほど。

No.017 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								料	一
								王	二
								卒	三
									四
							香		五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

近代将棋
1970年1月号
第1図

作品集
第1番(原図)

持駒 金銀

11金 同玉 22香成 同玉 23銀まで5手詰。

作品集 第1番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								料	一
								王	二
								卒	三
									四
							香		五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

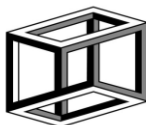
2004/11(手書)
2016/6(刊行)

持駒 金銀

作品集

要は錯覚狙い。2四香は色々な駒・形で表現出来そう。

*作者による変更(記憶違い?)は今後も出てきます。



No.018 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀	料	一
							王		二
						卒	卒	卒	三
							馬		四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

近代将棋
1970年1月号
第2図

作品集
第5番

持駒 飛

23飛 31玉 22飛成 同玉 23馬まで5手詰。

作品集: 飛の打ち場所だけの問題。

No.019 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								料	一
							飛		二
							卒	王	三
							飛		四
									五
							歩		六
									七
									八
									九

余詰

安南詰
5手

近代将棋
1970年1月号
第3図

持駒 銀

①4銀 同角 22飛成 同玉 31飛成まで5手詰。

*余詰

②22銀 志12玉 21銀成 32角 同飛成 13玉 22龍 14玉 26桂 15玉 27角 14玉 63角成以下



【近代将棋 1970(S45)年2月号】

アングラ詰将棋(2) 小石広志

今月は第1図はやさしいですが、第2図が少々やっかいです。

No.020 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								我	一
								星	二
						飛	香	王	三
									四
								近	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

24金 同玉 34飛成まで3手詰。

No.021 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
									二
				角					三
				銀					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金香

52角成 同玉 53香 51玉 52金 41玉 42香成
まで7手詰。

小石「フェアリーの主流はばか詰でしょうが、
誰か出でよ、安南に目覚めるもの！」と応募し
ます」

No.022 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								我	一
									二
								王	三
						香		香	四
						金			五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金銀

13金 ①同玉 24銀 ②12玉 32飛 11玉 22飛
成 同玉 13銀成迄9手詰。

①同桂は24飛 同歩 15銀迄。

②14玉は13飛 同桂 15銀迄。

[担当：加藤 徹]

この筋を含みに攻め、両王手で決める。

作品集

最終両王手も一応見せ所だが、2手目同桂の
変化も好き。

No.023 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					留	香	王		二
								歩	三
						角			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛

21飛 同玉 11飛 22玉 12歩成 31玉 22と 同
玉 12角成 31玉 13馬迄11手詰。

[担当：加藤 徹]

飛捨ては第一感だが、13歩消去からの詰上り
がおもしろい。

作品集：両王手のリフレイン。

No.024 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
								王	二
						我	香		三
								香	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角金桂

24桂 13玉 31角 ①22桂合 25金 同桂 12桂
成 24玉 42角成迄9手詰。

①他合なら 12桂成 24玉 35金迄。

正23 誤9 A15 B5 C1 平均3.50

[担当：加藤 徹]

作者－変化も旨く割り切れて好きな作。

酒井淳－安南ルールを使った限定合もはいい、
楽しめました。

☆22桂合が、23歩を桂にして35に利かす妙防。
この手を見逃した誤解者が続出した。そこで
25金！がこれを上回る好手。この局面で唯一
の持駒である金を捨てるのは盲点である。
☆初形もすばらしく、あるいは安南の古典と
して残る作品かもしれない。欲をいえば、も
う少し紛れがほしいところ。

護堂浩之－25金が凄い手。詰め上りの形が楽
しい。A

佐々木光正－安南としては最高に近い好短編。

作品集：某氏曰く「安南の原典」 快心作。

*作者自選 B e s t 1

No.025 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
11手

詰将棋パラダイス
1979年10月号

出場4回
懸賞 安南2

作品集
第15番

持駒 なし

14飛 ①16歩合 同飛 27玉 17飛 26玉 16歩
25玉 35龍 同玉 36歩迄11手詰。

①他合は同飛 27玉 17飛 26玉 35龍 同玉で
合駒を打って詰。

正29 誤2 A18 B7 C1 平均3.44

[担当：加藤 徹]

☆16歩と中合されたときに①の変化に行くと、
最後の36歩が打歩詰で打てない。そこでであ
らかじめ16歩と打っておこうという「先打突歩
詰」、いや「先打寄歩詰」の構想である。

佐藤善起－横つとびの突歩詰とは驚いた。

佐々木康司－先打飛び歩詰。A

フェアリ狂－安南ルールでこのような面白い
詰棋ができるとは感心。A

作品集：歩が横に飛ぶ。此の奇天烈さは安南
のみに許される。

No.026 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
1980年2月号

出場5回
今月の問題A

作品集
第34番

34龍 12玉 14龍 同玉 26銀 23玉 22角成 同
玉 34桂迄9手詰。

[担当：加藤 徹]

妙手一発！14龍で決まる。詰上りは予想のつ
くところ。

作品集

5一歩は不要駒かも…。ちょっと強引な手順。

*22角成 同玉 52龍以下があり、51歩は必要。

No.027 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

余詰

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
1980年2月号

出場6回
懸賞 安南1

26桂 24玉 35金 同歩 34銀 33桂 ①14桂 25
桂 33銀生迄9手詰。

正16 誤6 A10 B2 C2 平均3.29

[担当：加藤 徹]

吉武真喜夫－5手目の腹銀が見えず、大いに
悩んだ。玉方桂二段跳ねも見事で、安南の
面白さ十分。A

大西宏明－最後の桂とびの攻防がなんともい

えず良い。A
☆前作に劣らぬ好形好手順と好評だったが、
④で同歩迄早詰（佐藤善起）とは残念。
なお10月号1（*No.024）は六車家々氏のアド
バイスで26と→33桂になったそうだ。

【将棋世界 1980(S55)年6月号】
自在流人生の内藤九段に聞く
「こんな安南詰将棋があるんだ。ボクには
解けないんだが」
と見せてくれた実戦型詰将棋（上図）。連盟
事務局の職員たちがしばらく考えて、ようや
く正解をみつけた。

*解省略
すごい！傑作だ！3四銀打ちが面白い！と、
みな感心している。
一白ばつくていているが、内藤さんの作った
物じゃないの。
「イヤ、本当にボクじゃないよ。安南詰将
棋でこれほどの名作はめったにないね」
ニコニコしながら嘆賞惜しめない内藤九段
であった。（砂堂）

【カピタン18号 1980(S55)年6月20日】
◇安南詰将棋
将棋世界6月号P.180で内藤九段が嘆賞惜し
めない名作という「安南詰将棋」（詰バラ2月
号F研の小石広志氏作）を紹介されています。
流石の連盟の先生方も「収束での乱れ」に
は気付かぬようで微笑ましい。（丸尾学）

*貴重な紹介記事ですが、残念なおチが付い
てしまった。

No.028 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀	と
								銀	と
								と	王

持駒 飛桂

安南詰
19手
詰将棋バライ
1980年2月号
出場7回
懸賞 安南2
作品集
第40番

34飛 23銀上 25桂 12玉 24飛 21玉 13桂生
11玉 21桂成 同玉 23飛成 同桂 32銀 12玉
23と 11玉 24桂 22玉 12桂成迄19手詰。

正12 誤8 A 8 B 2 C 0 平均3.60
[担当：加藤 徹]
フェアリ狂ー簡素な初形からは想像のつか
ない長手数、安南流の攻防はみもの。とに
くすばらしい作者の想像力に脱帽。A
☆駒の働きが次々と変化するところは安南の
醍醐味。収束も両王手ですどく決まった！
☆5手目24飛の処、23と 同玉 35銀は12玉で、
35銀の処、33銀 12玉 24飛は23玉できわどく
逃れる。
佐藤善起ー安南の難解さと楽しさがいっぱい。
A
☆ところが、33銀 12玉のとき13桂成でツブ
レ。俗すぎて見逃した？

* 5手目23と 同玉 33銀 ①12玉 13桂成の
余詰指摘は①34玉で逃れの誤指摘。
作品集：桂を捨て、銀をキャッチ。結構手が
続く、内容充実の好局誕生。

*作者自選Best 2
四百人一局集掲載。（85ページ）

No.029 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 金銀香

安南詰
9手
詰将棋バライ
1980年6月号
出場8回
今月の問題D
作品集
第13番(原図)

持駒 金銀香
54銀 51玉 52角成 同玉 53香 51玉 52金 41
玉 42香成迄9手詰。
[担当：加藤 徹]
52に打っても玉手にならないので角と香を打
ち替える。

*関連図：No.021、242

作品集 第13番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 金銀香

安南詰

9手

2004/11(手書)

2016/6 (刊行)

作品集

試行錯誤狙い。捌きと効きの面白さ。

No.030 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀
								王

持駒 歩

安南詰

19手

詰将棋パライ

1980年6月号

出場9回

懸賞 安南詰

作品集

第44番

34飛 22玉 32銀行成 23玉 33成銀 22玉 32銀成 12玉 13成銀 同玉 14歩 23玉 33成銀 22玉 35飛 21玉 32成銀 12玉 15飛迄19手詰。

正9 誤3 A 7 B 2 C 0 平均3.56

[担当：加藤 徹]

☆すぐにも詰みそうな形だが、意外に手が続く。ビックリするような手はないものの、銀と飛の息の合った動きは宇宙的で楽しめる。特に33銀を成銀に変える所、収束の35飛から15飛はうまい手順。

佐伯治雄－安南らしい手をおりこんだ佳作。

7手目銀生で詰めばなおさら面白いが。A ドン草井－攻駒が強すぎて面白味半減。

飯島士朗－駒の動きに味。A

棋学類想者－素晴らしい傑作、何もいうことなし。百点！A

*結果図「◇宇宙詰 小石広志」 (^_^)

作品集：これだけ追い駆けが続くと、納得して貰えそう。

No.031 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								馬
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王

持駒 金銀

安南詰

9手

詰将棋パライ

1980年12月号

出場10回

今月の問題H

作品集

第18番

22金 13玉 23銀 同角 12金 同玉 21馬 13玉 25桂迄9手詰。

[担当：筒見香平]

独特の味。

作品集：意外性と迄ゆかない迄も、安南のみが持つ詰上り。

No.032 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王
								王

持駒 銀歩歩

安南詰

13手

詰将棋パライ

1980年12月号

出場11回

今月の問題I

22歩成 13玉 12と 同玉 13歩 同玉 22銀 12玉 23金 同銀 13歩 同歩 21銀生迄13手詰。

[担当：筒見香平]

*当時のフェアリーランドはページ数も少なく、今月の問題は解説なしも多かった。

No.033 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					馬		我	星	一
					酒				二
						王			三
					馬	香	香		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀

22金 13玉 12金 23玉 13銀 12香 22銀成 13玉 23成銀 同銀 22馬迄11手詰。

誤0 無0 A 9 B 7 C 0 平均2.56

[担当：筒見香平]

▲安南詰の専門家？ 小石氏の登場！

本局はキレイな実戦型から安南特有の手「13銀」が飛び出す。まずは好作。

選者評価＝★★★★★★★

森田正一初型が良く、手順に味わい有。

飯島士朗－13銀がアンナンの手。

猪野裕靖－安南詰は玉方の応手が、おもしろいですね。

No.034 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					銀	我	星		一
					と		王		二
									三
					桂	馬	香	香	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

21銀生 13玉 22銀 23玉 12銀生 同香 35桂 同歩 33銀生 13玉 22銀生迄11手詰。

[担当：筒見香平]

作品集

4回の不成に余り意味がない。

5手目の銀捨てがまづまづ。

No.035 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							我	角	一
					香				二
					桂	王			三
					酒	香			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

32銀 同玉 31桂成 23玉 32銀 12玉 11角成 同玉 22成桂 同玉 31銀生迄11手詰。

[担当：筒見香平]

作品集

4×四枰におさまった軽作。

後半の流れが安南駒の特性。

No.036 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								角	一
								王	二
									三
								角	四
								香	五
									六
					歩				七
									八
									九

持駒 金銀

24金 12玉 23金 同玉 33角引成 13玉 24銀 14玉 23銀生 25玉 48角 35玉 34馬 46玉 56馬 35玉 34銀成迄17手詰。

[担当：筒見香平]

作品集

古作とは2四銀でおさらば。凡作の極まり。



No.037 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	皇
						飛		
						香	王	三
						飛		四
							香	五
						馬		六
								七
								八
								九

持駒 角

35角 24金合 同角 14玉 ㊤13角成 同玉 12金 同銀 22飛成 同玉 24飛迄11手詰。

[担当：筒見香平]

作品集

角から金へ 追い込みも鋭い。上々の仕上り。

*余詰 ㊤33角成 24合 23飛成以下。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	皇
						飛		
					香	香	王	三
					飛			四
							香	五
					馬			六
								七
								八
								九

持駒 角

No.038 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					王	料		
			銀	馬			香	
					香			香

持駒 なし

52銀生 32玉 43銀生 33玉 42馬 24玉 34銀生 33歩合 同馬 同桂 25歩 同桂 33銀生迄

余詰

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1981年6月号

出場16回

今月の問題F

作品集

第38番

13手詰。

[担当：筒見香平]

小石氏の安南詰の連作はどれも仲々の好作で味あり。

作品集：不成4回！それだけの味。

No.039 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	
							王	二
							香	三
								四
						香		五
								六
								七
								八
								九

持駒 金銀

11金 同玉 22香成 同玉 23銀迄5手詰。

[担当：筒見香平]

No.040 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	皇
							王	二
					と	王	三	
					香	香	香	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛飛

23飛 同銀 12飛 同銀 23と迄5手詰。

[担当：筒見香平]

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

1981年11月号

出場18回

今月の問題A

*No.017と

同一図



No.041 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					銀	科	星	一
					王			二
					香	香	香	三
						馬		四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛

23飛 31玉 22飛成 同玉 23馬迄5手詰。

[担当：簡見香平]

No.042 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					銀	科	星	一
								二
					馬	王		三
					香	香		四
								五
							香	六
								七
								八
								九

持駒 角金

32角 同金 22金 同金 32馬迄5手詰。

[担当：簡見香平]

小石氏お得意の初心向安南詰。

No.043 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					銀	科	星	一
					龍	馬		二
						王		三
					香	香	香	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金銀

12銀 同香 22金 13玉 23金 同角 22龍迄7手詰。

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

1981年11月号

出場20回

今月の問題C

*No.018と

同一図

[担当：簡見香平]

現在24歩は玉の性能です。初手22金と打ってみたいが、13玉と逃げられ以下12金と寄っても23玉。23銀でも同角でダメなようです。正解は、初手12銀で同玉だと玉=香ですから23金迄。従って12銀を同香と取りますが、そこで今度は22金が好手となり13玉の逃げに、23金が妙手！（13玉=香である事に注意）同玉や同歩はなく同角の一手に、22龍迄7手で詰みとなります。

*詰上り図は省略しています。

No.044 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						科	星	一
					と		王	二
								三
					馬	香	香	四
								五
						歩		六
								七
								八
								九

持駒 角金桂

22と 13玉 12金 同角 23角 22玉 34桂迄7手詰。

[担当：簡見香平]

今度も実戦型作です。12玉=香なので簡単に詰みそうだが…。初手22金は13玉。23から駒を打つのも同角でだめなようです。ここは初手22とがうまい手で、取る手はなく13玉と逃げますが、そこで12金が13玉を他の駒の性能に変える打診の手で、同香と取ってくれば23角(=金) 同角 同と迄角余りですので、12金を同角と取りますが、23角と打てば(12角=香!) ですので、22玉と逃げる一手(13玉=角) で、34桂で詰みです。(22玉=桂)

*詰上り図は省略しています。

作者の小石氏は安南詰一筋に20年近くやっておられる大ベテランで、両題共実戦型短編の好作と言えます。

【詰将棋パラダイス 1982(S57)年7月号】

◇訂正 4月号Bの解説中、23角=金とあるのは誤りで23角と打つと、「22と」が角になり詰んでいます。深謝。

No.045 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
								王	二
								香	三
								皇	四
								馬	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀

21飛成 13玉 12金 同香 22龍 同歩 24銀迄 7手詰。

誤1 無1 A12 B5 C0 平均2.72

[担当：筒見香平]

▲初手21飛成は強烈！ 同角なら23金迄です。13玉の逃げに12金が玉を香に変える手筋で同香の一手に22龍が決め手です。これは同歩(33歩=角)の一手に24銀迄。入門用好題と思います。

選者評価=★★★★★★★☆☆

飯島士朗-14歩は玉という先入観が有り24銀が盲点。二歩禁の傑作。A

須貝敏雄-24同歩は二歩の禁手ですね。

牧尾芳丈-すこしアッサリまとめ過ぎた感じ。

二歩禁を使って割と新味の有る詰上りだが、出来れば角を一枚動かして欲しかった。

作品集

2歩禁狙い。支えの無い銀の吊るし詰め。



No.046 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
								王	二
								香	三
								皇	四
								馬	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛銀

32飛 同歩 12馬 同香 24飛 同歩 23銀迄 7手詰。

誤0 無1 A12 B5 C0 平均2.71

[出題図] 安南ばか自殺 6手

[担当：筒見香平]

▲22玉=桂なので、34玉と馬を取られてはダメなので32飛の初手は必然だ。同歩に12馬から24飛と妙手連発！頭銀の詰上りも気持がいい。ベテラン小石氏の安南詰は名人芸で、他の追随を許さぬものがある。そして過去の発表作に余詰作がないのも特筆ものです。

選者評価=★★★★★★★★★★★

佐藤善起-24飛から23銀とは安南独特の強襲。山田嘉則-守備陣が強固なので、不動玉への攻めがかえって見やすい。

伊東史郎-12馬に気付かず苦戦した。

【詰将棋パラダイス 1982(S57)年7月号】

▲2と4の表示がメチャメチャで作者には本当におわびします。まさに日航「逆噴射」並の失態と言わねばならぬ。

作品集

3四馬に支えが無く、安南馴れしていない初心者には難解だが、逆に存外手が狭い。

*作者自選Best 3



No.047 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					と		科	皇
						毎		
							王	香
						馬		香

持駒 銀桂

25桂 22玉 44馬 33桂跳 31銀 21玉 33桂生
12玉 24桂 13玉 22銀生 同玉 21桂成 同玉
32桂成 同玉 42角 21玉 31角成 12玉 22馬
迄21手詰。

[担当：筒見香平]

文句なし。

作品集

旨く駒が捌けて長手数を得た。結構変化も割
り切れており、好型と無駄の無い好局誕生。

No.048 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				
				角				

持駒 金銀香

54銀 51玉 52角成 同玉 53香 51玉 52金 41
玉 42香成迄9手詰。

[担当：筒見香平]

形は良く、手順も安南の味が充分に出ている。

安南詰

21手

詰将棋パライ

1982年6月号

出場26回

今月の問題F

作品集

第22番

No.049 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	皇
					逆	飛		
						毎	王	香
						金		香

持駒 角

22角 同角 24金 同玉 35飛成迄5手詰。

[担当：小林看空]

安南詰

5手

詰将棋パライ

1983年11月号

出場28回

今月の問題A

No.050 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								科
						飛		皇
						毎	王	香
							金	香

持駒 銀

12飛成 同香 22銀 同角 24金迄5手詰。

[担当：小林看空]

▽安南詰の第一人者といえば、何と云っても
小石氏です。

安南詰

5手

詰将棋パライ

1983年11月号

出場29回

今月の問題B

No.051 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						角	科	皇
							王	
							香	
						香		
							歩	香

持駒 金金

22角成 14玉 26金 25金 13金 同桂 25金 同

安南詰

11手

詰将棋パライ

1983年11月号

出場30回

今月の問題C

作品集

第28番

duplicate



桂 13金 24玉 33馬迄11手詰。

[担当：小林看空]

作品集

内容的には数段上。流れがスムーズ。

*第27番：No.223 (作品集発表作) との比較。

No.052 小石広志

不詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	科	皇
							香	王	一
							香		二
									三
							馬	香	四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

13金 同桂 22金 同桂 同角成 14玉 13金 ①
24玉 14金 同角 13馬 同香 36桂迄13手詰。

[担当：小林看空]

*不詰 ①同香で不詰。

余詰 最終手25桂でも可。

作品集 第29番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	科	皇
							香	王	一
							香		二
									三
							馬	香	四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

作品集：3部作で最も稚拙な感じ。解く側には多少苦勞して貰えそう。

*第27番(No.223) 第28番(No.051)の3部作。
関連図：No.177

投稿図はどこかで誤記があったと想像。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	科	皇
							香	王	一
							香		二
							馬	香	三
							歩		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

安南詰
13手

刊行後検討
修正図
大野 孝

No.053 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香	留	角	科	皇	一
							王		二
				龍					三
							歩		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
1983年11月号
出場32回
今月の問題E

*No.026と
同一図

34龍 12玉 14龍 同玉 26銀 23玉 22角成 同玉 34桂迄9手詰。

[担当：小林看空]

▽出題級を多数例示して申しわけなく思っております…。

No.054 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	科	皇
							香	王	一
							馬	香	二
							香	香	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
1983年11月号
出場33回
懸賞2

*No.031と
同一図

22金 13玉 23銀 ①同角 12金 同玉 21馬 13玉 25桂迄9手詰。

①同金 同金 同玉 22馬 同玉 32金迄。

誤0 無10 A15 B13 C1 平均2.48

[担当：小林看空]

▽最後の25桂を14歩→25歩とは二歩でとれないし、24歩→25歩は、24歩は角の動きなのでとれません。

川清雄—一度は25桂はないと思ったが。

イジワル生—好手不足の感あり。

飯島士朗—安南実戦型シリーズ。

フェアリ狂—23銀打が安南詰らしい手。面白い。

山下聡—安南の好作、駒取りは痛いがかたないでしょう。角になった歩が悲惨。

歩角考内—安南詰で安心してみられるのは小石氏のみ？

原田清実—この人の作もっとみたい。

No.055 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金銀歩歩

39金 同玉 38金 29玉 39銀 18玉 19歩 同玉 28銀 29玉 39金 18玉 29金 同桂成 19歩 同成桂 27銀迄17手詰。

誤0 無22 A20 B9 C0 平均2.69

[担当：小林看空]

▽安南詰の一人者小石氏の小駒無仕掛でしたか…。

▼橋本孝治—上が作意だと思う。しかしこの手順には問題がある。安南では利きのない駒の存在も認められているはず、だとすれば上の手順中、同桂成のところ同桂生とすれば不詰。

▽安南B式を採用している関係上、このアピールは成立します。ちょっとした盲点で、このルールを利用すればもっとおもしろいものも作図可能？

堀田雅裕—易しいが味の良い手が多く好作。
山田嘉則—小石氏には本作のように実戦型を離れたものを期待したい。

*安南ルールは何種類が存在します。

A式安南：行き所のない駒は不可。

B式安南：行き所のない駒は可。

(本編は全てB式)

No.056 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
						馬	飛		二
						星			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角金銀

11金 同香 13角 12玉 14銀 同角 22角成迄7手詰。

誤1 無7 A20 B11 C0 平均2.65

[担当：小林看空]

▽今月唯一の完全作。小石氏の作品には余詰がありません。この作品、姉妹作として投稿されてきたもので、妹？は33香→33歩で持駒金銀桂の5手詰です。解いてみてください。

*次図掲載

弘光弘—香を定位置に戻して仕事をするのがおもしろい。

須貝敏雄—安南の特徴が出ていて、面白い。

小林敏樹—簡素安南の傑作！

井上裕—14銀が退路封鎖の手筋という感覚が面白い。

飯島士朗—13角が新鮮。

▽小石さん頑張って、という声多し。作品集をめざして、更に前進。

作品集：安南特有の性能を重視した一局。

終の3手は頻出の手筋。

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

1984年5月号

出場35回

懸賞1

作品集

第7番

No.057 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	
							飛	
							馬	
							香	

持駒 金銀桂

11金 同歩 22銀 12玉 24桂迄5手詰。

[担当：小林看空]

作品集：※参考局。一応姉妹局。

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

1984年8月号

出場カウント

なし

作品集

第7番妹

No.059 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王	科	皇
						と		
						王		
						香	馬	飛

持駒 金銀桂

22銀 23玉 33金 同桂 ㊤同と 12玉 21桂 22

飛 同と 13玉 12飛 同香 23と 同桂 25桂迄15手詰。

誤植のため全員正解

[担当：小林看空]

早詰=㊤より35桂 12玉 21と 22飛 同と 13玉 12飛 同香 23と 同桂 同桂成迄13手詰。

指摘=飯島士朗、佐々木康司

▽フェアリーならではの誤植で13玉が欠落。

勢い玉さがしの問題になってしまった。21桂打など小石氏としては異色作だがいかんせん早詰とは。

山田嘉則-350号前夜祭の推理詰将棋？ ただし、13玉はすぐに分かる。

奥村理也-玉が35又は15の場合…26金迄。

玉が25の場合…16金迄。玉が12、23の場合…22金 13玉 23銀 同桂 25桂迄5手。

玉が13の場合…作意。

玉がその他の位置にある場合…不詰。

▽失礼しました。

No.058 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	皇
							並	
							馬	王
							馬	
							香	

持駒 飛金銀桂

㊤14金 同金 22銀 同飛 12飛 同角 25桂 同金 23馬迄9手詰。

誤2 無15 A12 B2 C0 平均2.86

[担当：小林看空]

▽初手さえ分かればあとは一気呵成。飛角が桂香に化けるのもおもしろい。小石氏としては軽い。

*余詰

㊤25桂 同角 15飛 14合 22銀 同飛 12金 同香 23馬まで。

余詰

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

1984年9月号

出場36回

懸賞2

余詰

安南詰

15手

詰将棋パラダイス

1984年12月号

出場37回

懸賞3

No.060 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	皇
							王	
							飛	香

持駒 金金金

余詰

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

1985年1月号

出場38回

懸賞1

作品集

第10番(原図)



[担当：小林看空]

▽4手目飛合を見落して転倒した方が4名。
43歩が飛に化けて23銀を防いでいる。佳作。
また投稿を。

山田嘉則－42飛～51飛に思わず唸る。
川清雄－手数表示なければまちがうところ。
滝本幹夫－安南らしさが随所にでている。
原岡望－61香の配置うまい。
山口成夫－形、手順ともに申し分なし。

作品集：4三歩が快心の配置。
変化の割り切れが嬉しい。

No.067 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							香	王	一
							王		二
							王	香	三
								桂	四
							飛	歩	五
									六
								歩	七
									八
									九

持駒 金

34歩 同玉 44金 33玉 ①15飛 22玉 45飛 14歩 25飛迄9手詰。

誤0 無2 A 6 B 5 C 4 平均2.13

[担当：小林看空]

余詰①より46飛 24玉 45飛 34合 15飛迄9手。
また収束14歩（*45飛）のところ34桂 同桂11飛成迄9手。

▽飛車の動きがおもしろいと思いきや…
ああ!!

双方解＝飯島士朗、弘光弘



No.068 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
						角	と		二
									三
					香	香	王		四
									五
								金	六
					王	驥			七
									八
									九

持駒 角桂

14角成 ①33玉 32馬 24玉 46角 同龍 36桂 同龍 23馬 35玉 24馬迄11手詰。

①同玉は15桂 13玉 23角 22玉 32角成まで。
誤0 無12 A 5 B 8 C 0 平均2.38

[担当：小林看空]

奥村理也－変化が好手順。変わった収束。
川清雄－小石としては！
喜多真一－もう少し飛躍が欲しい。
須貝敏雄－2手目同玉の変化が面白い。角を馬に変えて原形。46角から36桂も好手。
笛蟻人－引締まった手順。
山岸幸徳－安南らしくなくて手古摺った。
▽担当としては、安南一直線の小石氏に頭がさがります。

No.069 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							王		四
						王			五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角

26角 16玉 27飛 15玉 17飛迄5手詰。

誤2 無12 A 4 B 10 C 7 平均1.86

[担当：小林看空]

▽小石氏としてはめずらしや、ばか詰。でも安南なのです。狙いは両王手なのですが、余

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1986年7月号

出場46回

懸賞2

余詰

安南ばか詰

5手

詰将棋パラダイス

1986年10月号

出場47回

懸賞2

詰がたくさん…。

余詰＝①37角 17玉 38飛 26玉 28飛迄 5手。

▽これも作意らしい…。

②37角 26金合 同角 16玉 17金迄 5手。

③24角 17玉 35角 16玉 17飛迄 5手。

双方解＝荻野目洋、奥村理也、菊田裕司、駒井信久、須貝敏雄、佐々木浩之

No.070 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	料	皇
							蟹	王	
							歩	卒	

持駒 飛銀

22飛 13玉 23飛成 同玉 35銀 12玉 22角成 同馬 23歩成迄 9手詰。

誤0 無17 A 9 B 8 C 0 平均2.53

[担当：小林看空]

▽シンプルで好感がもてる。安南は一手だけ好手をとほ小石氏の持論です。

加賀孝志－23飛は決断がある。

新堀皇帝－22飛に数分、35銀に数十分、そして22角成に約1時間。

笛蟻人－34歩を活用する形に持ってゆく。筋よい作。

荻野目洋－相手の桂頭を狙う一般手筋モノ。新しくはない。

作品集：簡素型。手順も素朴。何のてらいも無し。

*関連図：No.163



No.071 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
							卒	二	
							王	三	
							卒	四	
								五	
								六	
								七	
								八	
								九	

持駒 飛金銀

23金 同歩 12金 同玉 32飛 13玉 22銀 12玉 21銀生 13玉 12銀成 同香 22飛成迄13手詰。

誤2 無9 A 7 B 11 C 0 平均2.45

[担当：小林看空]

駒井信久－無仕掛けという点以外には新味がない。

須貝敏雄－狭い玉なので考え易い。

川清雄－銀の開き場所だけ。

▽新鮮味不足だった様。しかし好型！

No.072 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							料	皇	一
							飛	王	二
									三
							銀	卒	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

13金 同桂 32飛成 22金合 同龍 同桂 13飛 同玉 23金 同玉 24銀迄11手詰。

駒脱落の為評価なし

[担当：小林看空]

▽出題時25歩脱落のため、簡単な余詰が発生。作者ならびに解答者に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。さすがにバラ、喜多真一、駒井信久、林泰伸、和田裕之、佐々木浩之の5氏がこの点を指摘。

小石氏の作品には、余詰はほとんどありません

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1987年3月号

出場50回

懸賞3

安南詰

13手

詰将棋パラダイス

1987年1月号

出場49回

懸賞9

*関連図

No.003・211

17飛 27香合 同飛寄 同角成 38香 同桂成
27飛 同成桂 47角迄17手詰。

誤0 無13 A3 B5 C0 平均2.38

[担当：小林看空]

作者－手数の割には一本道。宜しく。

検討者(服部)－完全と思う。収束良く好作。

麻生悠－この序が入ったのはうまい。随分考
えさせられた。成生の非限定(14、16手目)
がなければ傑作なのに…と思います。

岩井紀由－初手から最後迄安南の味がたつぷ
り。

駒井信久－特に難しい所はなくても、手数が
長いと苦勞する。

▽駒井氏でも30分かかっておられる。まずは、
好作！

作品集：中段玉から仕上りまで、細かい応酬。
まずまずか。

No.076 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛

34飛 同桂 14角成 ④同玉 24飛 13玉 23飛
成 同玉 13角成迄9手詰。

④35玉は45飛 同歩 25馬迄。

＊単に36馬。上記変化のための配置と推測。

誤0 無6 A14 B17 C1 平均2.41

[担当：小林看空]

麻生悠－変化のほうがいい味だとか。

伊東史朗－初手の34飛の一発で決まった。

磯田征一－手筋ものの一ト筆書き。

岩本修－この作者にとっては手ずさびの一局
なのでしょうね。

荻野目洋－フェアリーの中だと、フェアリー
に見えないんですよ、小石さんは。

川清雄－この一手がない。

菊田裕司－このような非実戦型は未開の原野。

これからも期待。

須貝敏雄－あんまり面白くない。つまり安南
の特徴が少ないようです。

原岡望－いつもながら巧妙。

林泰伸－楽にできた。

山下誠－初手が何とも指しづらい一手。角が
三枚ある感じ。

山田嘉則－普通作のような連捨て（これはけ
なしです）。

作者－長い間、応募してないと忘れられてし
まいそう。案は近将誌の藤倉氏作を解いて
いる時、ひらめいたのです。

▽短評を集めてみました。

No.077 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角銀

36角 25桂跳 13飛 同桂 26桂 同玉 27銀迄
7手詰。

[担当：安永 玲]

老舗の味。

No.078 小石広志

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

1989年8月号

登場54回

今月の問題A

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1989年8月号

登場55回

懸賞3

作品集

第26番

25桂 14玉 23銀 同角 26金 13玉 35金 14玉
13桂成 同香 25金！迄11手詰。

誤3 無12 A16 B8 C0 平均2.67

[担当：安永 玲]

岩本修－安南詰の醍醐味にあふれている。A
佐藤善起－さすがに難解で巧い。A
川清雄－どうしてこのように作れるのだろうか!! A

新格言『安南小石、天竺左、対鮮佐々木』
▽久々登場の小石氏。初手25桂が取れないことに気付けば、後は流れるようなさばき。最後の25金が不思議な感触でこれで詰み！それにしても特異な作家。ひょっとして、氏は安南ルールしか知らない？ まーさか。
佐々木寛次郎－安南二歩禁問題の決定版です。
A

作品集：一路ずらせて正解。

No.079 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
									二
							と	王	三
									四
								香	五
									六
									七
							ㄱ		八
									九

持駒 金銀桂

25桂 24玉 26金 33玉 34銀 32玉 24桂 31玉
23銀生 22玉 31銀生 23玉 25金 12玉 14金
11玉 23金迄17手詰。

誤0 無37 A1 B9 C6 平均1.69

[担当：安永 玲]

SMA P－金銀がよく動くのがいい。A
▽金先金銀に始まり前半は銀の活躍、後半は金が主役。この華麗な捌きが見どころだったが、簡単な早詰。
早詰＝3手目26銀 33玉 35銀 23玉 22金！
14玉 26銀 13玉 15銀 22玉 33桂成迄13手歩余。

川清雄－うーむ歩が余る！ 小石氏も人間で

すね。C

双方解＝岩本修、駒井信久、SMA P

▽手数ノーヒントも評判悪かった。

No.080 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								角	一
								王	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金金

13金 同桂 22角成 同桂 13金 同玉 24金 同
玉 35金迄9手詰。

誤1 無5 A13 B17 C1 平均2.39

[担当：安永 玲]

磯田征一－美しい。「待宵」だ。A
勇者ロト－取るに取れない35金。A
石黒誠一－4手目同玉をまじめに考えてしまった。B
酒井弘格－途中無仕掛になったのでドキッとしました。A
鈴木智一－題だけですが、初めてフェアリーが解けました。A
川清雄－こんな作を軽く作れる人が羨ましい。
A

作品集：某誌に“安南詰め”なる代物の紹介用に採用された。好形に佳作。

【詰将棋パラダイス 1999(H11)年9月号】

[担当：筒井浩実]

◇フェアリーランド名局ライブラリー
(第2回)

今回は安南の小品を紹介します。

端正な実戦型と持駒金一色の初形が目を引き作品である。安南の実戦初形は24歩型なので不自然ではないかという意地悪な見方もあるかもしれないが、3×3に収まっていて憶え易いという意味で、好形であることは間違いない。

上部に逃走されてはいけないので初手13金は絶対。同桂の一手に22角成が好手。同桂によって23歩を桂の動きにするのが大きい。そして再度の13金から金の連打で詰め上げる。詰手順=13金 同桂 22角成 同桂 13金 同玉 24金 同玉 35金迄。

3手目を同角成とした場合、正解よりも持駒は多く残っているが、22桂がないので24金を同歩ととられてしまう。

尚、33歩は、最終手35金が23歩で取られるのを二歩禁により防ぐ配置です。

本作は好形好手順ということもあって『おもしろゲーム将棋』の中でも紹介された。

※『おもしろゲーム将棋』は84ページに掲載。

No.081 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						△	角	桂	一
							△	王	二
							△		三
								△	四
						△			五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛銀桂

22飛 13玉 25桂 同歩！ 24銀 14玉 23飛成 同銀 13角成 同桂 15銀迄11手詰。

[担当：安永 玲]

よくまあ後から後からタネの尽きないこと。本局は例の詰上りだが、連捨てが爽快。

【詰将棋パラダイス 1991(H3)年1月号】

駒井信久ー2手目同歩で不詰と思う。

弘光弘ー余詰。初手より、24桂 同歩 22飛 13玉 21飛成 31金 25桂 同歩 24銀迄9手。

※2手目同歩は24桂 13玉 25銀 12玉 14銀 11玉 23歩 同銀 同銀迄同手数駒余り。
(不詰ではない。失礼ながら氏の貴重な誤り。)

余詰

安南詰

11手

詰将棋パラダイス
1990年11月号

登場58回
今月の問題A

No.082 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						△	桂	王	一
									二
						銀	と	王	三
						△	△	△	四
						△			五
							歩		六
									七
									八
									九

持駒 飛飛桂

23飛 同角 12飛 同角 23と 31玉 22と 同角 23桂迄9手詰。

誤2 無4 A9 B6 C1 平均2.50

[担当：安永 玲]

堀内真一うまいとしか言いようがない。A
葵九十九飛の連捨てからと金を捨てての収束なんてできすぎている。A
岩本修ー安南詰では使いにくい？大駒を見事に操る。A

駒井信久ー飛の連捨てが鮮やか。B
▽3手目より25桂 12玉 22飛迄5手早詰の指摘が数人の方よりあったが、25桂は王手ではありません。

作品集：序の飛捨連打がメイン。最后(仕上げ)は如何にも安南。発表時好評。

No.083 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							桂	王	一
							桂		二
							飛		三
								△	四
								△	五
									六
							△		七
									八
									九

持駒 銀桂

24桂 22玉！ 12桂成!! 14玉 13成桂 24玉 35銀 33玉 34銀迄9手詰。

誤14 無8 A4 B9 C2 平均2.13

安南詰

9手

詰将棋パラダイス
1990年11月号

登場59回
懸賞4

作品集
第4番

安南詰

9手

詰将棋パラダイス
1991年2月号

登場60回
懸賞6

作品集
第55番

[担当：安永 玲]

佐藤善起ー小石氏にしては平凡だが、誤解か？

▽こんな感想が多かったが、不安が的中。

中道哲司ー頭がこんがらかりそうでしたが、短手数なのでまだなんとか解けました。

▽2手目自ら桂になる22玉が盲点で、11玉や同桂の7手の変化で落馬した犠牲者が続出。ご冥福を祈る。

11玉は23飛成 22玉 12桂成迄。

駒中里穂ーいつもの鋭さが無い。と思ったら変化だった。教えてくれたI本さん、ありがとう。A

村井謙二ーばか話でないとすぐ成捨てるのは気づきにくい。B

作品集：3七とは変同防ぎ。取れる駒を取らずに虚々実々のやり取り。

No.084 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				銀				星	一
								王	二
				角	変	駒			三
						歩		歩	四
								歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金

31角成 23玉 32銀生 13玉 12飛 24玉 16金 15歩 23銀成 同玉 13馬 32玉 14馬 21玉 32飛成迄15手詰。

[担当：菊田裕司]

あっけない。

作品集：苦勞の割りに、重い内容。



No.085 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					変	我	我		一
					飛				二
					歩			王	三
					毎		歩	歩	四
									五
				桂		歩			六
									七
									八
									九

持駒 角銀

22角 23玉 34銀 12玉 44角成 32金 22馬 同玉 23銀生 同桂 11角 34玉 44角成迄13手詰。

[担当：菊田裕司]

銀の再活用がポイントか。

作品集：まとめて苦勞。4 三步の配置と2 三銀捨てのおマケでまづまづ。

No.086 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								馬	六
									七
					香				八
					王	歩			九
						桂	香		

持駒 金金金

37馬 39玉 49金 同玉 59金 39玉 48馬 28玉 37馬 39玉 38金 29玉 28金 19玉 27金 18玉 28馬迄17手詰。

[担当：菊田裕司]

小石氏の入玉図は珍しい。何となく詰まし難い。47香を歩にすると、8手目29玉！で不詰。

安南は日本最古(?)のフェアリーの割に、あまり掘り下げられていない分野。諸氏の御研究を期待。

作品集：2 八歩の邪魔駒が嬉しい置駒。

安南詰

13手

詰将棋パライズ

1991年7月号

登場62回

今月の問題C

作品集

第31番

安南詰

17手

詰将棋パライズ

1991年7月号

登場63回

今月の問題D

作品集

第8番

No.087 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					△	留	星	一
						馬	王	二
					△	卒		三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金金桂桂桂桂

13金 同玉 25桂 14玉 26金 13玉 15金 12玉
13桂成 同玉 14桂 12玉 24桂打 同歩 13桂
成 同玉 14金 12玉 13桂 同馬 21馬迄21手
詰。

誤3 無5 A6 B9 C1 平均2.31

[担当：菊田裕司]

岩本修一金と桂のダンスが趣向っぽくて楽しい。

加賀孝志一易しいがリズムがある。解後感も良い。B

東野徹男一流れるように詰む。

喜多真一一金と桂のコンビによる攻めはよく見る筋ですが、桂の打ち換えが新鮮味があり、よいですね。B

☆と、好評でしたが、河村施つ子一新味のない手順。

☆というののも一理あります。まあ、個々の手よりも流れを楽しむ作品でしょうか。

No.088 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				△		と	卒	一
			卒	桂	王			二
							歩	三
			留		桂		駒	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角金香

32角 31玉 22歩成 同金 43角成 42玉 31馬
33玉 45金 23玉 32馬 13玉 14香 同金 22馬

安南詰

21手

詰将棋パラダイス

1991年7月号

登場64回

懸賞3

同玉 34桂迄17手詰。

誤3 無17 A2 B4 C0 平均2.33

[担当：菊田裕司]

岩本修一軽い伏線の22歩成や、余詰をうまく防いでいる52桂の配置に感心。

佐藤善起一31馬が盲点になって超難解であった。

梶田隆行一手順は良いが、もう少し形がなんとかならないものか。B

☆前半は変化紛れ多く、ごつい。主眼は22歩成でしょうが、その後の43角成～31馬も味良く、収束は軽快。本作の問題点は形の悪さ。特に余詰消しのためだけの52桂は、やむを得ない配置かもしれませんが、相当なマイナスポイント。しかし、それを差し引いてもまずまずの作品と思います。

作品集：伏線手の2二歩成捨てが効いて後半よくまとまる。

No.089 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						桂	桂	星	一
						馬			二
						銀		王	三
					笛		歩		四
									五
					桂		乙		六
									七
									八
									九

持駒 金桂

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1992年5月号

登場66回

懸賞③

22銀生 同馬 14金 12玉 13桂 同桂 22馬 同桂 13角 14桂 22角成迄11手詰。

誤2 無12

⑥2⑤5④5③6②2①0 平均3.95

[担当：菊田裕司]

岩本修一46桂は一寸効率の悪い配置だけど、13角に14桂と根元を取る手に少し新味を感じます。

雲虚空一13角迄としたくなる。46桂が残るのが残念。4

石黒誠一46桂をなんとかしたい。3

☆46桂は4手目同馬の変化(22馬 同玉 34桂

打迄) のためですが、惜しい配置です。
 佐藤善起－流石に小石氏の安南は多彩で、変化も面白い。
 須川卓二－すばらしい応酬です。初手14金が打てると思っていた。5
 村田秀作－桂がちよろちよろ動き廻る。6
 中山美保－思ったより手が続くが、冗長ではない。4
 ☆初手絶対で、その後もほぼ一本道ですが、味の良い手順です。

No.090 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								馬	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金桂
 33金 41玉 34桂 32玉 22桂成 41玉 31成桂 同龍 53桂 同金 31角成 ④52玉 41馬 同玉 42飛 51玉 62香成迄17手詰。

誤0 無24
 ⑥0⑤3④11③4②2①0 平均3.15

[担当：菊田裕司]
 ☆小石氏は安南一筋の作家であるが、作品の出来には非常にバラツキがあると思う。これは形から手順を模索する創作法の宿命かもしれない。本作は収束があまりに平凡で、あまり良い出来ではないように思う。
 岩本修－10手目同馬の変化も少し考えさせられる。
 ☆31角成 51玉 71飛 61合 42金 同金 61飛成迄。
 加賀孝志－収束が平凡。序は安南らしさがよく出ているのだが…。3
 KOG－安南詰らしくなくて、解けたという満足感がない。
 佐藤伸夫－手順前後不成立と、馬の無力化がポイント。41馬の味がいい。5

中山美保－最後の乱れは気になるが、流石に上手い。

作品集：重苦しい捌きになったが、多少の難解さが救い。

*作品集は①51玉。41飛 52玉 61飛成がある。

No.091 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂
 14飛 35玉 47角 46桂 15飛 同角 14角 24合 47桂迄9手詰。

[担当：菊田裕司]
 一本道。

No.092 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛
 41飛 43玉 53飛 同歩 51角成 32玉 ④42馬 22玉 31飛成 13玉 22龍 同金 24馬迄13手詰。

[担当：菊田裕司]
 散漫な印象。

作品集：5三飛捨てが妙手。以下追いつめて、2二竜捨てがきめ手。

*余詰 ④42飛成 21玉 41馬まで。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			皇					科
				歩	角	王		
						歩		
				皇			歩	

持駒 飛飛桂

41飛 43玉 53飛 同歩 51角成 32玉 42飛成
23玉 12龍 同玉 24桂迄11手詰。

No.093 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			科	金	科	科	皇	
	銀					と	王	
				銀			歩	
						飛	歩	

持駒 角銀

35角 24飛 22銀 12玉 34と 23桂 21銀生 13
玉 24角 22玉 33角成 同桂 35桂 21玉 22飛
31玉 23桂成 42玉 33成桂 53玉 62飛成 同
玉 74桂迄23手詰。

誤2 無25

⑥0⑤0④2③1②1①0 平均3.25

[担当：菊田裕司]

☆本作はコーヘーちんの創作教室用に作られたものかもしれません。収束に苦労したあとが伺えます。

★余詰がありました。11手目35桂(33桂) 34桂 25飛 33玉 22角成 42玉 23飛成以下。
また11手目32飛以下。

駒井信久一形のわりには地味といった感じ。

4

作品集：前半の応酬のみ。

後半のまとめは如何にも不様。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			科	銀	科	科	皇	
	銀				と	王		
				銀			歩	
					飛	歩		

持駒 角銀

安南詰
23手

刊行後検討
修正図
佐藤 達也
41金⇒銀

No.094 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					角	科	と	
					銀			
				銀			王	
					歩			
				歩	桂	歩		

持駒 金銀

安南詰
15手

詰将棋パダイ
1993年3月号
登場71回
懸賞⑥
作品集
第53番

23銀生 24玉 36金 33玉 45桂 23玉 22角成
14玉 23銀 24玉 34銀成 同玉 33桂成 同桂
23馬迄15手詰。

誤0 無22

⑥2⑤6④8③5②1①0 平均4.13

[担当：菊田裕司]

駒井信久一邪魔になった桂を動かす45桂が好手。4

村田秀作一45桂にはマイッタ。その上最後にその桂が生きた。6

石山知人一変化の二歩禁のための配置ですか。4

☆5手目いきなり34銀打とするのは王手にならないので、45桂と捨てにいきます。対して43玉は53角成で二歩のため同歩と取れません(55歩の意味)。この部分がやや面白と感じました。

今泉桂子一あまり狙いの感じられない渋い手順。2

雲虚空一初手両王手をかけたくなる。11との

意味は？

☆6手目24玉の変化のため(25銀 23玉 22角成以下)。

作品集

狙いは4五桂。後半奇麗に仕上がった。

No.095 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀	王	桂	一
								桂	二
						馬	香		三
								香	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀桂

23桂 22玉 31銀 同馬 33馬 同桂 24銀 21玉 32銀 同馬 13銀成迄11手詰。

誤0 無10

⑥1⑤5④4③9②3①0 平均3.63

[担当：菊田裕司]

水野亜美ー奇妙な味の初手。

☆22銀が第一感ですが、同玉で詰まず、23桂から入ります。同馬なら今度こそ22銀以下。

岩本修ー奇手33馬。収束もオツな32銀捨て。

☆しかしいづれも軽い手のため、全体的に弱い感じはします。

雲虚空ー最終手非限定は味が悪い。2

やすへいー普通詰棋の面白くないところを持ってきた感じ。2

中山美保ーこれという手がない。3

今泉桂子ー実戦形だけに12桂が汚い。3

作品集

3手目が好着。1二桂に抵抗を感じるが…。



No.096 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
							星		二
						桂	飛	王	三
					歩		王		四
						王		歩	五
									六
									七
							桂		八
									九

持駒 角

17角 15玉 35角 14玉 15歩 同玉 16飛 25玉

17角 15玉 26角 25玉 15角迄13手詰。

誤1 無9

⑥0⑤5④4③2②0①0 平均4.27

[担当：菊田裕司]

☆軽趣向的な手順で、まずまずの出来と思いますが、余詰がありました。

★11手目44角 25玉 15桂(43角成以下もある)迄。

☆余詰消しの45歩が全く役に立っていませんでした。

No.097 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						桂	桂	星	一
					と				二
						角	王		三
					龍	香		香	四
								香	五
							銀		六
									七
									八
									九

持駒 金

14金 22玉 32と 同龍 13金 同香 12角成 14玉 23馬 同桂 25銀迄11手詰。

[担当：菊田裕司]

玉を弱い駒の上に乗せるのが基本。

作品集：取れる竜を逆用。銀一枚でしっかりまとまった。

余詰

安南詰

13手

詰将棋パラダイス

1993年10月号

登場73回

懸賞③

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

1994年1月号

登場74回

今月の問題B

作品集

第39番

No.098 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛	星	一
							王		二
							王		三
							王		四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂桂

22飛成 同歩 24桂 13玉 25銀 12玉 36銀 13玉 25桂 23玉 13桂成 同香 25銀迄13手詰。

[担当：筒井浩実]

初手が英断。

No.099 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						と	桂	香	一
						と			二
						角	玉		三
						角			四
						歩	銀	桂	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

14金 12玉 23金 同角 同と 14玉 24角打 23玉 32と 33桂 同角成 13玉 23と 14玉 26桂 同銀 24馬迄17手詰。

[担当：筒井浩実]

ごく普通作品。



No.100 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							科		一
							歩		二
							王		三
									四
							科		五
							角	歩	六
									七
									八
									九

持駒 飛銀

22飛 33玉 34銀 44玉 33銀生 同桂 24飛成 34金 33龍 同金 37桂 36桂 35角迄13手詰。

誤0 無15

⑥4⑤7④9③6②0①0 平均4.35

[担当：筒井浩実]

☆形も手順も綺麗で、ベテランの面目躍如といった感じです。

菊田裕司－合駒限定と11手目55角以下の余詰

消しの52飛のおかげで、初手に味が出た。

駒井信久－22飛や打って即捨てる33銀に安南

らしさがよく出ている。

原岡望－初手が分かると展望が開ける。大妙

手はないがコツコツと積み上げる感じで、

好感もてる。

No.101 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							科		一
							歩		二
							角	王	三
									四
							歩	王	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

22金 同玉 13金 同桂 33金 同玉 34角成迄7手詰。

誤1 無8

⑥3⑤6④7③1②0①0 平均3.85

安南詰

13手

詰将棋パライ

1994年8月号

登場77回

懸賞③

*関連図

No.126

[解説担当：石黒太平楽]

☆多分3手目の13金がメインなのでしょう。
打ち捨てて同玉と取らせた直後に玉が元居た
地点に再び打ち捨てる、ということです。
これは伝統ルールでは実現しない手順であり、
変身物らしさが出ていえると言えましょうか。
☆新人の出現は嬉しいことです。すっきりし
た初形といい手順といい、新人離れしたもの
があります。安南かしこは小石広志氏の独壇
場でしたが、新風を吹き込んでくれることを
期待します。

佐藤宣多ー3連続金捨ては気持ちがいいです
(私は浪費家?)。

高橋耕之介ー13金は王様の力を強めるだけに
ちょっとした盲点。

作品集：金それぞれに思惑がある。

No.102 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂

23香成 同玉 32角 同玉 24桂 33玉 25金 43
玉 33桂成 同桂 34金迄11手詰。

誤2 無6

⑥5⑤5④7③2②0①0 平均4.68

[担当：筒井浩実]

☆23香成で玉を呼んでからの32角が気持ちの
よい手。同金に対しては15桂というこれまた
気持ちのよい手が待っています。

☆24桂と据えたあとは淡々と流れますが、最
後に桂にもうひと働きさせることによって解
後感が随分よくなっています。

神品和男ー32角が見えにくい。安南の面白さ
を存分に味わえる作。

加賀孝志ー駒が変化していく手順は味わいが
ある。

大野孝ー最後の3手がちょっとなやみまし
たが、わたしも何回か使った手筋でした。
永遠旅人ー33桂成では金は成る事はしないか
ら不成立だったでしょう。

作品集：序の畳み掛けと、仕上げとがバラン
ス良く…。

No.103 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

23金 32玉 54飛 ④31玉 43桂生 41玉 51桂
成 ⑥同桂 52飛成 同玉 53銀生迄11手詰。

④41玉は51桂成で2手短い。

⑥31玉は52飛成迄。

誤2 無16 正24

[担当：筒井浩実]

☆飛が浮いているので初手23金は当然として、
次の54飛が金を元に戻しながらヒモを付ける
安南特有の手筋。一段目に落として、攻め方
が難しいようですが、玉と桂をうまく操って、
結局最後は玉を桂にして銀生で収束します。
特に手広いという訳ではないですが、詰め難
い味があると思います。

山本強志ー収束ちょっとした驚き。本作が解
けた時は何故か嬉しかった。

加賀孝志ー安南らしさがでてる。収束も味が
よい。

永遠旅人ー一石二鳥の54飛。

大野孝ー作者としては54飛がねらいなのでし
ょうか。最後はチョット流れてしまった。

ところでS u bさんてダレ?

佐々木寛次郎ー7手目51桂成の変化手順31玉
で、一瞬ヒヤリとする。

作品集

5四飛寄りがまづまづだが、終わりは凡調。

No.104 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				毎				角	一
				歩	歩	王	歩		二
				科			科		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛桂桂

24桂 ①同歩 ②22飛 ③33玉 42飛成 ④同玉
34桂 31玉 22角成迄9手詰。

①31玉は43桂 21玉 22飛 11玉 12飛成迄。

②43玉も可。

③34玉は44角成 25玉 37桂迄。

誤0 無2 正17

[担当：筒井浩実]

☆以上が作意でしたが、④42飛 同玉以下作意
同様に余詰。また③33飛 21玉 34桂 32玉 (11
玉は41飛成～22角) 22角成 43玉 41飛成以下
でも詰むようです。

☆作者以外の作意解は双方解をのぞけば1名
のみ。

粗検陳謝。作意+余詰指摘は神無太郎、駒井
信久の両氏。余詰2つ指摘は20歳浪人氏。

☆最後に作意解答者の評を。

佐藤善起ー変化にも安南が豊富で良い。

No.105 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				皇	皇	皇	科		一
						王	角		二
				皇				と	三
									四
						馬			五
									六
						驥			七
									八
									九

持駒 銀

余詰

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2000年4月号

登場4回

懸賞①

④23と 43玉 33と ①同桂 34馬 54玉 45馬
同桂 65銀迄9手詰。

誤1 無10 正18

[担当：筒井浩実]

佐々木寛次郎ー肝心の9手詰の方がどうして
も分からない。となると、この解答の自信
もグラグラと…。「本当に早詰なの、ササキ
さん！」

☆余詰がありました。

④23馬 43玉 44銀 42玉 31角成 同金 43銀
打迄。

☆他にもあります。粗検陳謝。

☆作意解者の短評を掲げる。

上田安夫ー一段目実戦「っばい」。

高橋耕之介ー守備桂の二段活用で安南の特色
がよくでていると思う。

千々岩倫太郎ー桂の二枚ハネ。よくできてい
る。

山本強志ー月に一度のお楽しみ。S u bさん
の安南詰は解後感すっきりしていて好きで
す。

永遠旅人ー52玉と逃げられ袋小路に陥る。

☆①52玉は61銀迄。

No.106 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				皇	皇	皇			一
						王	歩		二
						皇			三
						飛			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

2000年7月号

登場6回

懸賞③

[出題] 非限定
があります。

④22金 ①同金 23金 同歩 42金 33玉 43金
32玉 ④45飛 ③31玉 42金迄11手詰。

①同歩は23金 同玉 24金迄。

誤0 無10 正24

[担当：筒井浩実]

☆初手は3枚の焦点の捨駒ですが、安南詰に
おける桂頭への捨駒はまさしく手筋という気
がします。続いて、玉で取れないことを見越

して、2回目の焦点の捨駒の23金で壁を作ります。以下は収束ですが、やや間延びしてしまいました。とはいえ、安南らしさはあります。

天六辰年－33歩が玉の動きだという感覚がなかったのとまどう。

石井秀幸－斜め後ろに下がれないことを見越した3手目がうまい。

佐々木寛次郎－本当は盤面の12歩の存在理由が分からなければ、「真の正解」とは言えない？ だろうが、今もって分からない。私の1/2正解か…。

☆12歩は④23金 同歩（同玉は22金以下）22金 同玉 12金 同歩 24飛の防ぎ。

☆選題文の中で触れた非限定は⑥と⑩の箇所ですが、それに対する短評を掲げます。

原岡望－飛引は盲点だが非限定が痛い。

加賀孝志－収束の非限定はこの場合苦にならない。安南の味がよくでています。

守護主天－かしこなので非限定はあまり気になりません。

忍者うどん－このキズは消すべきでしょうが、易しいのでボツでないのは正解、と思う。もっとガンバッテ欲しい作者です。

No.107 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					△	皇	王	皇	一
							王		二
							桂		三
									四
							馬		五
									六
							香		七
									八
									九

安南詰
13手

詰将棋パライ
2000年9月号

登場7回
懸賞⑤

作品集
第69番

持駒 角金香

33角 同桂 24金 21玉 22桂成 同玉 23香 21玉 13金 32玉 22香成 同桂 23金迄13手詰。

誤2 無14 正20

[担当：筒井浩実]

☆いきなり24金では23角でどうしようもなくなるので、妙手一閃、33角と叩き込みます。玉を桂にしたまま詰みたい心理があつてや

りにくいと思います。以下安南ならではの打ち換えもありうまくとまりました。

佐々木寛次郎－安南のルールには不慣れだと言いながら、第一感の33角にはニンマリした。しかし22桂成と22香成は不慣れからウツカリし、最後の23金ではルールが分かったのか、チョッピリ感動した。

永遠旅人－一角の無力化が最後まで要注意。

大野孝－4手目まではこんなもの。ポイントの5手目がわかればあとはスイスイ。

作品集：仕上げが既成手筋で興奮め。

桂成捨ても一目だけに…。

No.108 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王			一
								龍	二
					歩			銀	三
						馬		王	四
						歩	歩		五
									六
						馬			七
									八
									九

持駒 桂

安南詰
9手

詰将棋パライ
2000年10月号

登場8回
今月の問題⑩

作品集
第62番

15馬 同玉 24銀生 同玉 36桂 33玉 32龍 同玉 42歩成迄9手詰。

[担当：筒井浩実]

作品集：一本道。63と姉妹局。

*第63番：No.109（次作）

No.109 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					と	王		皇	一
								龍	二
					歩			銀	三
						馬		王	四
						歩	歩		五
									六
						馬			七
									八
									九

持駒 桂

安南詰
11手

詰将棋パライ
2000年10月号

登場9回
今月の問題⑥

作品集
第63番

24銀成 同玉 16桂 33玉 55馬 44龍 32龍 同

No.112 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
						科	科	

持駒 金金金金銀

安南詰
11手
詰将棋パラダイ
2001年1月号
登場12回
懸賞③
作品集
第20番

④21金 同玉 22金 同玉 33金 ④11玉 21金
同桂 22金 同玉 23銀迄11手詰。

④31玉は42銀 同桂 32金打。

④22金は同桂以下逃れ。

誤0 無9 正29

[担当：筒井浩実]

忍者うどんー再度の21金と22金の滑り込みは
いい感触でした。

☆無仕掛図式ですが、安南ならば金銀だけの
持駒でも詰められます。そのためには桂の上
に玉を乗せるように攻めていくのが重要で、
桂の上に乗った時のために銀は残すことにな
ります。

☆初手でいきなり22金は同桂で手が続かなか
るので21金ですが、以下33金を据えること
によって次の21金には同桂を強要し、無事桂
の上に乗せることができます。

高橋耕之介ー金4枚でいかに桂の上に玉を乗
せるか。それも桂2枚を横に並べずに。

千葉肇ー22金で簡単と思ったら、同桂と取ら
れるのをうっかり。

原田清実ーとどめは銀。これさえ守れば。

滝本幹夫ー桂の上に玉を動かしたいので銀を
残しておく。

原岡望ー金を先に捨てるのがミソ。

加賀孝志ー小駒のキメの細かさがある。誰で
も考えてみたくなる佳作。

作品集：好みの一局。これだけ一本道で、内
容のあるのは少ない。

No.113 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	王
					科	科	科	
						角	科	
					科	桂		

持駒 飛角桂

安南詰
11手
詰将棋パラダイ
2001年4月号
登場13回
懸賞②
作品集
第46番(原図)

④23桂 同銀 12飛 同玉 23角成 同玉 32角
33玉 43角成 同玉 44銀迄11手詰。

④12角成 同玉 23角 同玉 43飛 33歩引以下
逃れ。

原稿誤記（＊発表時、持駒角⇒銀）

[担当：筒井浩実]

☆引きずり出して詰ますのですが、23玉の時
に持駒が飛角桂でも飛銀桂でも詰まず、角銀
ならば詰むという不思議。この論理によつて
1、3、5手目のコンビネーションが生まれ
ます。収束定型になってしまいましたが、無
難なまとめというべきか。

松田圭市ー12飛が同玉の一手とは！

高橋耕之介ーやっぱり桂に乗せて頭銀だった。

金は角に弱く、桂は銀に弱い。

伊東史郎ー銀→角がヒントになりました。

原田清実ー「どいつもこいつも役に立たねえ
なあ」という玉の嘆きが聞こえてきそう。

作品集 第46番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	王
					科	科	科	
						角	科	
					桂			

持駒 飛角桂

安南詰
11手
2004/11(手書)
2016/6(刊行)
＊45歩は不要

作品集：出だしが新機軸だが、終りはどうも
どうもの桂頭銀。

No.114 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				銀				
			科	王		星		
				龍				
			角					
		香		香				

持駒 角銀桂

安南詰

5手

詰将棋パラダイ

2001年8月号

登場14回

今月の問題A

作品集

第76番

43銀 同龍 63桂 同龍 43角迄 5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆玉が飛の動きになっているのでコビンから攻める。角筋を通して龍を無力化してトドメを刺す序破急の流れ。63桂が安南らしい手で、この時桂は角の動きになっている。初手53角成の紛れが面白く、以下同玉 76角 44玉 (64合は43飛以下容易) 42飛 35玉 32飛成と続くが詰まないようだ。熱心家は研究されたし。

作品集：竜の往復だけ。

No.115 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							星	
				飛				
							王	
							金	

持駒 角桂

安南詰

9手

詰将棋パラダイ

2001年8月号

登場15回

懸賞②

作品集

第73番

38角 27と 29桂 26玉 25飛 ①同香 ①6金 同と 37桂迄 9手詰。

①同玉は16金迄。

①37桂は38と以下逃れ。

誤1 無13 正21

[担当：片岩裕貴]

☆初手38角は限定打。対する27との移動合は退路をあける意味です。5手目の飛捨てが玉を香の動きにする手で、安南の常套手段です。

以下金捨てでと金の守備を外し、最後は初手の角が存分に活きる詰上りとなりました。

八尋久晴一玉を香の動きにする5手目が好手。忍者うどんーすばらしい完成品。こういうのを一度で良いから作ってみたい。

大橋雅道一詰上りに感動。手順も安南特有の手順で面白い。

加賀孝志一少ない駒で効率よく旨く作っている。

佐々木光正一収束のタタキ込みが凄い。

高橋耕之介一25飛がいかに安南の一手。詰上りもかっこのいい形です。

滝本幹夫一安南の味が随所にてている。

藤岡靖朝一25飛で玉を香化する狙いを見抜けるかどうか。初手も打ちにくい所。

作品集：小さくまとまった。捌き主体。

No.116 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				科	と			
				歩	王	角		
				龍				
				香				

持駒 飛金

安南詰

7手

詰将棋パラダイ

2001年10月号

登場16回

懸賞①

作品集

第74番

11飛 ①31玉 ①23角成 ①42玉 53金 同桂 41飛成迄 7手詰。

①13玉は34角成 11馬 23金 14玉 24馬迄 同手数駒余り。

①12歩は21飛成 13玉 24金 同馬 同龍迄 同手数駒余り。

①11馬は41歩成以下。＊32金。21合は41歩成。原稿誤記（＊持駒金脱落、結果稿も）

[担当：片岩裕貴]

☆原稿誤記でご迷惑をお掛けしました。過去の解答者のうち住所の分かる方には葉書を発送したのですが、それ以外の方には大変悩まれたことと思い、深くお詫び申し上げます。

☆採点して驚いたのは、①13玉 23角成 同玉 14金 22玉 21飛成迄と①12歩 21飛成 13玉

22龍 同馬 24金迄の変化別詰を書かれた人が半分位いたことです。前記のように同手数駒余りで割り切れています。②21角成 42玉 52金迄の詰みと勘違いされたのでしょうか？

(同歩で逃れ)。

佐々木寛次郎－11飛と42玉は第一感なのに、最後まで感動の連続である。

高橋耕之介－安南だけにこの詰上りは気づきにくかった。

作品集：5三金が狙いすました一撃。

No.117 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	銀
							飛	
							桂	角
							玉	歩
							飛	

持駒 桂

53桂 ①同桂 52角成 31玉 53馬 ②42金 43桂 41玉 52桂成 32玉 31桂成 33玉 32成桂 同金 22銀生 同金 43成桂 34玉 26馬迄19手詰。

①31玉は22銀 同玉 23角成。

②42飛は作意同様に進んで22銀が省略できて2手早い。

誤1 無9 正16

[担当：片岩裕貴]

☆軽快な捌きの手順。普通ならば、52桂成、32玉には42馬迄となってしまうのですが、43桂があるために王手になりません。そこで桂を消しにいきます。安南ならではの小味な手がところどころ出てきますが、全体的に軽快手順が見どころのように思います。

某氏－9手目が成生非限定？ 手順は良い。

☆生だと53金と根元を取られてダメ。

天六辰年－22銀不成は同玉と取られそうな錯覚。最終手は気持ちのいい手。

大野孝－合駒を読まされました。11手目42馬といけないのがしゃくです。

藤岡靖朝－まさかF Lで合駒調べをするとは思わなかった。52角成 31玉 43桂迄とした人は？

☆さすがに一人もいませんでした。

作品集：3六歩は不詰防ぎ。(6手目の4二飛合を防ぐ) 流れる様に進んで、成桂・銀捨ての2手が圧巻。

No.118 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	銀
							飛	
							桂	角
							玉	歩
							飛	

持駒 飛銀銀

23銀 同金 13飛 同桂 25馬 同銀 15銀迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

作者－狭い構図で、初歩的な手筋ものです。☆まず目につく手は13飛(何で取っても玉が桂か香の動きになる)ですが、いきなりやると同玉で後が続きません。そこで23銀と捨てて金を取れるようにしてから13飛を決行します。13飛に対しては同桂が正しい(その他の応手は1手詰、確認されたし)なのですが、馬捨てから銀の単騎詰できれいにまとめました。

作品集 第80番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	銀
							飛	
							桂	角
							玉	歩
							飛	

持駒 飛銀銀

安南詰
7手

詰将棋パラダイス
2001年11月号

登場18回
今月の問題①

作品集
第80番(原図)

安南詰
7手

2004/11(手書)
2016/6(刊行)

作品集

最終2五馬の強烈パンチは、正にO.K牧場。

No.119 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	王
								二
							王	三
							飛	四
				馬				五
								六
								七
							歩	八
								九

持駒 金金金金

14金 同銀 25金 同銀 23金 12玉 13金打 同桂 14飛迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

作者－（前略）何と云っても、此の詰上りは憎い…と思いませんか。

☆このまま飛を取られてしまうと絶望的なので、飛を守りながらの攻めが必要となり、着手は限られてきます。金の連続捨駒で銀を移動させてから23金とすれば12玉の一手。香の動きになった玉の頭を三枚目の金捨てで埋めて、取れる駒を取らずにじっと1マス寄ってピンメイトにするのがとぼけた味です。

【詰将棋パラダイス 2002(H14)年2月号】

忍者うどんー正式な発表年月を調べていないので聞き流してもらって結構なのですが、今月の問題⑧は初出ではありません。小石広志名義で15年以上前？に発表済でしたね。その時は余詰があって後日修正されました。（中略）私の尊敬する安南の先達なので覚えていたのでしょうかね。（たまたま）

☆調べてみたところ、85年1月号に△13玉 14銀 11香 21桂▲24飛 持駒金3（86年5月号で△26歩を追加して修正）の図が発表されています。

*No.060



No.120 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	王
						王		二
						王		三
						馬	角	四
								五
							飛	六
								七
								八
								九

持駒 金

44角 ④23玉 22角成 同金 32飛成 13玉 12金 同角 23龍迄9手詰。

④同玉は34飛 同角 55金迄。

[担当：片岩裕貴]

作者－構図の美しさと、仕上げが気に入っています。

☆1、3、5手目は、よくある筋とはいえ、気分の良い捌きの手順。金の無力化と飛の成り込みに成功しました。対する13玉に12金が決め手で、やむを得ない同角（他は22龍で駒余り）で玉方の23へのききがなくなり収束します。

作品集：此の終盤の仕上げは安南の得意技。

No.121 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					王	と	香	王
				飛			飛	二
							王	三
					馬		香	四
							香	五
							歩	六
								七
								八
								九

持駒 金銀

24銀 ④同玉 34金 同歩 23飛成 ⑤同玉 22飛成 同角 24銀 12玉 23銀成迄11手詰。

④同銀は12飛成 同香 23金迄。

[担当：片岩裕貴]

作者－釣って戻す。普通詰将棋の感覚。

（構図も…）

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2001年11月号

登場20回

今月の問題⑧

作品集

第79番

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

2001年11月号

登場21回

今月の問題⑩

作品集

第84番

☆初手から23飛成では玉が広すぎてどうにもなりません、金銀を使って34を埋めると一気に玉が狭くなります。上部への脱出も、㊤35玉は26龍迄と止まっています。作意22同角で34を埋めた効果が如実にあらわれます。

作品集：一度引きずり出して、また引き戻す。

No.122 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	一
								二
				歩	歩		王	三
				金	金			四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛金銀

11飛 23玉 12飛成 ㊤33玉 22龍 44玉 33銀
㊤同金 同龍 同桂 34金 同龍 55金迄13手詰。
㊤同玉は22金 13玉 23銀迄。

[担当：片岩裕貴]

作者一型の良さだけ…。

☆14から逃がしては苦しいので、背後から飛を打って防ぐのは仕方がないのですが、12玉型になった時の対策を押さえておかないと決行しにくいかもしれません。龍を取れない玉は44に逃げますが、俗に33銀と打ち込めば解決です。㊤同桂も同手数（但し別詰あり）のようですが、仕方がないところでしょうか。

【詰将棋パラダイス 2002(H14)年2月号】
駒井信久－今月の問題㊤は、5手目より42銀44玉 53銀生までの早詰と思います。
☆粗検陳謝。53歩→攻方54歩くらいで直らないものでしょうか。



No.123 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								銀
								二
				角				三
				金		料	王	四
				歩				五
								六
							歩	七
								八
								九

持駒 金銀

34角成 32玉 22銀成 同桂 33銀 ㊤21玉 ㊤12馬 同玉 23金 同玉 24銀生迄11手詰。

㊤41玉は32金迄。

㊤22銀成は同玉 33金 13玉で逃れ。

以下23金や24金は同歩。

25桂は王手にならない（26歩の意味）。

誤3 無3 正16

[担当：片岩裕貴]

☆桂頭玉を目指して初手34角成は自然な一手。是非ない32玉には持駒の力を生かすべく22銀成の追撃。同玉では並べ詰みなので同桂ですが、調子に乗って23馬などとしては、どう見ても左辺がガラ空きなので、じっと33銀と頭から押さえます。これには21玉と逃げますが、そこで12馬の焦点の捨駒が見事な決め手。同桂には22金を用意し、同玉にも23金とトドメの好手が出て、予定通りの銀生で締めます。原岡望－桂先玉をしつこくねらう。高橋耕之介－桂頭玉用に銀を置いておきたいのを我慢して33銀。

藤岡靖朝－初手は絶対的としても、その後の攻防にアヤがあって結構面白い。最後はお約束通りの桂頭玉に銀という安南詰の収束ですが。

今川健一－ある時は桂、ある時は玉、その変わり身に悩まされる。

忍者うどん－この形で12馬が入るのに驚く。

あと1、2枚駒が少なければ…。

☆不要駒については作者も気にしていますが、重苦しさを感じさせる駒配置ではないので、成功の部類に入るのではないのでしょうか。

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

2001年11月号

登場23回

懸賞㊤

作品集

第81番

作品集

1二馬捨て発見が鍵。久し振りの大業。

No.124 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						馬		
				と			王	
					と			

持駒 桂香

14香 ①13角打 24桂 ②21玉 32と 11玉 13香生 同角 ③33角 ④22歩 23と 21玉 12桂成 同歩 22と迄15手詰。

①13歩は24桂 21玉 32と 11玉 13香生 同角 23歩 24角 22歩成迄。

①13桂は上記手順中23歩のところ23桂迄。

②11玉は13香生 同角 34角 21玉 12角成以下。

③他合は同角成 同角に取った駒を23に打って詰み。

④44角は22歩 同と 同角 23歩 21玉 12桂同玉 22歩成 (22角成は王手ではない) 13玉以下逃れ。

誤3 無6 正14

[担当：片岩裕貴]

☆簡素象形に心許ない持駒で攻駒不足に見える初形ですが、何はともあれ14香と打ってみます。21玉には32桂迄なので合駒ですが、前に利く駒や桂は前述のように早いので角合と決まります。

☆玉を下段に落として角を補充した後に33角で再度の合駒調べですが、同角と取られた時に打歩詰で逃れようという意図で歩に限定されます。歩合には取らずに23とと引いて12桂成がトドメの好手となります。

☆このような何気ない形から限定合が出てくるというのは、詰将棋の醍醐味の一つと言えるのではないのでしょうか (ゼッターランド風)。

*すみません。编者には不明でした。↑

安南詰

15手

詰将棋パラダイス

2002年3月号

登場24回

懸賞②

作品集

第66番

市村道生—ごく普通のスタートだが、徐々に安南の本領を発揮。佳作。

今川健—最後の一手まで弛まない佳作。特別な局面で飛び出す打歩詰は面白い。

藤岡靖朝—初形は好形、手順は合と逃げの絡みがややこしい。

佐藤善起—安南の面白さたっぷりの変化、紛れがある。

作品集：角打合がまずまず。仕上げも許容範囲かな。

No.125 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				皇		王		
			帝			角		
					香	歩		
				帝		桂		

持駒 なし

33桂生 ①32玉 21桂生 ②42玉 54桂生 43玉 55角成 42玉 33馬迄9手詰。

①同とは同角成以下。

②同玉は23香成迄。

誤4 無24 正19

[担当：片岩裕貴]

☆手順を見ていただければわかるとおり、桂の3連続不成がテーマの作品です。意味付けは、42に逃げられた時に54から王手をしたいという単純なものです、実際作るとなると案外難しそうです。最後両王手で締めたのはさすがですね。

弘光弘—桂の動きが楽しい。

永遠旅人—無意識に21桂成として立往生。

天六辰年—不成の三連発はあい変わらず旨い。

柿久桂古—21桂生は安南の面白さ。

佐藤善起—三連不成で鮮やかな詰上り。

作品集：一応不成3回。ぴょんぴょん角・桂がとび廻る。

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2002年9月号

登場25回

懸賞④

作品集

第86番

No.126 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							桂	一
				飛				二
				歩		王		三
								四
				銀				五
					歩			六
			角					七
								八
						桂		九

持駒 飛銀

22飛 33玉 ㊤24銀 ①44玉 33銀生 同桂 24飛成 34金 33龍 同金 37桂 36銀 35角迄13手詰。

㊤24角は22玉以下逃れ。

(次に23銀が王手にならない)

①34玉は23飛成 25玉 13銀成以下。

誤5 無18 正14

[担当：片岩裕貴]

☆初手22飛が強烈。同玉でも同飛でも頭銀の一発で詰んでしまいます。やむなく上に逃げるのですが、銀を打って歩の上に誘導します。歩の上に誘導したあとは、桂を取ってからの37桂が好手で、36歩を取らせることによって35からの王手が有効になります。

☆気分のいい初手に始まり、途中限定合を挿入してうまく出来ています。歩になってからが意外に長い。

森美憲－攻め駒が歩越しにならないようにするための収束が絶妙。

市村道生－初手から最終手まで緊迫感がある。

収束の手筋が面白い。

佐々木寛次郎－初手の22飛は第一感だが、最終手は36に歩が有るだけに。66角を考えて随分と遠回りした。

あーくん－初手はひとめ。あとはとりまきをどう避けて攻めるか。

作品集：No.16からの発展。終わり良ければ…と思ったが、逆に厭味っぽい。

*第16番：No.005 (1968/6)

関連図：No.100

No.127 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							桂	一
				金				二
				王		龍		三
			馬	歩	歩			四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金金

32金 同金 22龍 同金 32金迄5手詰。

誤3 無16 正35

[担当：片岩裕貴]

☆34歩が玉の動きになっているので上からの攻めは効きません。また、22龍と桂の上に玉を乗せようとするのも安南の手筋ではあるのですが、14から逃げる筋が防げません。手に窮したようですが、32金から22龍が妙手順。これで、32へのききをなくすことに成功しました。以下は尻金の詰みです。

k z－実戦型。金呼び寄せる大胆な手順。林八江子－金呼び込んで22龍。安南ならではの不可思議詰物。

鈴木豪－ころころ変わる玉虫色の金。

今川健－駒の性能が次々に変化する。ようやく安南にも慣れてきた。

作品集：これはもう如何にも安南！

No.128 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							桂	一
						金		二
					歩	王		三
				馬				四
						歩		五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛銀

24銀 ①14玉 ㊤13飛 ㊤同香 23銀生 ㊤同歩 25馬迄7手詰。

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

2003年3月号

登場27回

懸賞②

作品集

第90番

余詰

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

2003年7月号

登場28回

懸賞③

- ①同歩は12飛 同香 24馬迄。
 ④22玉は23飛以下駒余り。
 ⑨同桂は15銀迄。
 ⑤同金は同馬迄。
 誤7 無21 正22

[担当：片岩裕貴]

☆手順を見れば普通の手筋物なのですが、最後の二歩禁を利用した詰上りが見えにくかったようで、④15銀 13玉 12飛 同香 14歩という打歩詰の解答が何通もありました。

☆安南では玉を弱い駒の上に乗っけるのが鉄則で、作意と変化で桂と香の上に乗せるものがそれぞれ2通りずつあります。そして、そのうちの桂にして詰ます変化の、一方は23飛という力攻めでもう一方は15銀と軽快に詰ます対比が面白いと感じました。

佐藤宣多ーいかに二歩禁に持ち込むかの駆け引きが面白い。

山口勇ー簡単そうで難しかったです。

k zー「かしこ」らしい緊張感。手強い歩2枚を逆用する収束は快感。

永遠旅人ー二歩禁に追い込むなんて想像外。

伊東史郎ー玉方の二歩禁を利用したうまい詰め方。

*余詰：④15銀 13玉 14歩 22玉 25飛以下。

No.129 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									二
									三
									四
									五
						歩	料		六
					毎	金	歩		七
					王				八
			王				金		九

持駒 飛角

29金 同玉 19飛 38玉 28角 27玉 37角 36角成 29飛迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆安南では弱い駒の上に玉を乗せるのが常道ですが、この図では48玉から角になる手を見せられています。しかし、48玉には39角で捕

まえる手があるので39角とできるような手を選びます。最終手以下合駒は同角で無駄合という判断です。

作品集：角桂が結構な足かせ。最終合は不要。

No.130 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇	王	一
							料	二
					角	料		三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛飛銀

12銀 同玉 14飛 ④21玉 11飛打 ⑨32玉 34飛 ⑤同桂 22角成迄9手詰。

④13合は11飛 同玉 13飛成以下。

⑨同桂は同飛成 32玉 22龍。

⑤33金は21飛成。

誤1 無1 正25

[担当：片岩裕貴]

☆初手13飛では12合とされてうまくいかないので、12銀と打ち捨ててから飛を打ちます。こうすると合駒には変化④のように、いわゆる「飛バサミ」の手筋で詰みます。このあとは11飛打の力ずくの攻めから一転して34飛の鮮やかな手と緩急自在の動きです。

☆⑤は変同ですが、変同そのものよりも、どちらの変化でも大駒が一枚詰上りに参加していないのがちょっと味悪です。スパッと終わらせたい気持ちもわかるので、なんとも言えないところですが。

原岡望ーサンドイッチに気づけば容易。

桑田倫彦ー何気なく打った14飛が限定でした。砂川順一ー初めて安南に取りくみました。解けてよかった。34飛が好手。

佐藤善起ー普通ルールのような出だしから、安南特有の34飛。

☆そうですね、この導入は決まっている手順ではありますが、安南らしさがないですね。

☆それでは、最後に今月の全部言わせての原

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
2003年10月号

登場29回
今月の問題③

作品集
第89番

田清実さん、よろしくお願いします。
原田清実－14飛と打って34に回せることに気づいてようやく解けました。

作品集：もう一枚の飛が捌けず残念。

No.131 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				銀		金	王		一
				香	王	角			二
					卒	卒			三
				卒		桂	卒		四
				歩					五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀
31銀 同玉 41角成 同玉 53銀 31玉 41香成
22玉 32桂成 34玉 46銀 45歩 44銀成迄13手詰。

誤0 無4 正23

[担当：片岩裕貴]

作者－たんたんに進む。狙いもあるようなような。構図の方でどうか…と思うんですが。

☆きれいな実戦型です。左辺に逃がしてはいけませんので、31銀としてこちらに引き込みます。そのあとは、作者の言にもあるようにたんたんに進みます。5手目に何気なく打った銀でとどめを刺すのはちょっと意外かもしれませんが。

☆詰上りで成桂と成香が取り残されてしまった感がありますが、形重視の正算創作ゆえに、やむをえないのでしょうか。

佐々木寛次郎－10手目の34玉からの攻防は、その妙技に酔いました…流石ですネ。

井上道宣－41香成がいい。

今川健一－最後まで好手続出。後方から援助が面白い。

加賀孝志－すべての駒が生きた佳作。詰上りも洒落ている。

佐藤善起－一本道なので難しくはないが、収束は面白い。

原田清実－安南を解いたという気にさせてく

れます。

作品集
打ち直しの5三銀が最終のおつとめに一役。

No.132 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀			一
						歩			二
						馬	卒	卒	三
						留		王	四
						卒	銀	桂	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金銀桂
26桂 同銀 ②4飛 15玉 25銀 24歩 14金 同歩 24馬 同馬 16歩 同馬 24銀迄13手詰。

誤0 無22 正16

[担当：片岩裕貴]

☆上が作意でしたが、②のところ25銀 同歩（同馬は24馬 同馬 25金迄）24飛 15玉 14銀 同玉 15金迄の余詰がありました。粗検深謝いたします。

余詰解14名、作意解2名（作者含む）。

☆作意解者少数のため、短評は割愛いたします。

No.133 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀		一
						王	角		二
			卒						三
								香	四
					卒	卒			五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛銀
31飛 ①43玉 44銀 23玉 34飛成 同玉 33角成 同桂 35銀迄9手詰。

①23玉は15銀 12玉 24銀 13合 同香成以下。
誤1 無19 正24

余詰

安南詰

13手

詰将棋パラダイス

2003年11月号

登場32回

懸賞③

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2004年3月号

登場33回

懸賞④

作品集

第91番

[担当：片岩裕貴]

☆飛の上に玉が乗っても、63歩が邪魔をして行動範囲が狭いことに気づけば、31飛〜44銀の順はすらすらと進むのではないのでしょうか。玉を23に追いやったあとは、飛角を豪快に捨てておなじみの桂頭玉に銀の詰上り。爽快感あふれる作品といえるでしょう。

須川卓二ー思ったより手が狭くて助かりました。

伊東史郎ー34飛成、33角成の2手で決まり。井上道宣ー半ばあきらめヤケ気味の33角成でオッ。

市村道生ー変化順も安南の味が楽しめる。佳作。

今川健一ー2手目23玉の変化が難しい。

佐藤善起ーたたみかける収束6手が美しい。

岩本修ー大駒の連続捨ては、どんなルールでも気持ちいいですね。

名越健将ー解答3年目ではじめて解けた安南。

万歳！

☆万歳！

作品集

まあ無理矢理桂頭玉に持っていったと云う事。

No.134 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀	桂	皇
									王
							銀		
							馬		金

安南詰

9手

詰将棋パライ

2004年8月号

登場34回

今月の問題

持駒 飛角

22飛 同馬 13角 同桂 22銀成 同桂 13角 14桂 22角成迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆初形で玉が香の動きになっているので14玉と逃げ出されないように攻めなければなりません。初手は14玉には24飛成を見た22飛。同馬と取らせて馬を質にしておきます。以下は安南らしい軽快な手順で、攻方一枚の詰上り

となります。作者は既成手筋と謙遜されていますが、コンパクトなまとまりは好感が持てます。

No.135 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								桂	一
								王	二
								馬	三
							角	歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

32飛 13玉 22飛成 24玉 13龍 同桂 16角迄7手詰。

誤0 無7 正30

[担当：片岩裕貴]

☆玉を桂の上に乗せることができれば23角成までなので、3手目22飛成までは妥当なところでしょうか。対して24玉と逃げたときに13龍とするのが妙手。玉は歩になっていて同玉とは取れないので同桂の一手なのですが、これで14歩が桂の動きになったので16角が決まるという寸法です。

☆ここには軽めの問題を持ってきたかったので、初手の非限定には目をつぶって出題したのですが、短編だけに気にされた方もいました。43歩を置くなりすべきでしたか。

中村増一ー玉方の桂を終始一貫して利用するのが見事です。

原岡望ー鮮やかな一語。

柿久桂古ー16角に味がある。

脇舞光ー13龍を玉で取れないのが痛い。

保木本恵三ー16角を見つけて感動、13龍でもう一度感動。安南かしこに初めて解答できました。

☆なお、初手22飛は11玉なら23角成迄ですが、13玉 14歩 24玉と打歩詰に逃げられて詰みません。

同一の内容をもっと簡潔に。
此れ以上何も足さない、何も引くものなし。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						桂	
					金		
					歩		
						王	
					歩		
							香

持駒 角金金

36角 ①23玉 ㊤22金 同玉 12金 34玉 18角
迄7手詰。

④25合は13金 同桂 15香迄。

①14金は12玉 15香 13歩以下手は続くものの逃れ。

誤5 無15 正26

[担当：片岩裕貴]

☆25からの逃げを許すことはできないので初手36角はこの一手です。これによって35歩が角の動きになったことも見逃せません。23玉に22金が妙手。12に逃げられると困るので12に行けなくする狙いです。同金には頭金までなので同玉ですが、12金で34に追い出しての18角が35歩を元の動きに戻しつつ17香を角にして35歩にヒモをつける鮮やかな決め手となります。17香が変化で働くのは巧い作り方だと感じました。

佐藤宣多―捨駒は22金だけだが、インパクトのある手。34玉が見えず、5手詰?と勘違い。17香の配置も言うことなし。

高橋耕之介—安南には珍しく離して打つ角。いい作品です。

上田安夫一角の活用を図る。

駒井信久一步詰の不思議な感触。

今川健一―突き歩でもない。なんと云うのかな？

☆名前はないと思います。

作品集：詰上りが想定し難い。

No.137 S u b

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王	群
				飛		留	
						角	
				歩			

持駒 金桂

42角成 同玉 52金 31玉 43桂 41玉 51桂成
31玉 22金 ㊦同馬 52飛成迄11手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆初手の角成り捨ては22に玉が来たときの23飛成が王手になるようにしたものです。42角成から52金と据えてすぐに22金としてしまつては、同馬で桂一枚では捕まえることができないので、51成桂の形を作っておきます。決め手の22金を玉で取るのは23飛成迄なので、やむない同馬ですが52飛成で決まります。なお、これはいわゆるすかし詰ですが、かしこ詰系の場合は、すかし詰も詰みということになっています。

作品集：割合旨く割り切れた。

*最長手順

④42玉 52成桂 41玉 ④43飛成迄13手。

④23、63および5筋すべてでも可。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						科	
					王	融	
			飛		留		
			桂		步		

持駒 金桂

42桂成 同玉 52金 31玉 43桂 41玉 51桂成
31玉 22金 同飛 52飛成迄11手詰。

作意設定不可

安南詰

11手

詰将棋^ハラダ^イス

2004年10月号

登場37回

今月の問題

作品集

第97番

No.138 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	一
							王	二
						と	飛	三
				銀				四
				銀	歩		歩	五
							歩	六
								七
								八
								九

持駒 銀

32飛成 13玉 22龍 14玉 23銀 24玉 34銀成
同玉 44銀 43銀 33龍 同桂 35銀迄13手詰。

誤1 無6 正24

[担当：片岩裕貴]

☆定跡どおり玉を桂の上に乗せようと22龍と押し売りをするのですが、当然14玉とかわされてしまいます。14にいられたままでは後続がないので、23銀から34銀成と攻駒のある方に誘い出します。34玉には44銀とするのが安南らしい攻め方で、やむない43銀に33龍の捨駒が決まって桂頭玉に銀の詰上りとなります。44銀とせずに33龍としても玉を桂の上に乗せることはできますが、後続がありません。この一手の工夫が作品を引き締めています。全体を通して見ると、起承転結のストーリーがはっきり出ている作品で、佳作だと思います。

岩本修－後半の銀を動きが印象的。

佐藤善起－安南らしい美しい手順。

井上道宣－名手44銀、しかし桂に乗った玉は弱い。

保木本恵三－33龍捨てが起死回生の一手。

須川卓二－駒がよく働いている。さわやかな感触。

作品集

同じ狙いだが、少なくとも此方が上かな。

＊第91番：No.133（2004/3）との比較。

No.139 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	一
							王	二
						毎		三
						歩	歩	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角金銀

13銀 同玉 31角 22銀 12金 同角 22角成 同玉 23銀迄9手詰。

誤0 無14 正30

[担当：片岩裕貴]

☆初手22金では13玉 23金 同玉となって大海に逃げ出されてしまうので、13銀からの手順は妥当だといえるでしょう。31角に対する合駒ですが、斜め後ろにきかない駒だと、安南流の妙手12金に対して23角で取ることができず、玉と香のどちらで取っても22角成迄の詰みとなってしまいます。角が出払っているので銀合に決まりますが、それでも12金と打って角で取らせて角を無力化します。そのあとで銀を取ればおなじみの桂化した玉に頭銀の詰上りとなります。

☆コンパクトな形から意表を衝く合駒でのフェニックステーマで、途中にも鋭い手を挿入していて、佳作だと思います。

保木本恵三－合の銀、23角を後見し、やがて寝返り王様を討つ。

いのてつ－安南らしいっぱいのキレイな手筋もの。

桑田倫彦－銀合が奪えるとは虫がいい。

弘光弘一形、手順共にキレイで良い。

作品集：此れは亦あっさり。安南の入門用。

＊作品集（手書き版）の製作が2004年11月。No.140からは手書き版の製作以降に掲載された作品となります。

No.140 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						銀	科	星
						香		王
							香	
								香
							桂	
							桂	
							桂	

持駒 銀銀銀

13銀 同玉 24銀 同歩 22銀 同銀 23桂成 同玉 35桂 12玉 23桂成迄11手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆玉が香の動きになっているので23桂成までで詰めたいところですが、すぐに実行するのは32の歩で取られてしまいうまくいきません。そこで、2筋に歩を残したまま23桂成を実現すべく、23を吊り上げていきます。

☆24銀に同玉と取るのは、玉が歩の動きになってしまうので、36銀と35の桂で王手して詰みになります。また、12玉（22玉）と逃げるのは、23の地点の数が勝っているので、23桂成 同歩 同銀成（生）で詰みます。結局、24同歩が最善なのですが、首尾よく歩を吊り上げることに成功したところで、22銀がこれしかないところとはいえ気分の良い継続手段です。同玉または12玉には23桂成とすれば、今度は二歩のため、32の歩で同歩とは取れなくなって詰みとなります。

☆同銀には23桂成 同玉（銀は桂の動きになっているので同銀と取れない）35桂とするのが変身ものならではの攻めで、13に戻ることができず23桂成迄の詰みとなります。

☆23の地点が一番目につくところですが、それ以外の地点でもいろいろなところで二歩が利用されているので、一本筋が通った感じの作品になっていると思います。

作品集：多少趣向気味。流れに委せて…。

No.141 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	星
						金		
						馬	科	王
								香

持駒 銀桂

24馬 ④12玉 25桂 14玉 ①13桂成 24玉 25銀迄7手詰。

④22玉は31銀 同金 23馬迄。

①13桂生または33桂成は24歩で逃れ。

誤1 無13 正39

[担当：片岩裕貴]

☆持駒に銀があるので桂の上に玉を乗せてしまえば、ということになります。その方針に従って、初手は24馬と単刀直入に玉を誘い出しにかかります。12玉はささやかな抵抗ですが、25桂として一旦馬を桂の動きにして、両王手で馬に戻すのが決め手でこれには24玉とするしかなく、当初の目的通り頭銀の詰上りを得ることに成功します。

市村道生－5手目は限定手、油断は禁物。

☆5手目13桂生や33桂成では24歩！と取られて詰みません。両王手ならば24歩と出来ないで24玉を強要することが出来ます。

柿久桂古－実践型。うまくまとめている。

佐藤善起－馬を桂にする巧い攻め。

佐藤正－玉を24に導く。

k z－初手と3手目とで手順前後して悩ましかった。



No.142 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀	科	星	一
									二
						銀	王	銀	三
									四
									五
						銀	卒		六
									七
									八
									九

持駒 歩歩歩

24銀右成 12玉 13歩 同桂 ㊤23成銀 同桂
13歩 同玉 14歩 12玉 22銀引成 14玉 24銀
成 ㊤同玉 25銀迄15手詰。

誤0 無17 正27

【担当：片岩裕貴】

☆手が狭いので易しかったと思います。流れ
でなってしまったという印象は否めませんが、
21桂を23に動かしてその上に玉を誘うという
いわば定跡的な手順になっています。

☆われながら情けない見落としがありました。
㊤23歩 同桂 13成銀以下作意に戻って詰む。

☆余詰解10名、双方解5名。

粗検陳謝いたします。

加賀孝志－㊤の尾岐れは痛い。

☆そうでしょうか？ ㊤15玉も25銀という安
南らしい手で詰むのですが、むしろこの変同
が作品に面白みというか深みを加えていると
思います。

【詰将棋パラダイス 2005(H17)年12月号】

岩本修－少し古い話ですが、6月号の結果稿

㊤の余詰手順ですが、23歩に24桂としたら
どのように詰ますのでしょうか。

☆確かに詰まないですね。作者にはご迷惑を
おかけして申し訳ありません。解答成績につ
いては担当の審査ミスなのでそのままとしま
す。

*関連図：142改（113ページ）

No.143 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							科		一
							と		二
							王	留	三
						馬		卒	四
									五
						駒			六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

㊤34銀 ㊤32玉 43銀生 23玉 34馬 22玉 12
馬 同馬 34桂 同馬 32銀成迄11手詰。

㊤12玉は22と 同馬 同馬 同玉 23銀生迄。

㊤24玉は16桂 15玉 17馬迄。

誤1 無21 正20

【担当：片岩裕貴】

☆㊤33銀も指してみたい手ですが、同桂とさ
れて、次に同とでも同馬でも14歩が働く展開
になってしまい詰みません。そこで14歩に触
らぬように22玉まで追いますが、ここでの12
馬が鮮やかな決め手。確かに34馬がいなけれ
ば桂打迄の詰みですが、主力だった駒なので
妙手感が強いです。12同馬で34にきいてきま
すが、それでも34桂とすれば逃げ道がふさが
るので32銀成迄で攻方一枚の詰みとなります。
紛れでは守備の要だった馬と歩が、両方とも
最後は玉の逃げ道をふさぐ駒になってしまっ
たところに面白さを感じました。

岩本修－収束が秀逸。

大野孝－33桂、34玉の形の詰上りかなと思っ
たのですが、手なりの手順でした。

今川健一－最後の一手まで、安南詰の面白さ
が一杯。

久保茂－初手33銀にハマった。12馬が気持ち
いい手。

佐藤宣多－12馬が強烈！

安南詰

11手

詰将棋パラダイス

2005年4月号

登場43回

懸賞④

作品集（刊行版）

番外 第101番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

[illegible]

持駒 飛飛桂

13飛 同桂 24桂 同歩 ㊤22と 同桂 14飛 同桂 23角成迄9手詰。

①13とは同玉 31桂 32角以下逃れ。

誤 1 無 12 正 31

[担当：片岩裕貴]

☆玉＝香なのでこのまま手をこまねいて上部に脱出されてはいけません。したがって、なにはともあれ初手は13飛と脱出を防ぐよりありません。同桂に24桂と捨てて角の後ろへの利きを通します。以下はと飛と捨てての収束となります。

大野孝一 全部同桂で作れたら面白かったですね。

大橋雅道-22とが指し難かった。

村田秀作—ダンスの桂。

佐藤善起—適度な難解さで安南の好作である。

滝本幹夫「香の上の玉は遠くに動けることを
頭に入れておかないといけない。」

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						香	桂	一
						玉	金	二
						歩	銀	三
						歩		四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金

②22金 13玉 21金 31角 25桂 12玉 22金 同
角 24銀迄9手詰。

安南詰

9手

詰将棋^① ラダ イス

2005年5月号

登場44回

懸賞⑤

[担当：片岩裕貴]

☆安南ルールなので8手目同金や最終手のあとに同歩とはできません。攻撃陣がバラバラで不安になりますが、玉が香なので捕まります。最終手の成生非限定はかしこなので許容範囲ですが、ちょっと味悪か。

*余詰

②22銀成 13玉 21成銀 31角 25桂 12玉 22
成銀 同角 24金迄。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						玉桂	一
			龍				二
				桂	王		三
							四
						龍	五
			角				六
							七
							八
							九

持駒 角

55角 44金 同角 33桂 21金迄5手詰。

誤 1 無 8 正 28

[担当：片岩裕貴]

☆作者には珍しい安南ばか話。二枚の龍と角の守りが強く、それをかいくぐる手順が必要となります。55角 44合に同角と取ったときに、43桂が角になって21の地点まできいてくるのがミソで、33桂の移動合で21の地点を空ければ21に駒を打って詰ますことができます。

砂川順一—24桂の筋かと思ったが理論的に無理。43桂をどう使うかというとな44角。金合が見えてくる。

桑田倫彦—ばか詰にするために飛角図式に仕上げたか。

小五郎－桂を取って24桂までの詰みかだと予想したのですが、15龍の利きが強力。横から詰めるとは意外。

佐藤善起一龍、角を避けて見事。

須川卓二—もっと安南らしい筋を追ったので
苦戦。裏をかかれました。

☆安南かしこが本来の守備範囲である作者。
ばか詰は作り慣れていないのかもしれませんが。

余詰

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2005年9月号

登場45回

今月の問題⑧

誤1 無25 正30

[担当：片岩裕貴]

☆このままだと34玉と馬を取られてしまうので、44馬はこの一手といえます。それに対して、33桂の移動合で玉をフリーにするのが妙防です。32角で端に追い込んで24桂から手の継続を図りますが、23銀で遁走を見せられたときの13とが妙手で脱出を阻止することができます。

☆ただし、ちょっと問題があって④23合で以下22と 13玉 23と 同銀 同馬迄2手長駒余り。さらに④22と 13玉 25桂 同桂 12と 同香 22馬迄余詰。粗検深謝いたします。

余詰解12名、作意と余詰の双方解はなし。

☆以下は作意解者の短評です。

村田秀作－新しい発見。珍しい作品を見ました。

山口勇－23銀でダメ（玉が香になってしまう）かと思ったが、13とがあった。

西村恒雄－23銀と動かすと12玉が香なので…と考えていたら13とがありました。

天六辰年－初手は馬を逃げる一手。34馬に23銀が強防も、その上を行く13と。

作品集

玉方の応手が安南らしさを出している。

＊作品集（手書き版）製作時点では未発表作でした。

作品集 第75番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							と	王	一
								王	二
								王	三
							馬	王	四
							王	王	五
							歩	王	六
									七
									八
									九

安南詰
11手

作品集（刊行版）
2016年6月

修正図
大野 孝

持駒 角桂

＊2手変長は残ります。

No.150 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								王	二
						馬		王	三
						馬		王	四
								王	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛

23飛 同銀 12飛 同銀 23馬迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆安南では玉を桂香歩などの弱い駒の上に乗せて詰めることを目指すのが一般的ですが、本作で初手から12飛とするのは、同香ならば23飛で詰むのですが、同玉とされると42飛には32歩の妙防があって詰みません。12飛を玉で取られたときに14銀が23にいれば23馬で詰むので、12飛の前に23飛 同銀と移動させておくのが好手です。こうしておけば、12飛を玉と香のどちらで取られても23馬迄の駒余りで詰みます。しかし、23に銀を呼んだことで、12飛を同銀で取られる手が生じますが、これにも23馬とすれば、銀は香の動きに、玉は銀の動きになっているのでぴったり詰んでいます。

安南詰

5手

詰将棋パライ

2006年5月号

登場50回

今月の問題④

No.151 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								王	二
								王	三
						馬		王	四
						王		王	五
								王	六
						歩		王	七
									八
									九

持駒 金金銀

35金 14玉 13金 同香 ④23銀 同歩 25金迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆出題図で34歩は角の動きになっているので、

余詰

安南詰

7手

詰将棋パライ

2006年5月号

登場51回

今月の問題⑤

35金としてその上に誘おうとするのは自然な一手です。同玉には46金迄、16玉には28金迄の詰みなので14玉と逃げますが、更に13金と力づくで香の上に誘い込みます。同玉には24銀以下で詰むので、同香として15歩の守備力を活かそうとするのですが、23銀と捨てる手がうまい手です。23同步と取らせることで、次の25金を同步と取れなくさせています。すなわち、25金を同步と取った瞬間に二歩を生じてしまうのです。25銀と強引に攻めたのでは二枚の歩の守りが強力ですが、23銀として二歩禁を利用するのが、詰将棋らしい気持ちのいい手順です。

※余詰 ④24金 同角(同步 15銀) 23銀迄。

No.152 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛	皇	一
								王	二
								卒	三
							飛	桂	四
								角	五
							銀	桂	六
									七
									八
									九

持駒 なし

安南詰
7手

詰将棋パラダイス
2006年5月号

登場52回
懸賞④

32飛成 22歩引 13桂成 同玉 23龍 同玉 35銀迄 7手詰。

誤7 無11 正30

[担当：片岩裕貴]

☆34角の両王手が見えているので邪魔な34飛を32飛成と捨てます。これに対して同銀や22に合駒を打つのは34角で決まります。応手に窮したようですが、上への脱出を目指す22歩の移動合があります。今度34角には18玉くらいで逃れるので、13桂成と捨てるのが好手になります。13同玉に23龍が22歩が桂の動きになっている欠陥を突いた決め手で、同玉に35銀までの詰みになります。

☆誤解は、最後に34角としてしまったうっかりさんで、これは22の歩で取られてしまいました。

弘光弘一両王手を狙って飛を成り捨てるのだ

が歩の移動合で頑張る。このかけ引きがおもしろい。

佐藤宣多一珍しい「駒を移動させたあとに捨てる」手筋をおりこんだ実戦型(?)の好作だと思います。

大野孝一詰上りではなんとか角は消したいですね。

☆作者も投稿用紙で言及していましたが、角が残るのはちょっと痛いですね。

No.153 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							角	王	七
								銀	八
								桂	九

安南詰

15手

詰将棋パラダイス
2006年5月号

登場53回
懸賞⑤

作品集(刊行版)
番外 第103番

持駒 角金

16銀 38玉 48金 39玉 49角 29玉 38角 18玉
27銀 17玉 26角 28玉 37金 39玉 17角迄15手詰。

誤2 無20 正26

[担当：片岩裕貴]

☆簡素形で手を出してみたくになります。38への逃げ道が見えているので、16角としたいのですが、16角では銀の動きになってしまうので詰みません。ここは持駒を温存して16銀から入るのが正解。38玉と逃げられて困るようですが、48金と打っていけば心細い攻めですがなんとか捕まります。手数は15手ですが、攻方の手は必然手に近いものが多いので、あっけなく詰んだように思えるかもしれません。岩本修一無防備だけど、49角や37金が安南らしい一手。

小原義孝一37金がやりにくい。王手になるような感じがしないので。

佐藤宣多一ちょっとさばけないなあと思ったら曲詰ですか。

土沢芳信一④の7手詰めよりもこちらの方が易しい。

☆38金 18玉 63角 29玉 18角成迄という解答が複数あって、最初は誤解の理由がわからなかったのですが、この状態だと17銀は馬の動きで37角は金の動きなので18玉とも38玉とも取れないと思ったのでしょうか。しかし、これは馬（金）を取ったときに銀（角）が元の動きに戻るので、18玉（38玉）の指し手が可能です。逆に、作意13手目の37金は角の動きなので38には利きがないように見えるかもしれませんが、角を取ると37金は元の金の動きに戻るので38玉とはできません。

☆あと、すかし詰について言及した評が散見されましたが、かしこ詰系ではすかし詰もOKです。ばか詰系では手順中の合駒は全て有効なので、詰上りにだけ無駄合の概念を持ち出すのは、むしろ不自然です。ただ、すかしOKに触れなかったのは私の落ち度でした。

No.154 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

22銀 同銀 43桂 32玉 44角成 23玉 34桂成
①同銀 22馬 同玉 12と迄11手詰。

①同步は22馬 同玉 12と迄銀余り。

①32玉は43馬 31玉 21と迄桂余り。

誤5 無25 正21

[担当：片岩裕貴]

☆銀桂の打ち場所は色々ありますが、32銀が移動したあとに32玉とされる手への対策が必要です。その手段は22銀から43桂で、32玉に対しては44角成で手が続きます。しかし、23玉とされて後続がなさそうですが、そこで34桂成が好手で、34の地点を塞ぐことで22馬が決め手となります。

☆誤解は①同步に22馬 同玉 23銀迄としたも

のと、①13玉と逃げたものです。前者は桂の上に誘う形ができて喜んでしまったのでしょうか。後者は安南に慣れていないとうっかりしてしまうのかもしれませんが。

西村恒雄－7手目の応手に考え込みました。

浜崎歩－うまい。うますぎる。配置の難を補って余りある好手順。

砂川順一－収束、22の銀で取らせて22馬は気持ちいい。いつもより少し易しかった。

岩本修－安南独特の44角成が見えず苦労する。収束が秀逸。

*小石広志も登場53回が重複。(No.076)

No.155 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金桂

23金 同金 12金 同玉 22金 同金 24桂 13玉
25銀 12玉 14銀 11玉 23銀成迄13手詰。

誤1 無15 正31

[担当：片岩裕貴]

☆まず、簡素な棋形が目を引きます。12金～22金と桂の上に誘導するのが筋ですが、すぐにやるのは24玉と上がられたときに捕まらない形なので、23金で金を動かしてからその筋に持ち込みます。今度は23に金が動いたので22金を同金と取りますが、これで金の守備力がなくなったので24桂から銀の一回転で収束します。最終手は成生非限定ですが、この程度は大目に見ていただけないでしょうか。

佐藤善起－玉の動きで強い金を桂の動きに。

西村恒雄－25銀でロック！ 14銀で解除、23銀で再ロック！ 面白い動きですね。

ほの字－先発金、中継ぎ桂、抑え銀。

砂川順一－申し分ない美しい手順。初形の美しさといひ秀作。

小五郎－初手から3連金捨て、銀の繰り替え、詰上り。なんて楽しい順なのでしょう！大橋雅道－安南の楽しさを充分に発揮した作品です。佳作。

No.156 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				銀		王	料		一
									二
					角	料	歩		三
			桂						四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

詰将棋パラダイス
2007年2月号

登場55回
今月の問題⑧

持駒 なし

④42銀生 ④41玉 53銀成 31玉 42桂生 22玉 15桂生 14銀 23桂成迄9手詰。

④22玉は31銀生迄。

④42銀成は22玉 32成銀 同銀 同角成 34玉 以下逃れ。（*32成銀とはできない…）

【担当：片岩裕貴】

☆銀桂の不成が狙いでしょうか。3手目は非限定ですが、かしこなので一応許容範囲内と思います。ただ、不成がテーマなのでちょっと味が悪いかもしれません。5手目は二段目への桂生ですが、行き所のない駒には当たらないので、このような指し手も可能です。

【詰将棋パラダイス 2007(H19)年5月号】
秋元節三ー例題⑧の変化④31銀生のあと14玉とは上がることはできないのですか？
☆あわわ。これは失礼いたしました。正しくは、31銀生迄ではなく、31銀生 14玉 25角成迄ですね。お詫びして訂正いたします。



No.157 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		飛		料	料	料			一
				王	角				二
				歩	歩	歩			三
							桂		四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰将棋パラダイス
2007年2月号

登場56回
懸賞⑤

持駒 金金

42金 同銀 31角成 同金 41飛成 同金 22金迄7手詰。

誤1 無13 正40

【担当：片岩裕貴】

☆守備が堅そうですが、安南ならではの弱点があって、そこをうまく衝いていくと陥落せしめることができます。

☆まずは42金と放り込みます。玉が銀の動きになっているので、同玉とは取れません。同金は31飛成迄なので、同銀ですが、31角成が鋭い一手です。同銀と取りたいところですが、あいにく金の動きになっていて取れません。そこで同金ですが、ここでも玉が金の動きになっていることを利用しての41飛成が決め手になります。同金の一手に22金が打てて詰みとなります。

☆金を動かしておいて、その跡にカラ成というのが気持ちいいですね。

太田啓好ー二歩禁をうまく使っている。

須川卓二ーこれは傑作。すばらしい手順です。かい賊ー42に上がらされてから、銀は完全に役立たず。安南って怖い。



No.158 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			銀	料					三
				皇	皇				四
				帝	王	角			五
					帝	帝			六
						角			七
									八
									九

持駒 なし

64銀生 同桂 44香 45桂 66角迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆詰上り 3×3の石垣になる。手が限られて
いるので易しい。

7	6	5	4	3	
					三
					四
		料	皇	香	五
		帝	王	料	六
		角	帝	帝	七

詰上り図
参考掲載

No.159 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀	料		二
								王	三
								料	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂桂

24桂 13玉 25角 ①12玉 43角成 ㊥11玉 12
桂成 同玉 22銀成 ㊦同玉 14桂 同玉 24歩
成 同玉 25馬迄15手詰。

①24玉は16桂 (36桂) 迄。
㊥13玉は25馬 12玉 14馬 11玉 23馬迄。
㊦13玉は24歩成 22玉 32馬 同桂 34桂迄。
(ほかの詰め方もあり。)

誤0 無25 正32

[担当：片岩裕貴]

安南詰

5手

詰将棋パラダイス
2007年3月号

登場57回
今月の問題④

☆安南らしい手が随所に出てくる気持ちの良
い手順です。流れるような駒捌きをご堪能下
さい。

☆㊦13玉の変化が割り切れていないのですが、
色々な詰め方があって作意が判別しやすいの
で、特に問題にはならないと思います。

安原嗣治－安南を楽しめる傑作。24歩成の感
触は味わい深い。

滝本幹夫－13手目の24歩成が安南らしい。

今川健一－思わぬ処？に駒が成れる。最後は
安南詰の定位置ですね。

弘光弘－桂を成り捨ててからの22銀成がいい
味。

河原林隆彦－24桂は邪魔駒と化す。

砂川順一－6手目13玉は早詰。43角生だと12
手目同桂で困る。その辺もきちんとしてい
てゆるみない作。

No.160 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						歩	皇		四
									五
									六
						香	料	王	七
						馬			八
									九

持駒 角桂

安南詰

9手

詰将棋パラダイス
2007年4月号

登場59回
懸賞④

㊥29桂 ①18玉 19香 同玉 37桂 ㊦18玉 28
馬 同玉 38角迄9手詰。

①16玉は35角 25合 (15には37香の利きあり)
19香迄。

㊦28合は同馬 同玉 38角迄。

㊥28馬は16玉 35角 15玉以下逃れ。
誤7 無33 正19

[担当：片岩裕貴]

☆初手で打った桂がいきなり邪魔駒になりま
すが、19香 同玉 37桂と駒を置き換えるのが
好手筋です。普通かしこならば同種の駒でな
いと使えない手筋ですが、安南だと異種の駒
でもできるのが面白いです。

小島幸喜－打ちにくい29桂もすぐに活躍。

村田桂花ー2手目16玉の変化に苦労した。香を桂に置き換えるのが妙な感じ。
駒井信久ー29桂は邪魔駒になるのではないと思った。9手詰に苦しむ。

No.161 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 飛

64馬 ①同金 76飛 56玉 68銀迄5手詰。

①56玉は58飛 57合 74馬迄。

[担当：片岩裕貴]

☆54に逃がしてしまうと右辺が広いので、そっちへの逃げを防いで56に玉を誘いたいというのが解図の方針となります。76馬とするのは銀の動きなので54玉と逃げられますし、87馬を76歩と合駒をされてうまくいきません。主力に見える馬を64馬と捨てるのがポイントで、同金と取らせれば54への逃げがなくなるので、76飛と外して打って収束します。初手64飛は鋭い手ですが、56玉で57玉からの脱出が防げません。

No.162 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 角金

22飛成 同角 32角 ①同歩 24金 12玉 25桂 同銀 23金迄9手詰。

④同玉は23金 同銀 43歩成迄。

[担当：片岩裕貴]

☆安南では、玉を詰めやすい駒の動きにする、というのが定跡なので、あっさり22飛成と捨ててしまいます。同玉には32金～31角なので、同角と取りますが、これで玉が角の動きになりました。すぐに24金だと41玉と逃げられてしまうので、32角 同歩と塞いでおきます。それから24金とすれば12玉の一手となり、25桂で銀の守りを逸らして23金迄の詰みとなります。

No.163 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 飛銀

22飛 13玉 23飛成 同玉 35銀 12玉 22馬 同馬 23桂成迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆紛れが多い図です。初手23銀は、同馬 22桂成 13玉 23成桂 同玉で、持駒に飛角があるものの、ちょっと届きません。そこで、初手22飛ですが、13玉のときにどう開き王手をするかが問題です。32飛成は王手になりませんし、21飛成は22歩と合駒されて、同龍には同馬 同馬 24玉で、同馬には24玉で、それぞれ大海に逃げ出されてしまいます。25飛成がうまそうですが、歩の動きになってしまうので合駒でダメです。23飛成と捨ててしまうのが正解で、35銀と押さえることができ、馬捨ての収束につなげることができます。

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2007年5月号

登場62回

今月の問題③

*関連図

No.070

No.164 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							皇		五
							歩	王	六
						歩	王		七
									八
				銀		桂	香		九

持駒 角

17角 16玉 28角 27玉 16角 28玉 38角 39玉
48歩 28玉 37桂迄11手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆他の初手ではすぐに逃げられてしまうので、17角はこう打つよりないところですが、16玉にどうするかがポイントです。53角成などと開き王手するのは17歩と捨合されて詰みません。捨合されないようにするためには28角(両王手！)とするのが絶対で、そこから先は素直な手順で追っていけば詰みます。

No.165 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								角	一
								王	二
				角					三
		歩							四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛桂

①15飛 23玉 35桂 24玉 42角成 34玉 44角成 同玉 43桂成 54玉 75飛 64合 53成桂 44玉 43馬迄15手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆古作物の構図を安南に移植したもの。74歩なしでまとまったらよかったのだが。

*余詰 ①25桂 14玉(12玉は32飛以下) 26角成以下。第54番：No.036(1981/6)の姉妹作でしたが残念。

No.166 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	皇	一
				香					二
									三
				香		王			四
									五
			香	王					六
							歩		七
									八
									九

持駒 角銀

45角 33桂 12銀 22玉 23角成 31玉 42香成 同玉 52金 43玉 ①53金 44玉 34馬 同玉 23銀生迄15手詰。

①34馬は32玉 23馬 同桂以下逃れ。
誤0 無19 正34

[担当：片岩裕貴]

☆初手45角が12に角の利きを作りながら44香で王手をかけるおいしい一手です。合駒を打ってしまったのは12銀～23銀生迄で詰んでしまうので、33桂と移動合をするのが最大の抵抗ですが、以下は自然な攻めで44まで追いかけていき、そこでの34馬捨てが決め手となります。移動合で桂上玉を避けたはずなのに、結局乗せられてしまうのが皮肉です。原岡望－最後に銀で締めるとは見事。ほの字－初手がいかにも安南。後半52金から上に追うのが好手。46歩、27歩が露骨にピツタリ。佐藤宣多－後半安南らしくない手順が続き冗長になった感がありますが、移動合した桂の頭にのせて詰める構想はすばらしいと思います。



No.167 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					桂		桂	
				銀	金			
			と	王				
								毎

持駒 飛金桂

54飛 43金 24金 ①32玉 ㊤23桂 ㊤42玉 32桂成 同金 44飛迄9手詰。

①42玉は34桂 同金 44飛迄。

㊤31玉は33金迄。

誤20 無24 正16

[担当：片岩裕貴]

☆採点をしていてあまりに誤解が多いのでびっくりしました。どの辺が誤解を招いたのでしょうか。

☆初手54飛は4段目に利きを作る意味で当然の一着で、対して金の移動合以外は34金までとなります。そして、この局面が手広いのです。

☆まず、25桂と打つ手には32玉と逃げます。そこで22金と捨てますが同玉と取れば24飛が王手にならないので詰みません。22金に42玉と逃げると32金～44飛で気持ちよく詰むので、この手順を書いた人が多かったです。

☆それならばと45桂とするのは23玉とされるとはつきり届きません。

☆24金～23桂～32桂成という手順は安南ならではの手順ですが、地味な駒繰りなので意外だったかも知れません。最後は華麗な両王手で決まるので解後感はいいと思います。

市村道生－3手目以降に紛れ順が多く、結構楽しめる。力作。

ほの字－広そうな玉も初手で急に狭くなり、さらに安南流攻撃続出で逮捕。変化の詰め方も安南流。

弘光弘－見事な両王手の詰上り。

山口勇－3手目が手広く悩んだ。

浜崎歩－すっきりした初形からスキのない手

余詰

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2007年7月号

登場66回

懸賞⑤

作品集（刊行版）

番外 第105番

順、そして絶妙の詰上り。安南の名作です。佐藤宣多－玉方の桂を相手にしないこと。移動合を当たり前のように入れてくるところはさすがです。

*余詰

㊤43と 同玉 55金 32玉 23桂 31玉 33金。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				桂		桂		
				銀	金			
			と	王				
			王					
								毎

持駒 飛金桂

安南詰

9手

刊行後検討

修正図

佐藤 達也

No.168 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		角						
		桂	桂					
		王						
		銀						
				王				

持駒 飛銀銀

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

2007年9月号

登場67回

今月の問題㊤

56銀 同飛 65飛 同飛 56銀迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆玉が桂の動きになっているので67に逃がさないように攻めます。手順が回文になっていますが、作者が意図したものかどうかはわかりません。

無期限激務

むきげんげきむ

No.169 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								星	一
									二
					角				三
					香			王	四
								香	五
									六
									七
									八
								歩	九

持駒 金金金金

24金 同歩 25金 ①同歩 ①15金 23玉 24金
32玉 34金 31玉 32角成 同玉 33歩 31玉 32
金 21玉 ②22歩成迄17手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆持駒趣向です。導入が安南らしい手順で、
①同玉には36金が用意されています。あとは
上から押して行って最後は両王手で詰み。19
歩は余詰順を二歩で逃れるための配置です。
ご研究下さい。

*余詰

①32金 23金 15金 13玉 23金 同玉 24金

以下作意に戻る。

②23歩成でも可。作意を41玉にすべき。

No.170 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								と	二
									三
									四
			金						五
		金	王	金					六
									七
				飛	香				八
香									九

持駒 角金

①67金 76玉 ②88飛 67玉 13角 ①56桂 57
角成 59玉 89飛迄9手詰。

①67角は68玉で逃れ。

②78飛は87玉 77角 78桂成以下逃れ。

①他合は68角成迄。

誤8 無21 正31

余詰

安南詰

17手

詰将棋パラダイス

2007年9月号

登場68回

今月の問題◎

[担当：片岩裕貴]

☆作者にはやや珍しい入玉形の作品です。ぽ
つんと離れた12とが気になります。

☆12とを使うには13角と打つよりないので、
その形を目指していくのが解図の近道だと思
います。そして13角を実現させたときの56桂
合が妙防。ただの悪あがきのようでもありま
すが、しっかり割り切れています。

竹中歩美－12との配置でなんとなくわかる！
ほの字－12との用途は13角打しかないでしょ
う。

原田清実－12とはなんなのさと考えたら13角
が見えた。

大野孝－合駒でもう一山ですね。

小島幸喜－桂合で抵抗するも、玉はかわいそ
うな所へ。

大橋雅道－13角にしびれた。

佐藤宣多－56桂に感心しきり。

弘光弘－56桂はうまい合駒。

☆すかし詰に関する疑問の評がいくつかあり
ました。ばか詰系ではすかし詰不可ですが、
かしこ詰系ではすかし詰もOKです。

No.171 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王	金	王			一
				王					二
				金		金			三
						角			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金桂

22金 同角 ①44桂 31玉 42金 同金 43金迄
7手詰。

①42金は同金 44桂 43玉 45金 同歩！以下
逃れ。

誤7 無18 正32

[担当：片岩裕貴]

普通かしこに割と近い感じの作品で、初手44
桂のような手が筋ですが、すぐに44桂だと玉
が角の動きなので大ジャンプを決められてし

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

2008年2月号

登場70回

懸賞④

まいます。そこで、まずは22金と捨てて角を移動させ（玉は角の動きなので22同玉とは取れない）、玉と角の働きを弱めてから44桂を決定します。

☆収束は42金で金も無力化して43金迄の桂吊し（金吊し？）となります。安南らしい指し手は最終手くらいですが、表に現れない安南らしさがあります。

国兼秀旗―手頃なレベルで楽しめた。この問題を解くときに、正解とは関係ないんだけど、普通の詰将棋ではありえない奇妙な手筋を発見して、それもちょっと嬉しかった。（後略）

和田裕一―跡地に打ち込む決め手が安南で爽快。4筋に駒柱。というか角桂だけの詰上りだ。「玉が角だから金を動かすと逃げられる」と思いつつ2手目に同玉をずっと考えてた。

中村増一―桂の上に乗るのが金だったので、新鮮な驚きでした。

草野翔吾―3手目42金が詰まないことに気付いて良かったです。金を桂として詰ますのは安南ならではのですね。

☆誤解のほとんどはA42金としたものでした。一見詰みそうですが、23歩がひそかに45に利いています。

No.172 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								桂	一
									二
									三
								角	四
								玉	五
								桂	六
									七
									八
									九

持駒 飛金

安南詰

11手

詰将棋パラダイス
2008年5月号

登場71回
懸賞③

25金 同歩 15飛 23玉 A22角成 24玉 13飛成 同桂 33馬 14玉 15馬迄11手詰。

A25飛は32玉 22飛成 43玉 42龍 54玉 55角成 63玉以下逃れ。

22飛成で44角成は43玉 23飛成 44玉で逃れ（以下34龍は王手にならない）。

誤2 無17 正33

[担当：片岩裕貴]

☆初手25金は一目こう指したいところで、同玉には36飛迄の詰みを用意しています。やむない同歩には15飛と上から押さえて、22角成が気持ちのいい手です。同玉は12飛成迄なので24玉と逃げますが、13飛成が爽快な決め手で、同桂 33馬で桂の上に玉を乗せることに成功します。

☆ごちんまりとした手順の割には配置が広がってしまったのが残念なところで、初手は諦めて3手目から始める手もあったかもしれません。

小林巧―初手25金が発見できたので、割とスムーズに解けた。

中嶋智志―初手がポイント。

佐藤善起―安南独特の手順がスラスラ続く。

小島幸喜―還元玉の詰上り。安南らしい手順。

砂川順一―きれいな手順だが、安南らしい手の連続ではないので薄い印象を持ってしまう。

☆人によって感じ方が違うのですね。

草野翔吾―還元玉できれいな詰上りです。手順も飛がさばけて気持ちがいいです。

浜崎歩―安南に普通作のような捨て駒が出てくると何か妙に新鮮です。

No.173 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								桂	一
									二
								玉	三
								桂	四
								角	五
								桂	六
									七
									八
									九

持駒 角金

安南詰

7手

詰将棋パラダイス
2008年9月号

登場72回
懸賞①

A42角 ①32玉 B31金 23玉 14角 ②同玉 15角成迄7手詰。

①同玉は43角成迄。

①同金は43角成以下。

②34玉は24角成迄。

④51角は32玉 43角成 同玉 44金 32玉 42角成 21玉以下逃れ。

⑤43角成は同玉 44金 32玉以下逃れ。

誤8 無9 正39

[担当：片岩裕貴]

☆初手が強烈な一打で、この角は変化④のように玉でも金でも取れません。やむなく32玉と逃げますが、以下は割と平易な詰め手順となります。23玉と逃げられたときに、25角がいなければ24角成迄なので、14角は桂の上に誘うというよりは邪魔駒消去のような感覚です。

☆最後、14同玉に24角成迄という解答が結構多くありました。単なるケアレスミスだとは思いますが、誤解をとらせていただきました。福元千誠一初手離して打たずにくつつけて打つところがばか詰っぽいですね。最後は角が邪魔駒になるので、消しての見事な収束。

須川卓二ー桂と金の上に玉を誘う。
佐藤司ーとにかく取れない初手、続く金のベタ打ち、対照的な2手です。

No.174 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			料		王	角	料	
				桂		料		
					角			

持駒 銀銀

53銀 31玉 ④41桂成 ①同玉 52角成 31玉 41馬 同桂 42銀成 同玉 43銀迄11手詰。

①同桂は42銀成 同玉 44銀迄。

(32銀～23銀生も詰み)

誤1 無9 正29

[担当：片岩裕貴]

☆42に銀を打っていききたいところですが、あいにく43に角がいるため、すぐに42銀とするのは王手になりません。よって、初手は53銀ですが、31玉に対して趣向手順のような形で

桂角を捨てていきます。43角がいなくなったことで41馬には同桂とするよりなく、そこで42銀成が安南らしい妙手で、取っても逃げても頭銀迄の詰みとなります。

☆52桂はできれば避けたい配置ではありますが、歩だと51歩成 31玉 42銀以下で詰んでしまうので、致し方ないところでしょうか。

増田智彬ー邪魔駒消去とは見事。綺麗な詰上りも良いです。

千葉肇ー桂頭玉vs銀の基本型。まず桂を消去し、角を消去して42銀を王手にする。

安原嗣治ー初形が結末を暗示している。詰上りに趣がある傑作。

小林巧ー玉方の3つの桂が大きなヒントになりました。

原田清実ー安南らしい手順で面白い詰上り。

秋元節三ーかなり理詰めで解けて、解後感も良い。

市村道生ー22玉の対応を睨んで、左翼からの鋭い攻め。

須川卓二ー異空間の攻防の如く…ですね。

今川健一ー玉の興なら良いのだが、桂頭ではね。

作品集 (刊行版：大野孝)

安南ファンの友人の推薦の作品です。

*余詰

⑤44角成 42歩 同銀成 同玉 53歩 同桂 43

銀 41玉 53馬まで。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			料		王	角	料	
				桂		料		
			料		角			

持駒 銀銀

安南詰

11手

刊行後検討

修正図

大野 孝

*変化にも味が出ました。

No.175 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								科	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角角

44角 31玉 32歩成 同玉 43桂生 同玉 32角迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆31玉に33角成を用意して、5手目は不成でいく。作意手順に関係ない駒が多いのが難点か。

No.177 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								科	一
								王	二
								歩	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

13金 同桂 22金 同桂 同角成 14玉 13金 24玉 14金 同角 13馬 同香 36桂迄13手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆単に22角成だと13金を同桂と取られて26に遁走されてしまう。作意の13金を同香ならば23馬で詰み。

No.176 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金

56金 同金 45金 36玉 46金 54玉 64飛 同桂 45金迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆いかにも安南という手順。とにかく弱い駒の上に乗せてしまえば、あとは少ない駒でも詰められる。初手の56金捨てが詰上りで効いてくるところがうまくできている。

No.178 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

47角 45玉 65角迄3手詰。

誤1 無5 正56

[担当：片岩裕貴]

☆3手なので、これがサービス問題のつもりでしたが、苦労した人もいたようです。64とを取られてはいけなかったので、初手は必然だと思いますが、3手目の65角が見えにくかったのでしょうか。この手は46歩を歩の動きに戻しつつ、64とを角の動きに変えて46に利かす味のいい手です。

☆作者が意図したものかどうかわかりませんが、詰上り『II』です。1月1日と読んだ人もいたのは嬉しい誤算でした。



かい賊—左右が逆だとアルプスのK II（ちと苦しい？）になりますね。

八尋久晴—この最終手には感動。

広瀬和夫—素晴らしい角の動き。安南は楽しい。

市村道生—粋な詰上り。珠玉の名作。さて、これは「？歩詰」？

今川健一—突き歩じゃないし、打ち歩でもない。この詰上りは何と言うの？

小岩象三—置き歩詰って初めて拝見しました。☆「変歩詰」とか？

詰将棋の世界 齋藤夏雄

日本評論社 2021(令和3)年 3月25日

[出題図] 安南詰、3手詰。6四のと金を取られてはいけません。

初手でいきなり王手がかかっているように見えますが、本作は安南詰。4五の飛車は、今は歩の利きしか持っていません。さしあたり6四のと金を取られては捕まりそうにありませんから、これを防ぐ王手は何かと考えれば、初手は見えてくるでしょう。

▲4七角、△4五玉、▲6五角まで3手詰。

▲4七角と打つと、4六の歩が角の利きに変わるので、王手がかかります。これで王は6四には逃げられません。しかし4六の駒が角の動きになったので、玉方は△4五玉と飛車を取って逃げるができます。しかし、ここで玉は歩の動きに変わってしまいました。4七の角を動かせば4六の歩が本来の動きに戻って王手がかかりますが、適当に動かしたのでは王手している歩を取られてしまいます。そこで▲6五角が決め手。6四のと金を角の動きに変えることにより、歩の支え駒を作り出しているわけです。これで詰みです。打歩詰は禁じ手ですが、本作の歩は最初から盤面に置かれています。「置歩詰」とでもいうべき不思議な詰みでした。

安南詰の世界、楽しんでいただけたでしょうか？

No.179 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						歩			六
							馬		七
						飛			八
							留王		九

持駒 銀

18飛 同馬 37馬 同玉 38銀迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆桂の上に玉を乗せて頭銀迄、というのは安南における基本の詰み筋。その前に玉を馬にする手を入れたのが工夫。

No.180 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						角			八
				歩		王桂香			九

持駒 飛

49飛 28玉 39飛 19玉 37桂迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆実戦型からの両王手だが、やや紛れ不足か。手の続く王手をしていけば詰んでしまうきらいがありそう。

安南ばか詰

5手

詰将棋パライクス

2009年2月号

登場78回

今月の問題①

安南ばか詰

5手

詰将棋パライクス

2009年2月号

登場79回

今月の問題②



No.181 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				銀		桂		王
						王		
				銀	桂	王		
				銀				角

持駒 桂桂

24桂 43玉 35桂 42玉 32桂成迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆こちらも両王手だが、初手で打った桂を最後に跳ねる味が良い。手順に安南らしさがないので、アピール度に欠けるか。

安南ばか詰

5手

詰将棋パライ

2009年2月号

登場80回

今月の問題©

No.182 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				
			桂	歩				
						馬		
					桂	王		
						馬		
							歩	
						香		

持駒 なし

46馬 53玉 64馬迄3手詰。

誤6 無7 正42

[担当：片岩裕貴]

☆なんだこれは？と思う向きもあるかと思いますが、三重王手の詰上りです。三重王手の詰上りだけならば、驚くほどのことないですが、本作では初手も三重王手にしたのが工夫で、連続三重王手の作品となっています。三重、三重と書いたせいか、初形が重く感じられますが、28歩と73桂はなくても成立しているようなので、その辺りが原因といえるのではないのでしょうか。

☆結果的に詰上りで63歩も王手を掛けていますが、この歩の必要な利きは45への利きで、

安南ばか詰

3手

詰将棋パライ

2009年4月号

登場81回

懸賞④

1968/10の夢

40年後の実現

玉の遁走をぴったり防いでいます。

ワンダー詰上りが詰んでいると気付くまで時間かかりました。

古川剛士－最初はこれで詰んでいることに気付かなかった。

斉藤優希－64馬、71玉…ばかり考えて苦労しました。

市村道生－スケールの大きな作。桂の豹変が面白い。

小島幸喜－狙いの連続三重王手が決まる。

弘光弘－初手も3手目も三重王手。

中沢照夫－玉を桂に乗せてしまえば良い。全着手が安南らしい手。

浜崎歩－安南入門編、一撃必殺の三重王手。

清水大昌－安南らしい派手な手順。28歩と73桂の意味は？

原岡望－跳躍の応酬。

須川卓二－52桂と63歩が詰上りを暗示してますね。

*28歩と73桂は不要駒。なくても成立します。

No.183 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					王	桂	王	
					銀	桂	王	

持駒 金銀桂桂

安南ばか詰

9手

詰将棋パライ

2009年4月号

登場82回

懸賞⑤

23桂 同香 12銀 同玉 11金 13玉 12金 同香 26桂迄9手詰。

誤2 無10 正43

[担当：片岩裕貴]

☆安南でどうやって穴熊に組むのかという疑問はあるのですが、解図欲をそそる初形であるといえます。

☆普通のルールだと、初手23桂には同銀しかないのですが、安南だと同香という手があります。そして、8手進めた局面を見てみると、初形から11玉が13に変わった形になっていま

す。こういう局面の対比を、穴熊の初形で表現できたというのは面白いと思います。
弘光弘一穴熊が壁を通り抜けて出てきた。
古川剛士一解図意欲を湧かせる初形。
秋元節三ーきれいな初形にまとめたもの。
佐々木寛次郎ー楽しい詰将棋とはねこんなのを言う。
佐藤宣多ーこれも「つるし詰め」というのかな？
小岩象三ーこれで詰んでいるのか…詰んでいるようです。

安原嗣治ー玉を香頭に乗せる面白い手順。金の押し売りがポイントでした。
竹中健一ー瞬王手に見えない26桂で詰んでいるのが不思議。

No.184 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							と	皇	一
							王	角	二
							将	将	三
							卒	歩	四
							毎		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀
32銀 同桂 21と 12玉 22と 同桂 23銀迄7手詰。
誤2 無7 正40
[担当：片岩裕貴]
☆3筋からの脱出が防げないようにも見えますが、初手32銀が好手です。33玉には23角成で42の地点は31とがしっかり押さえています。よって、32同桂が正しい応手ですが、21ととすれば玉は桂か香にならざるをえません。12玉にあわてて23銀とするのは同桂で詰まなくなりますが、落ち着いて22と 同桂と無力化すれば23銀までびったりの詰みとなります。
宇田川道一先に23銀だと、最後14玉ですね。
中沢照夫ー安南らしい手が続き、最後の最後まで気が抜けない。
波多野賢太郎ー守備桂の動きが揃っていて面

白いです。
ほの字一桂のバックはいかにも安南。
竹中健一ー銀の特徴をうまく活かした見事な攻めですね！
原岡望ー21とが見えず苦戦。
小岩象三ー最後の一手詰で考えさせられてしまうのがフェアリーならではの。
岡本研ー5手目22とで詰みとずっと思っていたら同桂と取れるんですね。これで14歩の意味がわかりました。

No.185 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							将	皇	一
						将		王	二
						卒	卒		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金
23金 同銀 12金 同銀 23金迄5手詰。
誤1 無5 正50

[担当：片岩裕貴]
☆守備の要の駒は32銀で、金の連続捨て駒で銀を12に移動させれば23金で詰めることが出来ます。詰上りで14歩が玉の動きなので23同歩と取れそうに見えますが、これは23歩と取ると二歩になってしまうので取れません。安南の基本ですが、懐疑的な評が多かったので確認の意味もこめて言及してみました。
伊達悠一さりげなく回文詰？
今川健一ー気が付けば二歩。なるほどねえ。
安原嗣治ー銀の翻弄が面白い着想。回文詰の名作です。
広瀬和夫ー安南らしい不思議な詰上り。
原雅彦ー易しいけど粋。
増田智彬ー最後歩で取れないのが悲しい。

安南ばか詰
5手
詰将棋パライス
2009年7月号
登場84回
懸賞③

No.186 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金

12金 同角 23金 31玉 32金打迄5手詰。

誤2 無7 正47

[担当：片岩裕貴]

☆前問と姉妹作とのことですが、こちらは12に角を呼ぶことで、玉を31に飛ばします。せっかく玉を飛ばすのに移動距離が短いので、ちょっと物足りない気もしますが、ごんまりとした実戦型を優先したということなのでしょう。

波多野賢太郎一飛車は無視、角をうまく利用するのが面白いですね。

浜崎歩一姉妹作としてなかなかの出来。

中沢照夫一まさか頭金で詰むとは。

佐藤宣多一③に比べるとちょっとやぼったい。

原田清実一31玉と逃がす手があったか。

小岩象三玉を角にして下段に落とす、という安南発想。

安南**ばか詰**

5手

詰将棋パラダイス

2009年7月号

登場85回

懸賞④

[担当：片岩裕貴]

☆57玉と取られないように47金と捨てる。詰上りはピンメイトだが、まだ逃げられそうな不思議な感触。

No.188 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

18飛 同玉 28銀 27玉 37桂迄5手詰。

誤4 無2 正42

[担当：片岩裕貴]

☆最終的には桂の上に乗せた玉を頭銀で詰ます形になるのですが、トドメの銀を桂の動きで打ってから戻し王手で詰め上げるのは、あまり見ない収束ではないかと思います。46角（*55角）の配置が最後の桂跳ねを限定するのに加えて、18飛 29玉 28飛 19玉 29銀という筋を消しているのがいい感じです。

大橋雅道一37桂の感触が良い。

和田裕一基本形の詰みだが先に打っているのがしゃれている。

弘光弘一最終手の限定は気が利いている。

小林理一どうやって桂の頭に玉を持って行くかと試行錯誤。

古川剛士一4手目がちょっと盲点。

佐藤司一桂頭の玉には銀、安南の極意を桂跳で実現。

中村増一最終手で銀が復活するのが面白い。

須川卓二一手が狭いので簡単だが洒落た詰上り。

秋元節一変身ぶりが面白い。

佐藤宣多一これは②より難しかった。短編ながら、安南の味がよく出ている。

安南**ばか詰**

5手

詰将棋パラダイス

2009年8月号

登場87回

懸賞①

No.187 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金

47金 同 39金 59玉 48金迄5手詰。

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

2009年8月号

登場86回

今月の問題①

No.189 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南**ばか詰**

7手

詰将棋パラダイス
2009年8月号

登場88回
懸賞②

持駒 なし

36金 28歩生 18金 29玉 19金 同香生 18角
迄7手詰。

誤3 無5 正40

[担当：片岩裕貴]

☆手順を見ていただければわかるように、香歩の不成が見どころです。1段目の香不成という希少性から、香不成の方に目がいきがちですが、歩の不成の方が味わい深い好手という気がします。

滝本幹夫－1段目の香は可であるが、なんとなく違和感がある。

清水大昌－6手目が合法か確認してしまいました。

波多野賢太郎－香不成の手がなかなか見えませんでした。

原雅彦－19香がありと分かっていれば簡単なんです。

佐藤宣多－不成2発。やってみたい手。

原岡望－28歩生に気づかず苦労。

柿久桂古－金の動きが面白い。

小島幸喜－逆モーションの36金と2回の生が味わい深い。

大橋雅道－36金から18金、安南ならではのね。

ほの字－金の押し売りを19香生で拝領するのが絶妙。

大野孝－生2ツ、夏はやっぱりですね。

☆この原稿が載る頃は、そろそろ温かい飲み物が恋しい季節ですが…。

No.190 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰

11手

詰将棋パラダイス
2009年9月号

登場89回
懸賞⑤

持駒 歩歩

22歩 同角 14歩 同角 12銀成 同香 23歩成
同角 24角 14玉 15金迄11手詰。

誤0 無22 正43

[担当：片岩裕貴]

☆初手14歩は打歩詰なので、22歩で角を呼んで打開するのが安南らしいところです。14を埋めれば、12銀成以降の攻めが決まります。秋元節三－玉方角の動きがめまぐるしい。大橋雅道－22歩から14歩の手順が見事。

No.191 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰

7手

詰将棋パラダイス
2009年10月号

登場90回
今月の問題①

持駒 角銀

12角成 同香 23銀 同金 11角 34玉 44角成
迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆初手44角は33桂と玉の動きを戻されて失敗。収束を見越してあらかじめ23の地点を埋めておくのがポイント。

No.192 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									角

持駒 銀銀

45銀 同金 34飛成 同玉 24馬 同玉 25銀迄
7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆両王手が見えるが、いきなりやるのは45に逃げられる。よって、初手45銀で同金と取らせてから決行する。45銀に同玉とするのは36飛成迄。

No.193 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									皇

持駒 金金

16金 ①同銀 同歩 25玉 34金 36玉 47銀 37玉 26角迄9手詰。

①同玉は26金 17玉 27金迄。

誤3 無33 正22

[担当：片岩裕貴]

☆どこから手をつけていいか難しいところですが、①の両王手の変化を見越して16金打から入ります。銀を入手したあとの34金が35玉に備えた巧妙な手段です。以下の収束はべたべた打っていく意外なもののですが、ぎりぎりのところでびったり捕まっています。手筋物の多い作者にとっても異色の作品と言えるの

安南詰

7手

詰将棋パライ

2009年10月号

登場91回

今月の問題⑧

ではないでしょうか。

和田裕之ーまさかのいきなり交換。

佐々木寛次郎ーつい桂を跳ねたくなる。それ

にしても34金とは、正に驚愕の一手。

広瀬和夫ー意外な手筋の連続。難解でした。

滝本幹夫ー安南らしさが十分にある。

西村恒雄ー6手目がなかなか指せなかった。

浜崎歩ー安南の異色作。奇手という感じの34

金はちょっと盲点でした。

大野孝ー意外なところで詰め上がります。

須川卓二ー序の駒交換がちょっと盲点でした。

No.194 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王
									王

持駒 角銀桂桂

53角 同龍 43桂 42玉 54桂 43玉 55銀 42玉

①53桂成 51玉 41馬 同玉 ②42飛 31玉 43

成桂 22玉 33成桂迄17手詰。

①44銀は31玉 41馬 同玉 53銀成 32玉以下逃れ。

誤6 無35 正17

[担当：片岩裕貴]

☆42からの逃げ道が見えているので、もったいないようでも53角と捨ててみると、龍が桂の動きになり、意外と攻めやすくなります。以下、銀で上をがっちり押さえてから龍を取ります。51玉の逃げに41馬と飛び込むのが気持ちのいい継続手段で、最後は桂の上に玉を乗せて両王手で締めます。

☆誤解は②43飛として、以下32玉 42成桂 31玉 33飛成とこちらも両王手で詰めたものですが、32玉のところで51玉とされると詰みません。51玉とされると桂が玉の動きになるので、51に行かせないのが急所でした。

今川健一ー最後の両王手で14歩の意味がわか

ります。安南詰の好手がいっぱい。
 原雅彦－15手目で詰んでいると思ってしまいました。
 小島幸喜－緩やかな流れの中にも41馬がピンリという感じでいいアクセントになっている。
 和田裕－いきなり打ちつくして心配になるが龍を取れる。こんな5手詰があるとは。
 波多野賢太郎－目まぐるしく駒の動きが変わって面白かったです。
 市村道生－14歩は天の恵み。両王手で止めを刺す。

No.195 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								料	一
				と		王	歩		二
					銀	歩			三
									四
						え			五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛金

②22飛 同歩 31飛 23玉 33飛成 同桂 14金 迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆2手目同玉は24飛迄なので、同歩とするが、これには31飛～33飛成が好手順で解決。やや一本道か。

*余詰

③31飛 23玉 21飛成 以下変化あるも詰み。



No.196 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王	料			一
				銀		馬			二
				歩	歩	歩			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金桂

32金 同玉 31金 同金 24桂迄5手詰。

誤9 無15 正52

[担当：片岩裕貴]

☆本作のみ初形曲詰です。

☆初手は32金しかないですが、同玉のときに、24桂を取る駒がないことに気付くかどうかのポイントです。23歩は角の動きですし、33歩は玉の動きですが、二歩になるため24には動けません。

☆誤解は4手目を31同銀としたもの。誤記とすべきなのか判断が難しいところですが、誤解としました。

はやしー最終手では詰んだように見えない。
 小島幸喜－玉に変身も歩の顔では桂は取れない。

弘光弘－41に空間ができるが、そこには動けない。安南らしさが出ている。

大野孝－これしかない手順で詰め上がります。
 流－ほかに手のないところなのに、二歩禁を忘れてしばし凍る。

今川健－事前工作。まずはお金をばらまこう。

竹中健－31金が絶妙！

☆実戦型という評が散見されましたが、安南の実戦初形は24歩型なので、安南実戦派の評価は微妙？

清水大昌－実戦で やってみたいの この手順。

安南ばか詰

5手

詰将棋パライ

2010年1月号

登場95回

懸賞問題⑦

No.197 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
								王	二
									三
								歩	四
								歩	五
								歩	六
								歩	七
									八
									九

持駒 金桂

21飛成 13玉 12金 ①23玉 22金 同角 33金
同桂 35桂迄9手詰。

①同香は22龍 同角 23金迄。

①同金は同龍で、玉と香のどちらで取っても
23金迄。

誤2 無20 正46

[担当：片岩裕貴]

☆焦点の捨駒の初手21飛成が痛烈な一手で、
香の動きになっている玉で取れないのはもち
ろんのこと、角で取っても金で取っても23金
の一発で詰んでしまうので、この飛成は取れ
ません。以下は、22金を奪っての収束となり
ますが、33金が決め手の好手となります。こ
こに桂を跳ねさせることによって、34歩を桂
の動きにして、最終手の35桂を成立させます。
☆初手一発の感もありますが、随所に安南ら
しさを散りばめていて、佳作と思います。

はやしー21飛成が取れないのかー。

滝本幹夫ー初手の飛成を取れないなど安南ら
しい。

大橋雅道ー意外と狭い王様ですね。佳作。

小林巧ーなんといっても21飛成！ こんな
持ち良い手に出会うなんて…。こりゃ春か
ら縁起がいいとしか言いようがない。傑
作!?かな。

須川卓二ー12金が好手でした。桂の使い道が
なかなか見つからなかった。

吉田直嗣ー初手が強烈。最終9手目も慣れて
いないと詰んでいる気がしない。

浜崎歩ー33金が鋭い一手。41桂、54歩の配置
を見て、玉を42まで引きずり出すのかと思
いましたが(笑)。

安南詰

9手

詰将棋パライ

2010年2月号

登場96回

懸賞問題②

作品集(刊行版)

番外 第107番

砂川順一ーさすが。安南詰の楽しさを堪能し
ました。

No.198 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								王	二
									三
								歩	四
								歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂桂香

14香 22玉 12香成 同香 14桂 ①同玉 36角
25香合 26桂迄9手詰。

①同香は31角迄。

誤1 無16 正46

[担当：片岩裕貴]

☆初手36角も筋のようですが、これには軽く
24歩と突かれると23玉から3筋方面に抜けら
れるのを防ぐことができません。36角を打つ
のは14に玉を呼んでからの方がより効果的な
ので、14玉の形を目指します。

☆よって、初手は14香が正解で、22玉には邪
魔になった香を12香成と成り捨て、14桂と執
拗に14から攻めます。14桂には同玉と取るよ
りなく、36角が実現して26桂までの詰みとな
ります。なお、最後の合駒は非限定です。

大野孝ー14へひっぱり出せば解決です。

流ー36角の前の下ごしらえ。かしこルールの
味を感じますね。

清水大昌ー初手は36角だと思いました。ほぼ
しらみつぶしで、12香成が見えてやっとほ
っと。

国兼秀旗ー二歩禁が攻方に有利に作用するの
は物足りない。

☆二歩禁を利用するのが巧みな作者というイ
メージがありますね。

安南詰

9手

詰将棋パライ

2010年3月号

登場97回

懸賞問題②

No.199 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				料				
			と	料				
				王				
				え		桂		
				飛				

持駒 金銀

66金 同桂 65銀 64桂 45飛迄 5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆3手目の65銀が安南の詰手筋の一つ。この形は64か65に何かが利いていないければ詰みの形なので、覚えておくに役に立つと思う。本作では64桂と取るよりなく、65に銀を発生させたことで45飛がびったりの一手になる。

No.200 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			等	王			角	
			等	等		馬	等	
					等	桂		
				桂	え			

持駒 金

22金 42玉 33桂成 同玉 32金 24玉 33角成迄 7手詰。

誤0 無16 正48

[担当：片岩裕貴]

☆初手22金は左辺に逃がしそうなので打ちにくいところですが、ほかに目ぼしい王手がないので、こうするよりないところです。対して42玉で逃げられてしまいそうですが、冷静に見てみると玉が銀の動きになっているので、5筋には逃げられません。そこで33桂成と捨てるのが初手でできたバッテリーを生かす指し手です。二歩のため、同歩とは取れないの

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

2010年5月号

登場98回

今月の問題①

で同玉しかないのですが、角の射程に入ったので両王手が決まります。

中沢昭夫ー24に逃がして捕まえる。24が一番狭いのだ。

秋元節ー3上へ逃がしても安南だと逃げられないんですね。

宇田川道ー33桂成に52玉とできないのが安南詰らしい。

小島幸喜ー35とが24玉を暗示している。

安原嗣治ー桂を捌いて両王手が手筋。角頭へ誘えば大成功。

弘光弘ー22金で角の利きをさえぎっておいて両王手に持ち込む手順が面白い。

原田清実ー格言の逆をいくとは「じょうだんでしょ」。

No.201 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					料	料	王	
					馬	料	王	
					等	等		

持駒 金金金金

13金 ①同玉 24金 ②同歩 14金 ③12玉 13金打 同桂 22馬 同桂 13角 14桂 22角成迄 13手詰。

①同桂は22馬 同桂 13金 同玉 24金 同玉 35金迄。

②12玉は13金打 同桂 22馬 同桂 13金打迄。

③同馬は12金以下。

誤8 無24 正35

[担当：片岩裕貴]

☆上部への遁走が見えているので、初手13金は当然なのですが、これに対して同桂と取る①の変化も安南らしさがよく出ています。本手順の同玉に対しては24金が妙手で、同歩と取らせることで14まで馬の利きが通って上部を押さえることができます。

☆以下は14玉を許さないように攻めることに

なりますが、最後の13角打に対する14桂が安南ならではの気付にくい応手で、うっかりしやすいところです。ただし、金を取られても跡地に22角成とすれば玉の逃げ場所はなく詰みとなります。

小原義孝－玉の守りに桂が活躍するも、わずかに及ばず。

佐藤善起－後半の応酬が特に安南ならではの面白い。

ほの字－何度も確認して11手詰と断定したとたん12手目を発見。100回で名誉安南国王就任でしょうか。

佐々木寛次郎－妙手の13角で決まったと思ったが、14桂がありました。好作です。

原田清実－13角で詰みかと思ってしまいました。角を成って詰めあげるとは。

中沢照夫－安南らしい騙しあい。

小林理－ずどんと玉を走らせない手順。

です。収束は23金で角を呼び、24歩を角の動きにするのが決め手で、14歩は玉の動きですが二歩禁で同歩とは取れず詰みとなります。徹頭徹尾作者の作風がしっかり出た作品だと言えます。

流－これも桂単騎。定石の二歩禁利用。

中沢照夫－初手が焦点の飛車。詰上り鮮やかな桂の単騎詰。

佐藤宣多－焦点の捨て駒から入り、単騎詰まで。ほんとうまいですね。

小島幸喜－初手の32飛と23金がいい感触。

原雅彦－二歩禁に何度も助けられた。

西村恒雄－6手目まで進め、何度も最初から考え直すことに。23金はすごい手ですね。

武田静山－最終手を除けば、利き筋の限定や退路封鎖など、普通詰将棋と変わりが無い。

秋元節－最後の3手が読めなかった。

No.202 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							桂	王
				飛				玉
							歩	王

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2010年9月号

登場101回

懸賞問題③

持駒 飛金桂

32飛 同角 22金 13玉 12金打 同香 23金 同角 25桂迄9手詰。

誤4 無21 正36

[担当：片岩裕貴]

「いつもの」端正な実戦型です。この形ならひと目というべき32飛の焦点打が好手で、同飛には23金迄なので、同角と取らせれば22金と打つことができます。初手42飛の誤解が相当数ありましたが、これには同飛と取ると22金と打てて作意同様の手順が成立するのですが、22に合駒されると手が続きません。32飛に22合駒は23金迄なので、このあたりの微妙な違いで限定打を成立させているのはうまい

No.203 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰

5手

詰将棋パラダイス

2010年10月号

登場102回

今月の問題④

持駒 飛銀銀

15銀 同飛 24飛 同飛 15銀迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆桂に上に乗った玉に対して、頭銀と腹飛車は常套手段。腹飛車を打てるように銀を捨てておく。回文詰。

世の中ね、
顔がお金かなのよ

No.204 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					将	王	将	
					金			
					角		歩	
					銀		金	

持駒 角桂桂

22角 同飛 44桂 43銀 23桂迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆2手目同玉は12歩成。同飛で飛を無力化してから44桂が23への銀の利きを外す「間接捨駒」。

No.205 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				金		桂	香	
							王	
					桂			
					銀		歩	
					馬	歩	歩	

持駒 角金金

④22金 13玉 12金打 ④同馬 23角 22玉 12角成 同香 11角 34玉 44角成 23玉 34銀 32玉 43銀生 41玉 53桂 31玉 54馬 22玉 ③2銀成 34玉 44桂成 ②23玉 22成銀 同玉 32馬迄27手詰。

④同香は23角 同馬 同金迄。

②35玉は45馬 25玉 36馬迄駒余り。

誤1 無31 正33

[担当：片岩裕貴]

☆無仕掛図式から丹念に手を紡いでいく作品でしたが、早詰がありました。

早詰－④45角！ 34銀 22金 13玉 23金打以下。

☆この筋は56馬→34で消せると思いますが、次の順があっては根本的な構図の見直しが必

要かもしれません。

余詰－③44馬 33桂（合駒を打つのは32銀成迄）同銀成 11玉 32成銀 22香打 23桂以下。☆早詰解多数のためお名前は割愛します。双方解は市村、駒井、流、弘光、吉田、和田の各氏。粗検陳謝。

☆以下は作意解答者の評です。

小島幸喜－手数を感じさせない軽快な手順が好印象。その中でも43銀生が光ります。弘光弘－12金打から23角がうまい手づくり。市村道生－変化順を含めて、角使いの巧さに感服する。

No.206 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					馬	将	皇	
					将	王		
							金	
						桂		
					馬			
					歩			

持駒 飛桂

23桂成 同歩引生 22飛 同角引生 24桂迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆遠く離れたところにいる角と歩が気になるが、この2枚を不成で移動させるのが狙い。2手目が成だと最後の24桂を13の歩で取る手が生じる。その点、生だと24歩と取った形が二歩になるため禁手となって取れない。☆3筋の角桂があまり働いてないのでなんとかしたいところ。実戦型にこだわらずに、21香型にして持駒金桂にするのは一法かと思う。



安南ばか詰

5手

詰将棋パダイ
2010年11月号
登場105回
今月の問題③

No.207 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								星	一
							歩		二
						王	王	三	
						香	桂	香	四
						香			五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

安南**ばか詰**

7手

詰将棋パラダイス

2010年11月号

登場106回

今月の問題①

き方もあります。玉が角の動きになってしま
うので、慣れない方には見えにくい手かもし
れませんが、実際に16同香（※16同角生）の
局面を見てみると、玉が角になったといつて
も、味方の駒が邪魔をしていて26と28にしか
動けず、また、18角が16に移動したことによ
って、角が香の動きになって無力化していま
す。そこで27金と打てば詰みです。

☆なお、本作は回文詰になっていますが、回
文詰にするロジックが安南ならではで、目新
しい感じがします。

32銀 24玉 23銀成 同玉 32銀 12玉 21銀生
迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆邪魔駒消去的一幕モノ。24桂さえ消してし
まえば、12玉と香の上に乗ることができて容
易に捕まる。しかし、いかんせん紛れに乏し
く、ほとんど絶対手に終始するのが弱点か。

No.209 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	星	一
							香		二
						星	王		三
						香			四
						角	飛		五
							歩		六
									七
									八
									九

持駒 銀

余詰

安南詰

9手

詰将棋パラダイス

2011年3月号

登場108回

懸賞問題③

No.208 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						馬	星		五
									六
							王		七
							馬		八
						王			九

持駒 金金金

安南**ばか詰**

5手

詰将棋パラダイス

2011年3月号

登場107回

今月の問題④

Ⓐ15香 同玉 25飛 ①14玉 ⓑ24飛 ㊦15玉
25角 ㊧24歩 16銀迄9手詰。

①16玉は28銀迄。

㊦13玉は14飛 22玉 11飛成迄駒余り。

㊧24玉は26歩迄駒余り。

ⓑ26銀は15玉以下逃れ。

誤16 無15 正21

27金 同角生 16金 同角生 27金迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆安南では玉を弱い駒の上に乗せるのが常道
なので、16金 同香 28金という筋も見えます
が、これは18角が玉の動きなので、28金を同
角と取られてしまいます。16金を同玉でもや
はり角の守備が強くてうまくいきません。

☆正解は27金 同角生から入ります。28への角
の利きが消えたので改めて16金 同香…とす
るのが狙いではなく（その順は28金に19玉と
逃げられる）、さらに16金にも同角生とします。
ここでは、16金を同香や同玉では手順前後が
きくので、同角生しかない、というずい解

[担当：片岩裕貴]

☆凝り固まっている攻駒をほぐしていく手順
です。角香のバッテリーを一回は両王手で崩
すのですが、再度、角飛のバッテリーを構築
し、もう一回両王手するところがリズムカル
です。

☆前記のように、変化㊦㊧は同手数駒余り
で割り切れているのですが、㊦では最終手31銀、
㊧では最終手25銀とした誤解者が多く驚いて
います。

☆しかしながら余詰がありました。

余詰－Ⓐより35香 25合 15銀 同玉 25飛で、
14玉は17香迄。16玉に対しては、2手目の合

駒が角ならば28角迄、桂ならば28桂迄、それ以外（歩合は二歩）ならば、取った駒を17に打って詰み。初手35香が上下によく利いています。

☆2手目25合で、同角と取れないので続かないと即断してしまいました。粗検深謝いたします。双方解は市村氏、余詰解は7名でした。

☆以下は作意解者の短評です。

佐々木寛次郎ーお荷物だった27歩が詰みには参加しているとは嬉しいですね。

浜崎歩ー生の大駒によるゴツイ攻め。24玉〜26歩の変化もおしゃれですね。

和田裕之ー最後は普通に詰んでいる。

小島幸喜ー流れるような手順の感触がいい。

原岡望ー先に12金打がポイント。

西村恒雄ー持駒金1枚残して24金と思ひ込み苦戦。

小山大貴ー金の単騎詰。狭いが4枚も必要。

佐々木寛次郎ー終わりの3手に大きな拍手を贈りたい。

小峰耕希ー二歩禁利用のテクニック。

須川卓二ーこちらはいたってシンプル。二歩禁を利用したうまい詰上りです。

今川健一ー二歩禁に気付けば簡単？ いいえ、けっこう難しい。

市村道生ー安南玉の弱味を、徹底的に衝く。名作です。

No.210 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
								二
							王	三
							王	四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰

9手

詰将棋パラダイス
2011年4月号

登場109回
懸賞問題②

持駒 金金金金

①12金 同玉 22金 13玉 ②12金打 同香 24金 同歩 23金迄9手詰。

③24金は同歩 12金 23玉以下逃れ。

④24金は22玉以下逃れ。

誤9 無9 正41

[担当：片岩裕貴]

☆初手12金は安南の基本手筋で、玉で取っても香で取っても玉が香になります。同玉が精一杯の抵抗ですが、22金〜12金打で強引に12香型を作り、そこでの24金が決め手です。単に23金では14の歩で同歩と取られてしましますが、歩を逃がしてからその地点に駒を動かすことで、二歩禁のために同歩と取れなくなっています。この辺りは作者の真骨頂で、まさに本領発揮というところでしょう。

☆また、前記のように、24金とするタイミングは限定されていて、そのタイミングを間違えた誤解者が多く出ました。

No.211 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
								二
							王	三
						王		四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰

11手

詰将棋パラダイス
2011年4月号

登場110回
懸賞問題③

*関連図

No.003-071

持駒 飛飛銀

12飛 ①同玉 32飛 13玉 22銀 12玉 21銀生 13玉 12銀成 同香 22飛成迄11手詰。

②24玉は26飛 25合 35銀迄。

誤1 無13 正45

[担当：片岩裕貴]

☆前問と盤面配置は同じですが持駒が異なります。

☆初手はやはり12飛の捨駒から入ります。同香は22銀迄なので同玉と取りますが、32飛が24玉に35飛成を用意した限定打です。単純な意味付けですが、これも安南らしい限定打と言えるでしょうか。

☆以下は銀を使って追うことになりますが、うっかり22銀〜33銀生では開き玉手にならないので、21銀生〜12銀成として、こちらも12香の形にするのが急所となります。

☆2作とも覚えやすい形から安南らしい手順

が出てくるので、古典として残したい作品です。

小島幸喜－32飛がぴったりの好位置。

原岡望－11香を残すのが急所。32飛の限定も流石。

西村恒雄－②の学習効果で13玉12香の形を目指す。

小山大貴－②の姉妹作ですね。金4枚と飛飛銀はどちらが難しいかな？

佐々木寛次郎－35飛成を見せながら、最後は22飛成までの単騎詰とは。

小峰耕希－銀繰りが肝心。

須川卓二－7手目31や33に行ってしまうようでした。

今川健一－香に変身。あれまあ困ったと玉が言い。

市村道生－自然で流麗な手順。詰後の余韻が心地よい。

秋元節三－合わせて一本ですね。

No.212 S u b

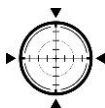
9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬		二
						歩	歩		三
龍				銀					四
				王					五
			歩	歩					六
		桂			歩				七
									八
									九

持駒 金

45金 同銀 44龍 同歩 65馬迄5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆44龍捨てに頭2手を加えたものか。連続焦点捨てに見えるが、初手は焦点捨てではない。形の広がり気になるが、84龍とすると初手75龍以下詰んでしまうので、この手順のままでのコンパクト化は難しいか。



No.213 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀	王	一
							銀	王	二
							馬		三
							歩	桂	四
									五
									六
								銀	七
									八
									九

持駒 飛銀

22飛 14玉 23飛成 同桂 24馬 同玉 25銀迄7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆2手目13玉は15銀 同飛成 同馬 22玉 32桂成迄駒余り。2手目、本手順の14玉も、変化の13玉も詰めにくい味がある。本手順の14玉に対しては、飛と馬の連続捨駒で桂の上に玉を乗せる定番の詰上りとなる。手順に比べて、配置がごちゃごちゃしている感はあるので、もう少し効率的な配置にしたいところ。

No.214 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
					金		王		六
				金		王			七
									八
							桂		九

持駒 桂桂

28桂 15玉 26金 同玉 18桂 同と 37金迄7手詰。

誤1 無11 正44

[担当：片岩裕貴]

☆手順だけを見れば、普通ルールかとみまがう手順ですが、詰上りで安南ルールが生きています。しかし、やはり作意手順に安南らしきがないのはあまりウケがよくなかったよう

安南詰

7手

詰将棋パラダイス

2011年9月号

登場112回

今月の問題⑧

安南ばかり詰

7手

詰将棋パラダイス

2011年9月号

登場113回

懸賞問題⑤

です。また、最終3手は安南かしこでも同じ手順になるので、そういった点もマイナスポイントになってしまいました。

秋元節三ー攻方金と玉方と金の対比が美しい。西村恒雄ーどうやっても詰みそうだが、と金の力が強くて金だけでは詰まない。

佐藤宣多ー2手目に気がつかず時間がかかった。

市村道生ー序の2手が渋い好手順。安南らしい詰上り。

須川卓二ーばか詰では珍しい26金の捨駒がナイス。

変寝夢ー如何にして玉をと金の上に乗っけるか。

弘光弘ー28桂を据えておくところがおもしろい。

鈴木彊ー28桂に一度15玉として26金とするのが決め手。

浜崎歩ー安南らしさは少ないですが…、それでも普通詰棋の感覚を捨てないと解けない(笑)。

岩本修ー普通かしこ詰みたい。

No.215 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩

35馬 16玉 28桂 同馬 17歩 同馬 ㊤25馬 同玉 14銀生迄9手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆安南ルールの問題を考えると、一般的には利きの弱い駒の前に玉を移動させることを考えます。例えば、味方の歩の前に玉がくると、形は玉であっても歩の動きになってしまうからです。

☆それを踏まえて本図を眺めてみると、24桂

が弱い駒なので、25玉の形を作るのが目標となります。ただし、すぐに25馬とするのは同玉とは取ってくれずに、17玉と逃げられてしまい、これは捕まりません。

☆そこで、初手は17玉を防いで35馬とします。これに対する応手は16玉の一手ですが、ここでも17玉の逃げがあるので25馬とはできません。とにかく17を埋めないと先に進めないので、28桂～17歩と持駒を使って37馬を17に動かすのが決め手の25馬を放つ前の大事な手続きです。17を埋めてから25馬とすれば、今度は同玉と取るよりなく、玉を桂の動きに変えることに成功したので、14銀生で詰みとなります。

☆初形の26玉、2手後の16玉、詰上りの25玉のどのタイミングにおいても17が空いていると詰まないの、17を埋める意味付けが曖昧になった感があるのがちょっと味悪です。

*余詰

㊤34銀生 同銀 同馬 25歩 同馬 同玉 34銀まで。(34銀は3手目、5手目でも可)

No.216 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金銀

22銀 24玉 13銀生 同桂 35金 同歩 34金 同馬 15金迄9手詰。

誤1 無15 正46

[担当：片岩裕貴]

☆初手22銀は、同玉ならば32歩成迄という狙いで、まずは指してみたい手ですが、24玉とされたときに、すぐに13銀生と捨てておくのが好手です。同桂と取らせて14歩を桂の動きにする目的なのですが、先に35金だと同馬と取られて、25玉の逃げ道が生じてしまうので、

☆立体対称形ですが、酔象の利きでしょうか？

No.219 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				飛		銀	王	星
						金	王	
						金	金	
						金		
						歩		

安南詰
7手

詰将棋パダ イ
2012年3月号

登場118回
懸賞問題②

作品集（刊行版）
番外 第110番

持駒 飛角金

①22飛 ④同銀 31金 43玉 52飛成 同金 32角迄 7手詰。

④43玉は61角 52歩 同飛成 同金 同飛成迄。

①22金は43玉以下逃れ。

誤4 無27 正22

[担当：片岩裕貴]

☆初手22飛か22金か迷うところですが、変化①を見越して飛を打つのが正解です。玉は銀を動きになっているので銀で取るになりますが、31金 43玉の次の一手がなかなか見えなかったのではないのでしょうか。

☆52飛成とタダのところに捨てるのが鮮やかな決め手で、このときは玉が金の動きになっているため玉では取れません。安南では時折出てくる手筋ですが、慣れていないとかなり見つけにくい手ではないかと思います。

☆最後は32角と打つと、なにげなく打った3手目の金が角の動きになって玉の逃げ道をきれいに塞ぐことができます。

☆起承転結がはっきりしていて、7手詰の好作と言えるでしょう。

小島幸喜－52飛成が盲点になって悩まされました。

武田静山－52飛成から32角が見えず、四苦八苦。

吉田直嗣――見詰んでいるのがわかりにくい最終手。

竹中健――ちょっと難しかった。32角迄の詰上りは不思議ですね。

☆最終手で31金は角の動きになっていますが、もし32玉と角を取ると金の動きに戻るため、32玉とすることはできません。

平尾一土－飛先飛金が面白い。

原雅彦－初手22金では詰まないし、相当な難問。

No.220 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	王
						金	金	
						金	金	

安南**ば**か詰
5手

詰将棋パダ イ
2012年4月号

登場119回

今月の問題①

b) 22飛⇄24金

持駒 なし

a) 23金 同玉 24飛 同玉 25金迄 5手詰。

b) 23金 同玉 14角 同飛 28飛迄 5手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆飛と金の位置が変わると、両王手のしかたが変わる。

b) の28飛は安南ならではの両王手と言える。67の角が飛の動きになっている関係で紛れが少なく、頭2手が絶対なのが弱点か。

No.221 S u b

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王		
						金		
						金		
						金		
						歩		
						歩		

安南詰
7手

詰将棋パダ イ
2012年5月号

登場120回

今月の問題①

持駒 金

64金 45玉 54角 56玉 45角 同飛 65龍迄 7手詰。

[担当：片岩裕貴]

☆初手56金は44金が桂の動きになっているため同金と取られてしまう。逆に54には利きがないので、54金も考えられるが45玉で続かない。よって64金～54角は自然な流れだが、56玉の時に45角が決め手。同飛とさせれば飛が

金の動きになって横利きがなくなるので65龍
迄の詰みとなる。

No.222 S u b

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								将	二
								金	三
						将	王	歩	四
						金			五
									六
								桂	七
									八
									九

持駒 飛角

安南詰

9手

詰将棋パライ

2013年10月号

登場121回

懸賞問題④

作品集（刊行版）

番外 第111番

①25角 24玉 26飛 34玉 36飛 24玉 16角 15
玉 24角迄9手詰。

②52角は43香 25飛 33玉 23歩成 42玉以下
逃れ。

誤2 無20 正26

[担当：片岩裕貴]

☆43玉を許しては絶望なので初手25角と打ち
ますが、このあとの角が八面六臂の活躍を
見せます。2手目24玉の一手に26飛で角を飛
の動きに変えて王手、対する34玉に36飛が両
王手、以下もとにかく角の王手を続けていっ
て24角跳ねまでの詰みとなります。詰上りで
玉は歩の動き、23金は桂の動きになっている
ので、これで詰みです。

和田裕之ー初手は必然だし、あんまり紛れが
ないなあと思ったら、5連続（全着手）角
の王手だった！

市村道生ー初手から止めまで全て角の王手。
凄い迫力。

小林巧ー角の独壇場。正しくカメレオンアー
ミー。

佐々木寛次郎ー2手目からは全て安南手。中
でも角の働きには誉め言葉を失う。

鈴木彊ー16角から24角が素晴らしい。

山下誠ー16角と引いてから跳ね出す収束は妙
手順。

原雅彦ー傑作、でも余詰の心配が…。8手目
で手が止まります。

秋元節三ー狭いところでゴチャゴチャと。

竹中健一ー最後の24角で詰んでるのが不思議
な感じ…。

作品集（刊行版：大野孝）

これが最終掲載、これが見納め、残念です。



*投稿掲載作終了。

おもしろゲーム将棋

著者：湯川博士 編集：週刊将棋
発行：毎日コミュニケーションズ
1991(平成3)年9月

第6章 フェアリー詰将棋の世界 フェアリーⅢ 安南詰

【問題5図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						角	桂	皇	一
								王	二
						歩	歩		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

No.080
1990/5

作品集
第24番

持駒 金金金金

◎安南詰の傑作

安南将棋は指し将棋の方で古くから指されていたが、詰将棋に出てきたのは近年のことだ。ルールが分かりやすいためか、かなり普及しており、複合詰も数多い。

[ルール]

すぐ後の駒の性能が移る。ただし移動した後、二歩の状態になるのはだめ。自玉が敵駒の利き筋に入るような着手は禁止。

さて問題5図。作者の小石氏は安南詰誕生当時、佳作をたくさん発表した。本作も傑作のひとつである。実戦形なので食指が動く人も少なくないだろう。「力で詰めてやる」という人は答えを見ずに頑張ってみよう。

しかし、「とても無理…」という人は次ページの解説で楽しんで下さい。

純粋安南詰は今では珍しい部類となっており、ばか自殺安南詰などの複合ものが主流になってきている。

【第8図は▲2二角成まで】

6	5	4	3	2	1	
					皇	一
				馬	王	二
			歩	歩	桂	三
						四
						五
						六

持駒 金金金

問題5図から

- ▲1 三金
- △同 桂
- ▲2 二角成 (第8図)
- △同 桂
- ▲1 三金
- △同 玉
- ▲2 四金 (途中図)
- △同 玉
- ▲3 五金 (第9図)
- まで9手詰

【途中図は▲2四金まで】

6	5	4	3	2	1	
					皇	一
				桂	王	二
			歩	歩	金	三
						四
						五
						六

持駒 金

【第9図は▲3五金まで】

6	5	4	3	2	1	
					皇	一
				桂	王	二
			歩	歩		三
				王		四
			金			五
						六

持駒 なし



◎玉無能化の手筋でオワ

玉は現在“香”なので、初手はとにかく▲1 三金。△同桂の一手に▲2 二角成 (第8図) がすごい。唯一の盤上攻め駒を成り捨てるのだから、ちょっと思いつきにくい。さて、ここで△同玉か、とつい習慣的に思うが、玉は香なので取れない。…すると、まさか詰んでいる!? そんな簡単な問題じゃない。△同桂がある(桂は玉)。そこで▲1 三金で玉を誘い出し、▲2 四金 (途中図) と歩頭に打つのが決め手。歩は桂で取れぬので△同玉 (△1 二玉は▲1 三金打まで)。歩と化した玉をあざ笑うかのようにな▲3 五金 (第9図) とこめかみに打って仕上げた。安南ルールをフルに表現した傑作だ。

四百人一局集

全日本詰将棋連盟編

2011(平成23)年7月

☆創作歴60年になるベテラン。

恐らく安南詰一筋の余生か。

(詰バラ 昭和55年2月号)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							我	と	一
								酒	二
							と	王	三
				毎					四
									五
									六
									七
									八
									九

No.028

1980/2

作品集
第40番

作者自選
Best 2

持駒 飛桂

34飛 23銀上 25桂 12玉 24飛 21玉 13桂生
11玉 21桂成 同玉 23飛成 同桂 32銀 12玉
23と 11玉 24桂 22玉 12桂成迄19手詰。

☆数少ない好作の一つ。巧くまとまった一局と自負しています。

難しい変化、紛れなどは余りありませんが、使用駒数、捌き、手数などなど、まずまずの作品では…。

若い頃は普通の詰将棋も作っていましたが「安南詰」に興味を持ち始め、そのスタートは、近代将棋の読者欄への投稿からです。六十余年の詰将棋歴のうち後半の三十年は「安南詰」一筋です。

詰バラのフェアリー欄への投稿が昭和54年から始まりました。小石広志の名前で、平成6年まで続けました。

一時中断の後、柴田昭彦氏の援けを受け、S u b名で何とかお付き合いさせて頂いている現状です。

平成11年に復活してS u bの「安南詰」も、遂に100局を超えました。小石広志作と併せると200局近くになります。今や「安南詰」に囲まれて余生を送る日々…。

①昭和6年8月25日。

②大阪市西成区天下茶屋。

③無職。

④小西寛 (本名)、長田富美夫、小石広志、S u b。

⑤旧・王将昭和24年12月号。

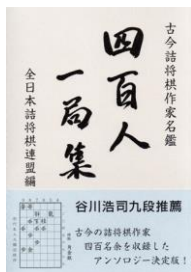
⑥普通の詰将棋約30局。安南詰約200局。

⑦棋歴約50年、二段。

⑧著作は無いものの、週刊将棋発行の某誌に拙作が載せられた記憶があります。

⑩特に意見はありませんが、創作には充分すぎる推敲が必要だと思っています。思うほどには実行の方がもう一つと言う現状ですが、何とか老骨に鞭打ってお付き合い願うしかありません。

⑪ナンバー・プレース。



*凡例

①生年月日

②住所

③職業

④ペンネーム、雅号

⑤初入選 (初出題先)

⑥発表数・受賞歴

⑦棋級

⑧著書・著作

⑨好きな詰将棋作家

⑩詰棋界に一言、他

⑪趣味

作品集発表作品

*編者注

- ・過去の発表作にはなく、作品集での発表作品です。
- ・冒頭注意書きの通り
本人による手書き版作品集作成は2004年11月。そのまま逝去され、大野氏により2016年6月に正式刊行。
- ・作品集刊行版の投稿発表作以外を全て転載します。なお、第72番は刊行発表図を正式図としています。

まえがき

作者との初対面は昭和27年5月初旬で筆者が高校二年生で作者は大阪大学三回生。亡くなられるまで途切れ途切れながら60年という長きお付き合いでした。思い出話を書くとき長くなりますので、安南詰に関連することだけ記すことにします。

昭和43年7月に会ってから音信不通でしたが、昭和50年頃、「近代将棋」の読者欄に安南詰を発表したのは驚かされました。作者に安南将棋を教えて貰って指したことがありますが、安南詰の話はしませんでした。

小石広志名での発表でしたが、直ぐに小西寛氏と分かりました。「詰将棋パラダイス」への登場は昭和54年10月号。小石広志名での発表でコメントも書いています。「フェアリーの主流はばか詰でしょうが、誰か出でよ、安南に目覚めるもの！」と応募します」

平成6年8月号まで発表して一時休眠。そして平成11年9月号からSu b名で再登場、亡くなる寸前まで作品を発表しました。

平成10年頃から毎月一回会うことにしていましたが、平成16年12月初旬に会った時に気に入った作品百局をノートに記したので贈呈しますと言われました。二人共作品集として出したいという希望がありましたが、諸々の理由で断念しました。

今年の全国大会で、フェアリーの作家の一人である大野孝氏にノートを見せた所、ぜひ作品集として出したいと言われました。

作者が存命なら夢が叶うので無条件で承諾されたと思います。

安南詰としては好作揃いで楽しめる内容となっています。安南詰の面白さを知って新しい安南詰作家が誕生すれば故人も喜ばれることと思います。

平成27年9月10日

柴田昭彦

はじめに

安南に取り憑かれてもう逃げられなくなった。其の摩訶不思議な魅力のとりこになって、どうにもならない。勿論参考資料などある筈もなく、手探りの日々、只々ひたすら作図し、自己満足に陥いつてる日々。可成り深みにはまった積りだが、案外未だ浅瀬、足を濡らした程度かも知れない。

既に七十を過ぎ、タイムリミットまでの毎日毎日、作図能力の衰えは兎も角、意欲だけはまだまだである。

改めて、一作一作に、思い出は盡きない。一人よがりも良い所だが、只何の計画性も無く、竝べただけの作品集。ご笑覧下さい。

平16年11月

小石 広志

追記 1

安南詰めに想起した人は誰？ 詰め将棋には悪魔性がある。パズルではあるが、美がある。芸術だと唱える人がいる。そこまでの内容がある。驚き、感激、解后感の素晴らしさ。何の道でもそうでしょうが、其処にのめりこまざるを得ない魔力がある。作る側は、暗中模索の中で、脳の中で点と線とが交叉し、現実離れした世界、そう、全く違う宇宙が存在する。そこでは空であり、無であり、没我の世界である。やめられない。

追記 2

安南の醍醐味は、一に、駒の性能の踊る様な変り身にあると思う。当然作図側はそれを意識して、ものにし、解く側に、どうだと胸をそらす。 ①少ない駒数で… ②如何にも安南で ③配置上スッキリと… ④解后感が最高… まだまだありそうだが。特に拙作の場合、玉と桂が主役になったみたい。恐らく桂がなければ、安南は、私の場合成立しないし、作図、作局は出来なかったと思う。

No.223 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						角	科	星	一
								王	二
							歩		三
					笛				四
							歩		五
						歩			六
									七
									八
									九

持駒 金金金

13金 同桂 22金 同桂 同角成 14玉 13金 同香 27桂まで9手詰。

平凡なストーリーだが、29までの3部作。

*第28番：No.051 (1983/11)

第29番：No.052 (1983/11)

No.224 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					星	銀	星		一
			飛			王			二
					桂				三
		歩			香	歩			四
			馬						五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角

23歩成 同玉 35角 22玉 23香生 31玉 53角成 42香 22飛 32玉 31銀成 同玉 21飛成まで13手詰。

結構玉方の応手が鍵。

2手目2一玉には6五角がある。(その為の6四歩) 全体にちょっと生硬。



No.225 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				笛		王	星		一
			歩		科		星		二
				銀					三
				角		歩	歩		四
				歩					五
				歩	歩				六
									七
									八
									九

持駒 桂桂桂歩歩

22歩 31玉 23桂 21玉 11桂成 同玉 21歩成 同玉 23香 31玉 22香成 同桂 23桂 42玉 53角成 33玉 45桂 23玉 33桂成 同歩 24歩 15玉 26馬まで23手詰。

中篇ものだが細かいやり取りから仕上げ迄、結構作図に苦心。

No.226 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王	王	科	星	一
									二
						と			三
							角	歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂香

13角成 同桂 23桂 21玉 24香 12玉 22桂成 同桂 23香成まで9手詰。

土居詰将棋を思い出す。

あっさりと仕上がった感じ。



No.227 小石広志

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								星
			角					
				金		王		
					飛			
						桂	香	

安南詰
17手作品集
第57番

持駒 なし

37金 26玉 36金 27玉 37桂 26玉 ㊤57桂 27玉 37金 26玉 44角 25玉 ㊤35金 26玉 36金 27玉 37金まで17手詰。

ひつこく飛の効きで金の上下のリフレイン。
(残念乍ら余早詰あり)

*余詰

㊤47桂 27玉 37金 26玉 39飛 25玉 29飛。
㊤36金 24玉 35金 23玉 24金 同玉 33飛成
以下

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
								星
			角					
				金		王		
					飛			
			桂			桂	香	

安南詰
17手刊行後検討
修正図
大野 孝

持駒 なし

No.228 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					と	王	王	
						飛		
					駒	歩		
				馬	王			

安南詰
9手作品集
第60番

持駒 角銀銀

12銀 22玉 33角 14玉 15銀 13玉 22角成 同玉 11銀生まで9手詰。

苦心した割りには平凡な作に終わった。

No.229 小石広志

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				星	と	王	王	
			と		角			
					銀	駒		
						王		

安南詰
19手作品集
第67番

持駒 金金

22金 同馬 同と 13玉 23角打 24玉 ㊤14角成 33玉 ㊤43金 同龍 ㊤23馬 42玉 41角成 53玉 63馬 42玉 53と 同龍 32馬まで19手詰。

もう一つピリっとしない。

馬取りのスタートが陳腐だったか。

*余詰

㊤34角成 同玉 23角成 25玉 24飛 16玉 27金 15玉 26金まで
㊤23馬 同龍 同角成以下
㊤23角成 42玉 41馬 53玉 63馬 42玉 53と 同香 41馬左 33玉 23馬右まで



修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				酒		と	科		一
						角	王		二
			科						三
				蟹	鯉				四
		桂			酒				五
									六
									七
									八
									九

安南詰

19手

刊行後検討

修正図

佐藤 達也

*怒られる2

持駒 金金

22金 同馬 同と 13玉 23角打 24玉 14角成
33玉 43金 同龍 23馬 42玉 41角成 53玉 63
馬 42玉 45桂、同龍、32馬まで19手詰。

No.230 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
						角	帝		二
							科		三
								王	四
									五
									六
							歩	歩	七
									八
									九

安南詰

9手

作品集

第68番

持駒 金銀

24金 15玉 25銀 24桂 14角成 同香 16歩 同
桂 24銀まで9手詰。

詰手筋が平凡だと、どうしても…。

No.231 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
						帝	科		二
							角		三
								王	四
							歩		五
									六
							銀		七
							え	帝	八
									九

作意設定不可

安南詰

15手

作品集 第72番

手書き版原図

持駒 飛桂

26飛 14玉 15歩 同玉 27桂 16玉 14飛 25玉
①35角成 14玉 26銀 23玉 13馬 同玉 14銀

まで15手詰。

案外追い手順なのかな。

*①飛なので作意設定不可。(小石氏でも…?)

初手27桂以下の余詰もあり。

作品集 第72番

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						科	科		二
							角		三
									四
							歩	王	五
									六
									七
						銀			八
						え		帝	九

持駒 飛桂

①26飛 14玉 15歩 同玉 27桂 16玉 14飛 25
玉 43角成 14玉 26銀 23玉 33馬 同玉 34銀
まで15手詰。

*余詰

①27桂 14玉 26銀 25玉 35角成 16玉 13飛
27玉 17飛成まで。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
						科	科		二
							角		三
									四
							歩	王	五
									六
									七
						銀			八
						え		帝	九

持駒 飛桂

安南詰

15手

刊行後検討

修正図

大野 孝



No.232 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
毎	銀	香						
						香		
		香	王					
	飛							
				桂				
					桂			

持駒 金

45桂 62玉 54桂 61玉 53桂成 52玉 42桂成
53玉 52金まで9手詰。

桂を捌きつつ、玉が軌道を書いて還元。

No.233 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					と		星	
					香	王		
					香	角		
							香	
						歩		

持駒 飛金

21飛 13玉 12角成 同香 22飛成 同歩 24金
まで7手詰。

No. 17と同巧同局。

*第17番：No.045 (1982/4)

No.234 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						香	星	
						王		
			香	香	香			
							香	
				歩				
						歩		

持駒 角金金

22金 13玉 46角 35桂 同角 22玉 32金 34玉
46角 45桂 47桂まで11手詰。

3五桂中合で辛くも凌ぐ。紛れも多少あり、
まづまづ？

No.235 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				香				
					銀	王	星	
				角	香			
				飛				
				驥		玉		

持駒 金

①23金 11玉 ②21銀成 同玉 24飛 31玉 22
金 42玉 52角成 同玉 54飛まで11手詰。

本作余詰臭い。改作は3三金→3三とだが、
ちよっとね。

*余詰

①21金 32玉 41角成 21玉 42飛成。

②33角成 同龍 12銀成 同玉 23金 同龍 同
銀成 同玉 24飛打 32玉 33香以下

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				香				
					銀	王	星	
				角	香			
				飛				
				驥		玉		

持駒 銀

23銀打 以下同様。22金⇒22銀成。



No.236 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
							王	
					桂	科		
			帝		桂			
						帝	帝	

持駒 角角

21桂成 同玉 43角 22玉 31角 33玉 25角成
32玉 42角成 22玉 23桂成 同玉 ㊤24馬上
12玉 23桂 16玉 15馬 同香 43馬まで19手詰。

最終非限定が痛い、結構狙いは面白い…？

*余詰 ㊤24桂 22玉 33桂成以下。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
							王	
					桂	科		
			帝		桂			
						帝	帝	
					桂			

持駒 角角

余詰

安南詰
19手

作品集
第88番

おわりに…

一応100作です。

結構年数がかかってますね。
此れ以上のものは出来ないでしょう。
後は数で勝負するだけです。

一応、自画自賛乍ら Best3を選びました。

(第9番)

No.3 7手詰

5	4	3	2	1
			科	皇
			玉	
			馬	
		馬	帝	

持駒 飛飛銀

(第40番)

No.2 19手詰

5	4	3	2	1
			科	と
			銀	
			と	玉
		角		

持駒 飛桂

(第33番)

No.1 9手詰

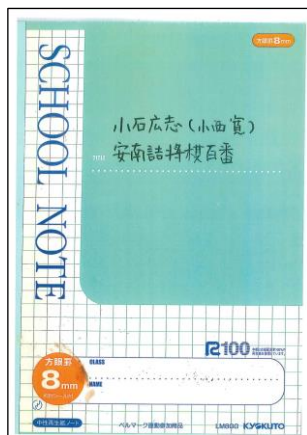
5	4	3	2	1
				皇
				王
			科	帝
			桂	帝

持駒 角金桂



*安南詰(安南将棋)とベトナムとは直接的な
関係はありません。

*作品集(手書き版)の本人記述はここまで。

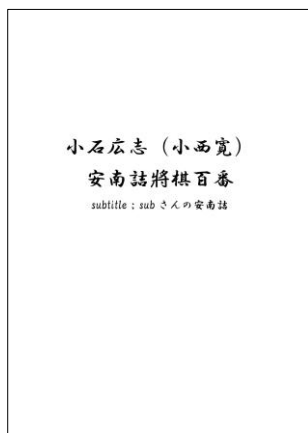


番外編 編集者選

平成16年に安南詰将棋百番を作成以降も S u b さんの名で投稿が続き、数十の作品がバラ誌上に掲載されています。

本冊子を作成するにあたり、番外編として選ばせていただきました。

*番外第101番～111番 すべて投稿掲載作。



小石広志 (小西寛) 安南詰将棋百番
サブ: sub さんの安南詰
この本は、私が安南詰将棋を始めたとき、
sub さんから送られてきたノートを見たとき、
このまま本にしようと思ったほどでした。
わたしのバラ歴はまだ20年強、作者とのかわり
はSubさんの名でフェアリーランドに登場して
からですから、わたしにとっては小石広志さん
というよりはSubさんです。
わたしが安南詰を作ったのは18のとき、半
世紀を超えています。でも2009年にいただいた
手紙には「安南詰に憑かれて50年以上」とあり
ますからこの世界でもやはり大先輩ですし、
社会に出てからは将棋も安南詰も生活の片隅
にあったわたしは創作数ではとてもとても
もおよびません。
それでも駄作揃いとはいえ一応安南詰作家
の端くれと自認しているわたしとしては、こ
のノートを本にして世に出すのがわたしの役
割かと心に決め取り組みました。
本にするにはとワープロをたたき始めたの
ですが、読み下しにはそこそこ苦労しました。
最後までわからなかったところもこの第二刷
の発注直前にわかりました。なお、読み下し
に誤りがありましたら、ご容赦ください。
また疑問を感じたところは、できるだけ作
者の気持ちで手を入れていますので、この点
もご容赦ください。
作者とは手紙のやりとりがあっただけで、
なかなか関西に行く機会もなく、ついに一度
もお会いすることができませんでした。
思い出としては、フェアリーランドのなか
の短評でわたしの作品を褒めていただいたこ
とがあり、そのときはうれしかったものです。
短い間でしたが、思い出は尽きません。みな
さまもこの作品集で作者の世界に浸ってくだ
さい。
最後に図面作成、校正その他ご協力いた
だきましたみなさまにお礼申し上げます。
平成28年6月1日
大野 孝

*小西氏は相当な癖字です。右記の大野氏と
同じく手紙の解読は手古摺りました。

あとがき

几帳面に書かれた図面と詰手順そしてコメ
ント。

柴田さんから送られてきたノートを見たとき、
このまま本にしようと思ったほどでした。

わたしのバラ歴はまだ20年強、作者とのかわり
はSubさんの名でフェアリーランドに登場して
からですから、わたしにとっては小石広志さん
というよりはSubさんです。

わたしが安南詰を作ったのは18のとき、半
世紀を超えています。でも2009年にいただいた
手紙には「安南詰に憑かれて50年以上」とあり
ますからこの世界でもやはり大先輩ですし、
社会に出てからは将棋も安南詰も生活の片隅
にあったわたしは創作数ではとてもとても
もおよびません。

それでも駄作揃いとはいえ一応安南詰作家
の端くれと自認しているわたしとしては、こ
のノートを本にして世に出すのがわたしの役
割かと心に決め取り組みました。

本にするにはとワープロをたたき始めたの
ですが、読み下しにはそこそこ苦労しました。
最後までわからなかったところもこの第二刷
の発注直前にわかりました。なお、読み下し
に誤りがありましたら、ご容赦ください。

また疑問を感じたところは、できるだけ作
者の気持ちで手を入れていますので、この点
もご容赦ください。

作者とは手紙のやりとりがあっただけで、
なかなか関西に行く機会もなく、ついに一度
もお会いすることができませんでした。

思い出としては、フェアリーランドのなか
の短評でわたしの作品を褒めていただいたこ
とがあり、そのときはうれしかったものです。
短い間でしたが、思い出は尽きません。みな
さまもこの作品集で作者の世界に浸ってくだ
さい。

最後に図面作成、校正その他ご協力いた
だきましたみなさまにお礼申し上げます。

平成28年6月1日
大野 孝

本編終了

付録1 柴田昭彦氏との私信より

*編者注

- ・小西寛氏から柴田昭彦氏宛ての手紙のほぼ全てを転載しています。
- ・資料としてお預かりしたとはいえ私信です。作者の感想や当時の心情などが読み取れると感じて掲載した旨、ご理解願います。
- ・手紙の作成日付時点での作品情報を記載しています。(未発表、発表済、その後発表など)
- ・亦(また)、儘(まま)、雅しい(おくゆかしい)、謂う(いう)、不拘(かかわらず)、躊躇(ためらって)、稍(やや)、と読んでいます。

【2004(H16)年12月12日】73歳

有難う御座いました。
長い間御迷惑をお掛けしました。
何と62.10が最期ですか…。という20年も経ったと云う事です。
ちょっと寒くなってゆくので、自転車旅行も叶いませんが。大変御面倒でしょうが、11月中にでも電話連絡させて貰って、天下茶屋方面で会うという事で…。
会う場所は南海天下茶屋駅の1階。天牛の古本屋がありますが、そこだと待つのも楽しいし、会うにも便利かと思ひます。いずれ折をみて電話します。宜敷く…。

お便り拝見。早速貴作検討。

5	4	3	2	1	
		銀	王	王	一
		王			二
					三
				歩	四
	飛	桂		角	五

持駒 なし

23桂生 12玉 24角 ②23玉 25飛 33玉 ③35飛まで。

・問題点

- ①31銀は不要?
- ②②の所、11玉は33角成または13角成でO.Kですが変同か?
- ③③最終は何通り詰み方があってもO.Kですが、35飛に代わって、23角成もあり、一寸

問題。一応、没とすべきでしょう。
(御免なさい…)

5	4	3	2	1	
		王	王	王	一
		王			二
					三
				歩	四
	龍	桂		角	五

持駒 桂

安南詰 15手

柴田氏作の検討

作意の方がはっきりしない(実は解らない…)が、初手23桂打で、どうも早詰みたい。23桂打、②22玉、33角成、同歩、13歩成まで。②の所、12玉なら24角、11玉、33角成(両王手)、12玉、11馬まで…か?

一応初手33角成のまぎれ(22歩で不詰か…?)が狙いみたいですが…。作意の方は15手詰とか。どうもネ… 情ない、解りません。

一寸面白い筋を見つけました。

下図は途中図ですが、ここから33角成、同玉、24竜とか、33角成、同玉、23歩成、34玉 以下何かとか…

5	4	3	2	1	
					一
		王			二
					三
		王	角	歩	四
				龍	五

持駒 なし

追伸

拙作下図。既発表作ならば断念せざるを得ない。Sub作で応募したいんですが…。返信お待ちしております。

No.147

5	4	3	2	1	
		王	王	王	一
	と				二
		角	王		三
		龍	王		四
			王		五
			銀		六

持駒 金

安南詰 11手

2005年10月号へ発表
作品集 第39番

No.097(1994/1)
発表済(再投稿)

【2005(H17)年 1 月 7 日】 73歳

明けましてお目出う御座います。

何という事もなく2005年のスタート。今年も安南に明け、安南に暮れそうな感じ。

新年号で登場40回。まあまあのペースでしょう。

此の一年、碁の方が段に近づきつつある、と謂った所。此のもう一歩がなかなか。結構、難しい厳しいハードルです。

ナンバープレースって御存知？(数独とも謂う)。これも結構面白い。作る側に廻れば結構職業として成り立つとか…。もう3年位かな、はまっています。

小説の方も天下茶屋駅に天牛の古本屋があり、楽しんでいます。主にアチラもの。クライヴ・カッスラーで御存知。主人公がダーク・ビット。(可成り昔に”タイタニックを引きあげろ” Raile the Titanic を映画化された。)

原作者のクライヴ・カッスラーは御機嫌斜めだったとか。確かに出来はもう一つだったかな？

〇〇〇・シーモア (〇〇〇が出てこない)。結構有名な作家。此の人の ”一弾で倒せ” は結構読ませる。

〇〇〇・クィネル (〇〇〇が矢張り忘れまして)。これはクリーシーという主人公 (傭兵) が活躍するハード・ボイルド風。確か今度 (昨年かな？) デンゼル・ワシントン主演の映画が出る筈。4～5作ある筈。結構内容は濃い。スウェーデンの警察小説。原作者は二人 (全く名前が出て来ない)。全部で10冊か11冊。時代を追って社会の変遷を見つめつつ、変わってゆく警察機構、社会を見つめた傑作シリーズもの。 ”サボイ・ホテルの殺人” ”テロリスト” ”ロセアンナ” ”バルコニーの男” とか。一番のおすすめるは ”密室”。これは面白い。登場人物の描写も旨いし、個性的である。

詰将棋の方、近作下図。相変らず桂頭玉銀、一辺倒です。これが一番作り易いし解后感も良いんですが…。

よくあきないものだ和我年らあきれています。

＊ジェラルド・シーモア、A.J.クィネル

No.238 小石広志

不詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								将	一
					角	銀			二
							王		三
						銀		桂	四
									五
							歩	銀	六
									七
									八
									九

持駒 飛

安南詰
11手

未発表
2005/1/7

22飛 ①14玉 15銀 13玉 24銀 ②22玉 31角成 14玉 13馬 同桂 15銀まで11手詰。

①同金 15銀 (角成) まで。

①もう一つ13玉は15角成 22玉 24馬 (25馬でもOK)。

②14玉 12飛成 13合 同龍 同桂 15銀で11手詰 合駒余る。

変化も割り切れており、まずまずですが、逆に本手順は力不足でいま一といった所でしょうか。では亦。

＊不詰

①同金 15銀 14金以下不詰。

＊修正案 (大野孝) : 32金⇒成銀

【2005(H17)年 2 月 7 日】 73歳

御便り有難う御座いました。

此方こそ、御無沙汰してしまいました。大変でしたんですね。風邪と謂えば、どうもインフルエンザが亦流行っているとか。香港A、ソレンA、それに何Bか知りませんが、とかとか…。

創作もお互い大変ですね。安南の方も2月の発表局も桂頭銀。もう S u b = 桂頭銀が公式化されそう。堀半七作のパロディも失敗作で、余詰成立。一応登場40回ですが、どこ迄持つものやら。お互い御身御自愛という事で…。

11月号の拙作、型の良さですか。でもそれだけで、どうですかね。まあ素直に好評を受け入れるべきか…迷っています。貴兄の一月も大変でしたでしょう。私の大変はぜいたくな悩みで、1月号 森茂氏作、馬鹿詰 (17手詰)

恐らく、ここ数年で一番時間を費したと思います。で解をキャッチしたのなら兎も角、解けないんです。本当にひどい一月でした。此々数年、フェアリー・コーナーで全問正解があったのか記憶にありません。一応、馬鹿と安南には手出しをするんですが、2月号の森茂氏作、勿論考える気もしません。フェアリーには怪物、化物が多い。正に百鬼夜行の世界です。

近作 もう一つ納得しない儘、一応完成としたんですが、どうですか。

No.167 余詰

5	4	3	2	1	
	科	科			一
濤	王				二
と	王				三
					四
					五
					六
				毎	七

安南詰 9手

2007年7月号へ発表
作品集 番外105番

持駒 飛金桂

54飛 43金 24金 32玉 23桂 42玉 32桂成 同金 44飛まで9手詰。

此の拙作のベースは実は小石時代の下記の作です。

これはまあまあの好作と思います。

作品集の中に登録（オーバー？）してありますが、下図がそれです。

No.028

5	4	3	2	1	
		科	と		一
				濤	二
		と		王	三
	毎				四
					五

安南詰 19手

発表図
1980年2月号
作品集 第40番

持駒 飛桂

34飛 23銀 25桂 12玉 24飛 21玉 13桂生 11玉 21桂成 同玉 23飛成 同桂 32銀 12玉 23と 11玉 24桂 22玉 12桂成まで19手詰。

では亦。

1月中（下旬位かな）に亦電話するなり、自転車で一走りしてお会い出来たら…と思っています。では亦。

【2005(H17)年2月21日】73歳

そうですか。野口氏が危ないって…。時は流れ、本当に貴重な資源（人物）が失われてゆく。将棋世界で大活躍の氏でしたね。最近では中田章道、森信雄とプロが担当している様ですが。3・5手詰が楽しく思い出されます。柴田さんの御心痛、祈りが通ずれば…と思わずにはいられません。超一流の御一人であることは間違いなのですが。上田氏、若島氏、水上氏、山田修司氏、まだまだ沢山おられますが、多作家の一人でしょうか。現在では岡田さんをはじめ、貴兄もそうですね。長谷さんとか服部さんもその圈内に入りつつある人でしょうか。でも野村量さんには本当に驚かされます。月刊誌月一冊ですか、野村氏の名が何ヶ出て来るか、怖ろしい話ですね。同人室（100オーバー）は、まあ名球会みたいなものでしょうか。年5回として20年。恐ろしい数字ですが、岡田敏さんの数字はどうなってるの…と驚くばかり。

*野口益雄氏：2005年4月16日逝去

入選数も凄い話ですが、長谷さんの飛角図式（馬鹿詰）も凄いですね。2月号のは気持ちよく解かせて貰いました。それに比べて拙作のひどい事。応募したのは穴埋めの積り（毎月1作のペース維持）。まさか採用されるとは…と入選採用されたのにぐちゃっています。何か2月号の馬鹿詰3作（④の森茂氏作はお手上げ…）良いですね。

それにつけても（おやつはカールじゃありませんが…？）新年号の森茂氏作17手詰。毎日何回かは考えているから、どうにもならない。答えを早く知りたいもんです。

5	4	3	2	1	
	桂				五
					六
	科				七
	王	王			八
	桂				九

ばか詰 17手

森茂氏作

2005年1月号

*参考掲載

持駒 銀

39銀 49玉 38銀 58玉 47銀 57玉 46銀 66玉 58桂 65玉 57桂 54玉 53桂成 44玉 45銀 55玉 54成桂まで17手詰。

近況といっても、夏・冬と季節の差はあれ、毎日殆ど同じパターンで生活（というより生きて…）しています。朝、モーニング、入浴、10～10:30a.m位から碁のクラブ（無料、6面から7面 将棋2面を含む）で2:00～3:00p.m位まで。暖かければ、自転車旅行？大凡往復2～3時間。ウォークマン（主にマイケルジャクソン）を聴き乍ら、煙草をふかし乍らの散策です。食事は外食が週3～4回、自宅（ねづみ小屋）での調理が3～4回、一日1.5～2食位（1.5て何？）。まあともに食事をしていないという事。

テレビは洋画は一応チェック。N.H.Kが主ですが、日曜は将棋、碁。真夜中（深夜）2:00～4:00a.mのN.H.Kの時間帯はそこそこ見えています。という事は睡眠する時間帯は可成りずれているし。一起一昼寝（夕方寝）一起一夜寝一起一早朝寝…となるんでしょうか。その間にインスタント・コーヒー5～6杯。烏龍茶（可成り高価 私にとって）も吸すに一日分。つまみに干海老とかそれに類したものを4～5種類。これが一日の食生活からみた私の一日です。

趣味となると、結構色々あります。

安南詰、詰碁、碁の手筋、これは碁・将棋関係。古本を月10冊位（全部で¥1500～¥2000迄）。

最近読んだ所では

・ハワード・E・エヴァンズの虫の惑星。

（Life on a little known Planet by Howard Ensign Evans）

・ペリカン文書（映画化された…）

ジョン・グリシャム

（The Pelican Brief by John Grisham）

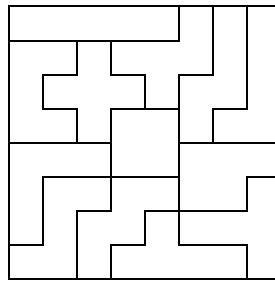
・自壊するアメリカ

赤木昭夫著（ちくま新書326）

この3冊、いづれも面白く読みました。

ナンバー・プレイスで御存知でしょう。（数独という名称でスタートした）結構はまります。もう20年以上前に出た、プラスチック板のお遊び（和名が出てこない…確か清少納言何とか？）。

下図がその一種。



5単位のカドミノ12枚（ $12 \times 5 = 60$ ）と4単位のカドミノで64単位（ 8×8 ）。確か任天堂が何種類か出していました（当時で¥300～¥500位）。最高8単位のカドミノまであったと記憶しています。正3角形の集合体（確か6単位）で難しいのもあったと記憶しています。

プラスチック板はもうどこを探しても売っていませんので、原紙を作って、方眼ノートに記録しています。四角形の置く位置を変えて、結構面白く時間が潰れます。本当、毎日毎日何をやっているのかなー。まあ本当生きているだけ。逆に野口氏その他、沢山の人の人に比べて幸せかも知れません。そうでも思わないと、生きておれません。

暖くなったら亦、堺の方へ自転車でお伺いします。また、お話ししましょう。何か面白い話があれば聴きたいです。安南詰の方も期待しています。5手詰以内の作品（普通作）まとめて応募したくなっています。野村さんの名前、数を数えている中に、ふとそんな山っ気が出て来ます。どうも脳の神経回路が安南化してしまったみたいです。どうにもならない毎日毎日です。

では亦。

【2005(H17)年3月16日】73歳

有難う御座いました。作品の寄せ集め、一応22題。懐かしいと云えたら宜しいんですが…。何と、殆どが記憶にないから驚きです。それと、数巻だけでは詰まないと来るから、どうなってるの？何かひどいものもありますね。思いついた儘…。

5	4	3	2	1
		科		
			皇	王
	香	馬		

持駒 飛桂

11飛 22玉 14桂 11玉 33馬 12玉 22馬まで
7手詰。

当時は11飛スタートがまずまずと思ったのか
な…？ これを下地に作ったのが近代将棋
(小石広志作)の右図です。

5	4	3	2	1
	留	科		
				銀
			皇	王
		馬		

持駒 飛桂歩

14歩 ①12玉 13歩成 同玉 11飛 22玉 14桂
11玉 33馬 12玉 22馬まで11手詰。

①22玉 44馬 33銀 34桂 32玉 22飛 同銀 21
銀生 同玉 22馬まで 同手数駒余り。

14歩以下、銀を消去して作意に入る訳ですが
…。一寸自慢は14歩に対する22玉以下の変化。
…最期の21銀捨てが気に入ってます。
変化全手数駒余りでO. K？

5	4	3	2	1
			王	
	歩			

持駒 飛飛金

41飛 31銀 同飛成 同玉 33飛 32歩 42金 22
玉 32金 12玉 13歩 11玉 12銀まで13手詰。

発表当時余詰指摘は無かったと記憶していま
す。本作のオリジナルは二上(当時？段か…)の
さんの週刊誌(これも定かでない)の一作と
記憶しています。氏のものより数段上と自負
しているだけに…。(余詰があるのかな？)

普通詰 7手

小石広志氏作
手順記載なし

普通詰 11手 ⑫

小石広志氏作
手順記載なし

普通詰 13手 ⑭

小石広志氏作
手順記載なし

大体、ひどい内容のものが多すぎますネ。そ
れと結構手数も長い。当時それ程、詰棋に熱
中出来る時間があつたのかな。同時進行で安
南詰も数作ものになっているのですが、手許に
は何も残っていないし、多分、将棋部の同僚
何人かと、つつきあって作ったみたい。

内藤啓二氏(国雄チャンの兄さん)が主将で、
角一枚違う棋力が6人。計7人で関西のリーグ
戦を戦い(何校か?)、優勝すると関東(当時
は東大が圧勝時代)へ…。関西では京大と同
志社が強かったみたい。私はどうも皆の足を
引っ張る方だったみたい。

昭和27年～29年。思えば半世紀以上昔。もっ
としっかり腰を据えてやっていたら…と思い
ます。

此の50年は一口で云い盡せない50年でした。
柴田さんにも御迷惑をお掛けしましたし、恥
づかしい思いもしました。まあ此の年にな
ると、何とまあ厚かましく生きているものと思
っています。Subなんてペンネームで胡麻
かして。まあ許して呉れる人もいて欲しい。
一応50回はクリア出来そう(現在41かな)。
1年5～6作として后50作となると84～5才。信
じられない年ですが、何か生きているかも知
れません。柴田さんも無茶をせずに生きてく
ださい。

話は戻りますが、長田富美男で近代将棋に
発表した局数も判然としません。10局以上あ
るかと思います。小石広志では2局の筈なん
ですが、何故か先程の⑫の改良作が入選3回
になっているんです。どうも判らぬ事が多
すぎます。生活が乱れている証拠かな…。

短篇の傑作を何か物したい。少なくとも
小・中学校へ応募出来る程度。安南詰はさ
ておいて、森田正司氏の春霞21番でしたか？
あれ位のが出来たらと思います。酒井氏
のも凄いのがありましたね。氏はどうな
ったのですか。天才は短命なのかな。柏川
さんの短篇も良いのがありますね。記憶
に残る傑作。柴田さんの何作かあるん
でしょうが…。現在進行中だと良いん
ですが、どうも安南の脳は解凍し
ようにもどうにもならないみたいです。

ヨチヨチルーム級からスタートするのも一法

ですが、それすら出来ないから困ってます。

安南の処女作というか、近将の読者会議？に発表した10作余り。それ以前に作ったものは記憶にないし、記録も無いので。次のがそれです。

*記憶違い。

別図になっていますので採番しています。

No.239 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								将	一
								王	二
						と		王	三
								王	四
				角					五
									六
									七
									八
									九

持駒 角銀

22角成 同玉 ㊦11角 34玉 44角成 23玉 32銀 13玉 22馬 同玉 23銀生まで11手詰。

角の打ち換えだけですが、桂頭玉頭銀の悪夢の始まりです。10作の中にはひどいものもありました。

*余詰 ㊦23銀まで。

修正案(佐藤達也): 持駒銀⇒42銀

No.240 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇飛馬	一
									二
								王	三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

26桂 15玉 27銀 14玉 16銀 13玉 25銀 12玉 13銀生 21玉 14桂 32玉 21銀生まで13手詰。

なんか今から思えば稚拙そのものか。

No.011

5	4	3	2	1	
				将	一
			王	王	二
			王	王	三
					四
					五
			歩		六

安南詰 13手

発表作

1968年10月号

作品集 第37番

持駒 角金銀桂

22金 同金 24桂 同歩 23銀 11玉 22銀成 同玉 23金 14玉 37角 25歩 24金まで13手詰。

その中で自信まんまんの一局。本当に安南にのめりこんだのも此の一局誕生がきっかけみたいです。

当分、安南と暮らすしか無いみたいです。では亦。

【2005(H17)年4月11日】73歳

去年、中之島を周遊と謂うんでしょうか、花見がてら自転車で西から東へ向けて御堂筋から今里筋になるんでしょうか…。今年も此の8日(金)9日(土)、ちょっと暑い位の陽気の中、走ってきました。8日(金)、源八橋(私の感想としては此の橋から西へ河面に映る桜が一番美しい)から南へ折れる迄、西から東へ約30分位でしょうか。

9日(土)は谷町筋を北上して大阪城周辺(凄い人出でした)をチャリンコで流しました。規模としては日本一でも無いんでしょうが、テレビ中継の空撮とかを見ると、本当素晴らしい景観です。古人が詞い、舞い、現代人が場所とりにも王堯するのも解ります。

*王堯は大仰/往生の意図かな。

扱て、近将創刊号から平成6年迄、凄い半世紀ですね。好みもあるんでしょうが、殆ど作品を解いた事のない拙があえて、多作家の中から選び出したのは酒井克彦さんがトップですかね。2位が難しい。北川邦男でどうでしょう。3位以下は、大井美好、谷口均、といった所ででしょうか。柴田さんも32局ですか。凄いですね。昭29〜からまだ進行中。永いですね。私の場合は話しにならない数と内容です。で、安南詰一直線と云う事です。

詰棋界、旧詰バラ発表局を振り返って、本当に殆ど記憶に無いのにも驚いています。記憶とは何だろう。心に残るものが無ければ忘れるんですかね。安南となるとオーバーですが全局記憶出ています。但しSubになってからの発表局に自信がないのは、これは亦何でしょう。というも理解に苦しみます。小石時代の安南詰は本当に集中力があつたのかも知れません。

記憶となると、最近昔の映画の主演男優、女優の名前が出て来なくて困ってます。現在通っている碁会所には、そういった多趣味は一人もおられません。文庫本、一冊読むでなく、詰碁に関心も示さない。手筋の本を読んでいるときも軽蔑した眼付が私の周りですぐずみしている。私の囲碁の棋力は師範（一応元プロの中村某）の判定では1〜2級。対局中も終了後に何ヶ所か指摘を受けます。指導碁の途中の変化なども確かにプロですね。結構20〜30冊の碁の本を何度も読み返し、勉強中ですが、どうですか仲々身につかないものです。

映画の話ですが、興味がある無しに不拘、話を進めます。20才〜30才台、結構洋画にはまり込んでいました。私は夜型で、睡眠は朝3〜4時から明け方の9時、モーニングを経て10時にはパチンコへ。勝てば官軍で夕方から映画館。夜食を（これは唯一の食事）済ませて帰宅が一日のコース（ずっと続けた訳ではありませんが、そんな破天荒な時期もありました）。大和郡山時代は40代〜50代まで。50代から現在迄は無茶苦茶（職種は20位ある）…。

で映画となると、やはり“ローマの休日”が、まあ大衆の推す所、一位でしょうか。グレゴリー・ペック（何とまあカッコ良い新聞記者）、オードリー・ヘップバーン（本当に眼をみはる美しさ。始めて街へ出て髪をカットしたあの光り輝く顔）。“恐怖の報酬”之れも名作ですね。ペリー・コモ（歌わぬ歌手）、B.G.Mの無い映画でした。最期に成功して帰る主人公を待ってダンス・パーティーが開かれる。そこで始めて音楽が流れる。そして主人公が車にて転落。何ともフランス映画らしい作品です。

こんな流れ。ジャン・ギャバンの“望郷”主人公のベベル・モコの死。とか”現ナマに手を出すな”でプールに紙くずの様に浮ぶ巨額の紙幣。アランドロン、ジャンギャバン共演の名作です。

アメリカ映画となると、沢山ありすぎて難しい。“荒野の決斗”バード・ランカスター主演の名作です。“シェーン”も良かった。アランラッドそして悪役のジャック・パランス。最近では“プライベート・ライアン” 始め時30分近くの戦闘シーンのリアルな事。アメリカ映画ならではの金の掛け様です。好きなスターとなると、もう沢山いて枚挙のいとまも無い位。チャールズ・ブロンソン、ロナルド・コールマン、ハンフリー・ボガード、“アフリカの女王”でドラク役にぴったり、共演のおすまし役、美女ならぬ美女キャサリン・ヘップバーン。もう一度観たい名作です。ジャック・レモンとウォルター・マッソーのコンビも本当にセリフをしゃべっているかと疑う程の息の合い様です。共演作には快心作が多い名コンビです。

ダンス・ショーというか、ショー・ダンスと云うんでしょうか、ジーン・ケリーの“雨に唄えば” あの雨中の踊るシーンは圧巻です。題名は忘れましたが、アポロ？号が月世界に到着。アーム・ストロングの靴の裏が月面にくっきりと残っている。実はあれは某（多分CIAという設定）地でセットで撮影された。そこから主人公たちが脱走。慌てたアメリカ国防省が殺し屋を派遣。ストーリーとしても最高ですし、アメリカだから許される題材でしょう。まさに他の国では作れない。日本ですらどうかなと思う位の内容です。アメリカの政策、その他色々と問題の多い国ですが、映画産業で見る限り、世界の頂点にいる事は確かです。

“スターウォーズ”3部作、“ペリカン文書”、“ターミネーター”3部作、まだまだありそうですが。では亦。

本当に暖かくなりました。中之島の花見が4月2日・3日、凄い人出。国内・外問題山積なんてどこ吹く風。人生を謳歌（表面上かな？）し乍ら結構、各人各様の世界で生きている。日本は平和なんです。借金が何だ！ 中国や北朝鮮がどうした。少年犯罪、そりゃこれだけ人がいるんだ。悪い奴ほど良く眠ると云う事。あんだ、そんなに皆に遠慮して（遠慮している格好だけかも…？）、そんなママチャリ…でウロウロして、それって楽しいの。あっ俺の事は構わんでくれ。俺は俺流なんだ。俺流にやってると皆がついて来るんだよ。見ろ、今年も優勝するぞ。まあ、阪神さんは頑張ってるケドね。何せ岡田君だからね（Hさんと恐いんだけど…）。堀内さんも厳しいね。俺が俺が…とばかり巨人4番バッターの揃い踏み。お見事借金地獄。まるで道路公団、湯水の如く金を使って答えは破産。誰か助けて…。小泉さんは答えを出さない。ワンパターンの答辨。攻める民主党は人物がおりません。怪物の小沢さんも打つ手なし。武部の馬鹿幹事長を据えて、竹中のスカタン財政。案外小泉さんこそ眞の怪物かも。（田中角栄も真っ青！）まあ漫談は此れ位にして…。此の頃、寄る年波、人は死ぬのは定石ですから致し方ないとして、分らんと云うのは良いですね。人類が進歩して来た（進歩といえない部分も結構あるんですが、それはまあおいといて…）原因の一つ。つらつら思ひみるに、この人の死が分らん事が大きく寄与していると愚考!? “生きる”という志村喬の名作がありました。人は何の為に生きるのか。思うに、生を受けた途端に、人生という切符を神か誰かから与えられ、厭応なしにルールを走らざるを得ない。そしてお迎えが来る迄、苦しみ、歎き、怖れ、恨み。本当に人生とは何か…。何千年もの間、何千人の哲人が疑問を自分に問いかけ、或る者は面壁三年、或る者は石の上…、或る者は滝に打たれ、そして断食までして答えを見つけようとした。答えは無いんでしょう？ 万巻の哲学書、小説、そして音楽に、絵画に、彫刻に、正解を探した。ありゃしないんですね…。

思うに、“生きる”という難しさ。拙の場合、“生きる”というのはどうも難しい。“生きてる”というのが本音です。で、生きている限り“安南詰”と云う事です。“ワーン”泣けてくるね。で、今日も明日も安南作りに精を出している僕ちゃんなんです。人生山あり谷あり。どころか、人生は山なんてありませんね。まあ谷ばっかりと思うのはひがみ根性でしょうか。

お借りした詰将棋等、目下寫本中。塚田作だけでも凄い量。もう1週間以上掛かってます。北村研一氏の檜襖をはじめ、ひもどいてみると、中々のものです。川崎弘氏の努力も大変だったと思います。応援出来るものなら…(そんな能力の無いのが悲しい)。言ってみただけ！(じゃ言うナ…御免なさい)

今月も安南一局。

もう狭い世界の中でヒソソリと生きていこう
 と思ってます。連休中位にまたお邪魔したい
 ですね。(5月に入ってからでしょうが)
 また不定期に連絡します。では亦。

No.151 余詰

5 4 3 2 1

					星		
			角				
			步				
				王	歩		
					歩		
				歩			

持駒 金金銀

安南詰 7手

2006年5月号～発表

35金 14玉 13金 同香 23銀 同歩 25金まで
7手詰。

【2005(H17)年10月20日】 74歳

大分涼くなりました。毎日別に何という事もなく…、碁を打ったり、三桂に顔出ししたり、時々パチンコとか…。古本（¥100～¥200位）に月に5～6冊。最近ではスティーヴン・キングのStand by meをまたまた購入して読み返したり…。安南詰めも、ちょっと疲れてきたのかな。小石広志作とダブって困っています…。ということです。

貴作

5	4	3	2	1
			星	
		歩	香	角
		桂		王
			歩	

持駒 飛角金銀

13飛、同玉、35角まではO.Kなのですが、どうも24銀合で25歩の守備力が強く、打開の方法が無い。此の銀合利用の新作などどうでしょう。(一寸難カシイかも…)

ドミノ詰。簡単なのはいくらでも出来るんですが、12作まとまるとなると、何かテーマが必要かな。手数とか、詰上りの玉の位置とか…。下図は13手詰ですが…。

No.155

5	4	3	2	1
			王	
			王	
		銀	王	

持駒 金金金桂

安南詰 13手

2006年10月号へ発表

此の形

23金 同金 12金 同玉 22金 同金 24桂 13玉 25銀 12玉 14銀 11玉 23銀成まで13手詰。

安南詰もかしこ詰ですから、塚田流的発想で妙手が1つでも許容範囲。後は捌けるか、捌けなくても不快感を与えない…。或いは思い切って長篇にしてしまう…どうも参考書が無いのはどうにもなりませんかね。では亦。

*ドミノ詰：2×3とか3×4といった配置の作品、の記憶です。

一応、小石時代のシンプルなのを送ります。テスト用にどうぞ。

10月中にもう一回お伺い…するかも？

No.040

5	4	3	2	1
			王	星
		と	王	
		銀	歩	歩

持駒 飛飛

安南詰 5手

発表作
1981年11月号

②23飛 同銀 12飛 同銀 23とまで5手詰。

紛れ②先に12飛だと同玉に32飛(王手ではない)が打てない。

No.057

5	4	3	2	1
			王	
		王		飛
		歩		

持駒 金銀桂

安南詰 5手

発表作
1984年8月号
作品集 第7番妹

11金 同歩 22銀 12玉 24桂まで5手詰。

No.241 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					龍	王	王	
					王			
					歩			
					歩			

持駒 角銀

安南詰
5手

未発表
2005/10/20

33角 同歩 22龍 同玉 23銀まで5手詰。

これは簡単でしたか…

No.062

5	4	3	2	1
		角		銀
			王	
			角	
			歩	

持駒 飛飛

安南詰 5手

発表作
1985年2月号

23飛 14玉 13飛打 同銀引 24飛成まで5手詰。

No.045

5	4	3	2	1
				皇
		毎		王
		香		
	毎		飛	香

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第17番

持駒 金銀

21飛成 13玉 12金 同香 22龍 同歩 24銀まで7手詰。

二歩禁応用。安南頻発の筋。

No.046

5	4	3	2	1
			皇	皇
	銀		王	
			馬	皇
		馬		香

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第9番

持駒 飛飛銀

32飛 同歩 12馬 同香 24飛 同歩 23銀まで7手詰。

序から終までユルミなし。自画自賛。

No.056

5	4	3	2	1
			王	
		毎		飛
		皇		

安南詰 7手

発表作

1984年5月号

作品集 第7番

持駒 角金銀

11金 同香 13角 12玉 14銀 同角 22角成まで7手詰。

これも頻出の手筋。

No.061改

7	6	5	4	3
			酒	
	王			
	飛		毎	

安南詰 7手

発表作

1985年2月号

作品集 第11番

の改作図(中央寄せ)

持駒 金銀桂

53銀 51玉 61金 同角 62飛成 同金 63桂まで7手詰。

まずまずの出来。

まだまだありますが一応挑戦してみてください。

No.242 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王		
			角					

安南詰

13手

未発表

2005/10/20

*関連図

No.021・029

持駒 金金金香

43金 同玉 44金 52玉 54金 51玉 52角成 同玉 53香 51玉 52金 41玉 42香成まで13手詰。

No.035

5	4	3	2	1
			皇	
	香		角	
	桂		王	
		酒	香	香

安南詰 11手

発表作

1981年6月号

作品集 第35番

持駒 銀銀

32銀 同玉 31桂成 23玉 32銀 12玉 ㊦11角成 同玉 22成桂 同玉 31銀生まで11手詰。

まぎれ㊦21成桂と動けない。(銀の性能)

5 4 3 2 1

安南詰 11手

1989年8月号

作品集 第26番

25桂 14玉 23銀 同角 26金 13玉 35金 14玉

13桂成 同香 25金まで11手詰。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰

7手

未発表

2005/10/20

* 関連図

No.160

持駒 角

19銀 同玉 37桂 18玉 28馬 同玉 38角まで

7 手詰。

5 4 3 2 1

安南詰 11手

2007年5月号～発表

持駒 角

17角 16玉 28角 27玉 16角 28玉 38角 39玉

48歩 28玉 37桂まで11手詰。

【2006(H18)年1月10日】 74歳

No.1

新年あけましておめでとう。常套句が何か空
ろな感じの年明けですね。雪、雪、雪、4 m
近い雪の壁。お手上げですね、これは…。

2006年は2005年の流れの儘に、問題山積。それも殆んど解決不可能な、誰が、何処の国が、どう処理するのか。そして何か答えが出

でも、それは正解でもなく誤答とも断じ切れない。良識家ぶった発言はあっても、発言だけで実行するには予算がない。人智に欠けている…。日本の将来なんて考えたくもなくなる程、地球規模の変革はもうどの方向へ進むのか。答えは無い大問題が山積。中国の暴走、インドの急成長、それに伴う世界経済のひずみ。エネルギー問題。書いている中に主題は何か解らなくなります。要は…と結べない。まさにカオスの世界です。蝶々が飛べばアメリカで新型のトリインフルエンザが大流行。恐ろしい空想ですが、本当、一寸先は闇です。ね。

将棋世界2月号。マイクロコスモスを角建逸氏が詳細に解説。すごいストーリーですね。詰作家の何十人かは意欲を失わせる内容です。馬鹿詰の加藤徹氏の図面も、図面だけ出てました。此の人たちは宇宙人でしょう。柴田さんも私も人間でいられるから（失礼！）、ま、幸せというべきか。

新年の将棋、碁ともにひどい出来。来年N.H.Kも大きく変らないと、紅白なんかもう終わりにすべきでしょう。シルクロードを中心とした映像で勝負して欲しい。そうすれば受信料も気持ち良く払えるというもんです。

今年は世界レベルの野球とサッカーの年。野球の方はともかく、サッカーはもし予選を通り抜けるとすると、これはもうラッキーの一語です。レヴェル的には日本は10何位とか、嘘でしょう。中田、サントス級はもう時代おくれ。高さとスピードと如何に体力で負けないか、この三つ。どれも日本はレヴェル以下。でも意外性では野球の次がサッカーだと思うので、ひょっとしたら…。まあ、無い方が確率は高そう。個人的には、1勝1負1分位。勝点4で残れない！残念、が私の予想。

安南詰。旧作 5、7、9 手で 50 局位、11 手
 以上で 50 局位と 2 冊にまとめ中。秀作とな
 ると 10 局位かな。普通作もヨチヨチ級に挑戦
 したいがどうも手筋ものしか思い浮かばない。
 一層の事、馬鹿詰の方は…これも中々雅しい
 世界ですね。

一応旧作の中で形の広いのを紹介します。
紹介済みで重複するかも知れませんが…

No.046

5	4	3	2	1
			飛	星
	銀		王	
			飛	星
		馬		歩

持駒 飛飛銀

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第9番

32飛 同歩 12馬 同香 24飛 同歩 23銀まで
7手詰。

No.083

5	4	3	2	1
			飛	王
		飛		
		飛		
			飛	王
		王		

持駒 銀桂

安南詰 9手

発表作

1991年2月号

作品集 第55番

24桂 22玉 12桂成 14玉 13成桂 24玉 35銀
33玉 34銀まで9手詰。

No.082

5	4	3	2	1
	王		飛	星
	銀	と		王
	馬		飛	星
	馬			
			歩	

持駒 飛飛桂

安南詰 9手

発表作

1990年11月号

作品集 第4番

23飛 同角 12飛 同角 23と 31玉 22と 同角
23桂まで9手詰。

*中略

10日以后に連絡させて貰います。どうも走る
には寒い連日の日和ですね。御身体大切に。
賀状、有難う御座いました。
良い年にしたいですね、お互い…。では亦。

*後略

No.2

どうも長い間お会いしていないので。一応電
話連絡はしたのですが、留守番電話とぶつか
って…。一月はどうも寒さと体調（悪い訳は
無い!?!）。一日中、同じ事のリフレインと云う
訳で…。一応、将棋世界だけ送らせて貰いま
す。

田宮さんから二度便りが届いているんです
が、例の新安南で馴じめず、返事に躊躇ってま
す。何れ、何等かの連絡はとらねば申し訳な
いんですが…。

安南の方もぼちぼちです。柴田さん、どうで
す。結構作図の方、雅しい世界でしょ。検討
の方も大変ですし、私自身も何か作風（とい
う程でもありませんが…）が変われるものな
ら変りたいが、思うにまかせません。

思う様にいかない。まあ此の世の常。それに
しても2006年に入っても、よくもまあ次から
次へとビッグニュースがテレビ、新聞で報ぜ
られてます。世界の動きも落ち着く先が見え
ないし、国内ではI.Tの方も、偽装問題も、大
雪による被害とか…。更には此の前マグニ…3
から4位いのが起きているし。まあ明日は我
が身かと、ある程度は開き直りの日々です。
一応安南の旧作、送ります。入玉型です。

No.074

5	4	3	2	1
			銀	
		歩		
		王		
		桂	香	

持駒 銀

安南ばか詰 11手

発表作

1987年7月号

作品集 第100番

17銀 27玉 16銀 26玉 27銀 46玉 38銀 35玉
36歩 26玉 37桂まで11手詰。

1七銀からのスタートで気に入ってます。
銀の動きより玉の逃げ方が味噌。

No.075

5	4	3	2	1
			香	
	角			玉
			王	
	歩	香		歩
	馬			

持駒 飛飛

17角 16玉 15飛 27玉 28飛 37玉 26角 同桂
17飛 27香 同飛寄 同角成 38香 同桂成 27
飛 同成桂 47角まで17手詰。

結構難解

角捨て…香合…詰上り。一応会心の作です。

2月号の詰バラ。拙作登場に期待。では亦。

【2006(H18)年2月6日】74歳

相いも変わらず寒い日が続きます。一応毎日とは行きませんが、D.V.Dを借りるとか、何か取って用を作っては走っています。観るのは洋画ばかりですが、結構金を喰うので、他の費用（主に食費ですが…）を押さえるしか無い様です。で、それ以外、金のかからぬ詰棋（勿論安南ですが…）の作図とか、野球とか。それとナン・ブレの解いたのをもう一度消去して、改めて解く（鉛筆で書いたものを消しゴムで消すという事）。結構何十冊もあるので（一冊で50題以上…）、一日があっという間です。どうも冬場はテレビを余り観なくなって、D.V.D以外は時々N.H.Kの深夜（0:00～3:00a.m）番組を観る位。お蔭で生活のリズムが昼寝型になっています。

2月号 馬鹿詰 神無太郎氏、旨いの一言。7手詰というヒントが、作品を解き易くしているのは致し方ないとしても、何か詰手数以外のヒントで、馬鹿詰へ挑戦！という別法が欲しいですね。持駒4枚で7手だとどうしても解けてしまう。残念ですね。少なくとも9手以内は詰手数表示なしで、（何手以内）とかのヒントでは駄目ですかね。どうも詰上り玉の位置とか、何かありそうに思うんですが…？

5	4	3	2	1
			香	
		香	玉	
		王		
	馬			

持駒 飛飛角角

ばか詰 7手

神無太郎氏作

2008年2月号

*参考掲載

29飛 同玉 19飛 同と 38角 18玉 27角打
まで7手詰。

百人一局集とか…三百人ですか。三百人なら長田富美男は入れるかな？ もう少し、せめて近将、詰バラあわせて20局位は入選していたら、多少大きな顔も出来るんですが…。小石広志では一度死んでいますから、×ですし。

表紙作（詰バラ）登場、柴田さんがトップですね。実にタイミング良く採用されたもんですね。人間ツキが無いと運に見放される、と謂う事ですか。

2月中、中旬位、暖かいでも来れば電話連絡します。守口の凸ちかんクラブも多少魅力を感じますが、亦の機会に（亦があればの話しですが…）。

20年位まえ、旭区（大宮町）辺で仕事をしていました。今はどうなっているのか。大工大近くのアパートで何とか生きていた時です。都島の藤崎黒板K.Kで何年か…。人生いろいろ。今は本当に生きているだけの毎日です。

安南 新作2題と旧作をいくつか。

分り易い筋ものですので手数の割りには…と思います。

No.159

5	4	3	2	1
		銀	玉	
	歩		王	
		玉		

持駒 角桂桂

安南詰 15手

2007年3月号へ発表

24桂 13玉 25角 12玉 43角成 ①11玉 12桂
成 同玉 22銀成 同玉 14桂 同玉 24歩成 同
玉 25馬まで15手詰。

①13玉 25馬 12玉 22銀成以下早詰。変化の少ない一本道ですが、一応捌けるので…。

No.155

5	4	3	2	1
			王	
				王
		銀	王	

安南詰 13手

2006年10月号へ発表

持駒 金金金桂

23金 同金 12金 同玉 22金 同金 24桂 13玉 25銀 12玉 14銀 11玉 23銀成まで13手詰。

これも一本道。最后 成、不成いずれもOKで、これも減点か。

15手以上は数が少ないのですが、19手、21手は発表済。23手は詰バラへ小石広志で応募したのですが、採用はされていない筈。3作ともまづまづの出来と自負しているのですが…。

No.030

5	4	3	2	1
			銀	王
		銀	王	
		飛		
			歩	

安南詰 19手

発表作

1980年6月号

作品集 第44番

持駒 歩

34飛 22玉 32銀行成 23玉 33成銀 22玉 32銀成 12玉 13成銀 同玉 14歩 23玉 33成銀 22玉 35飛 21玉 32成銀 12玉 15飛まで19手詰。

結構玉の逃げ方が難しい。

No.047

5	4	3	2	1
	と		王	王
	馬			
		王	王	
	馬		王	

安南詰 21手

発表作

1982年6月号

作品集 第22番

持駒 銀桂

25桂 22玉 44馬 33桂 31銀 21玉 33桂生 12玉 24桂 ①13玉 22銀生 同玉 21桂成 同玉 32桂成 同玉 42角 21玉 31角成 12玉 22馬まで21手詰。

①同歩は34馬以下早い。

9手目24桂が成立して本作成立。良型が救い。

No.225

5	4	3	2	1
	王		王	王
王		王		王
	銀			
	角		王	王
王				
	王	歩		

安南詰 23手

作品集発表

作品集 第52番

持駒 桂3歩2

22歩 31玉 23桂 21玉 11桂成 同玉 21歩成 同玉 23香 31玉 22香成 同桂 23桂 42玉 53角成 33玉 45桂 23玉 33桂成 同歩 24歩 15玉 26馬まで23手詰。

こんだけの長手数だが導入部と終盤とのバランスがどうか。作図当時は天下を取った様な気がして、今はなつかしい思い出です。

*中略

ナンバー・プレイス。外にも何種類の型があり、結構苦しみられ楽しめます。時間がどんどん過ぎていって、一日が終わります。生きている事は苦しいよりも楽しい方がgoodなのは判りきった事。詰棋を知らない人、詰碁を知らない人、チェスを知らない人、オセロ（これは私も判りませんので残念！）の何たるかも判らぬ人。世の中不幸な人が多い。テロリストに安南詰を教えたら、テロをやめてくれるかも?! ビン・ラディンさんと文通出来るものなら…（アホな話）。少くとも俺達は日本の官僚達よりは羨んで馬鹿である事は間違いない。（何を書いているのか判らなくなって）では亦。

【2006(H18)年2月17日】74歳

5	4	3	2	1
		香	星	と
				銀
銀	角	桂	王	香

安南詰 7手

柴田氏作の検討

持駒 銀歩

34角成 32玉 ㊤22と 同桂 33歩 同飛 21銀
まで7手 ですか。

㊤22銀打は同桂で逃れているみたい。
多分完全と思います。

9	8	7	6	5	4	3
		香	星	と	銀	
						歩
銀	角	桂	王			

安南詰 ?手

柴田氏作の検討

持駒 飛銀歩

不詰と思います。

初手43飛が絶対。同玉でoutと思います。

上記2作が、多分御指摘の安南局と思います。

此の御便りの時は、弘光弘氏の御名前がありました
が、作品を見た記憶がありますが、もう一つ印象が薄い
(弘光弘氏に失礼!?)。

安南詰。今の所、中段玉か入玉図に挑戦中ですが、結構難しい。

300人か400人か一局集、楽しみです、と金4枚の拙作。ちょっと冗長な感じといって、他に候補作も有る訳も無し。一局一握り詰(金二銀二桂二香二歩二)が、どっか脳の端っこの方にあります。もう一度お借りしている作品等を再見して返事します。(部屋の中を整理中。どこかにある筈…。次便にでも…)ではお。

安南 新作1題、旧作すこし。

解は省きます(割合簡単ですので…)。

*手紙では

No.148

5	4	3	2	1
			桂	
	香	王		
	飛			
	飛			
		香	香	

安南詰 9手

2006年4月号へ発表
作品集 番外102番

持駒 角桂

23角 31玉 22桂 同玉 32角成 34玉 23馬 43玉 32馬まで9手詰。

詰上り同型。

No.078

5	4	3	2	1
		馬	桂	香
				王
		香	香	
				飛

安南詰 11手

発表作
1989年8月号
作品集 第26番

持駒 金銀桂

25桂 14玉 23銀 同角 26金 13玉 35金 14玉 13桂成 同香 25金まで11手詰。

得意のパターン。最終は金一枚の攻駒。

No.011

5	4	3	2	1
			桂	
		香		王
		香	香	香
		歩		

安南詰 13手

発表作
1968年10月号
作品集 第37番

持駒 角金銀桂

22金 同金 24桂 同歩 23銀 11玉 22銀成 同玉 23金 14玉 37角 25歩 24金まで13手詰。

遙か昔に俺は天才!と思った。今思えば何ともハヤ。

将棋世界2月号。附録に小林敏樹氏の短篇集。仲々の内容です。天才ですネ。今年の付録は楽しみです。

亦々電話します。20日前～25日位の間に…。例のパチンコ、5回で打上げ。¥25,600-でした。それから西成で2回挑戦。約¥20,000-の出費。

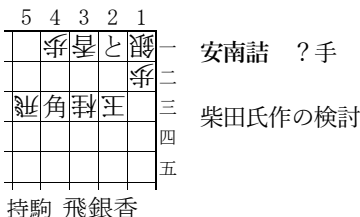
ダメですね。

*後略

【2006(H18)年4月11日】74歳

もう四月ですね。堺市も政令・・・市になったとか。昔の堺を知る私からみれば、本当隔世の感があります。1940年頃は10万そこそこだったんですから…。電話番号も覚えています。42番（勿論壁かけで手廻し呼び出しです…）。2桁でO.Kなんて信じられる!?

扱て、貴作安南詰（下図）



安南詰 ?手

柴田氏作の検討

推敲不足。初手22と捨て余（早）詰みたい。再検討をどうぞ。

新作（安南詰）

No.244 小石広志



安南詰
9手

未発表
2006/4/11

43銀 同金 44桂 31玉 22角成 42玉 31馬 同玉 32金まで9手詰。

新作の方もボチボチ。稍っと4月号2作登場。詰上り元の型になるという指摘も無いので、解説の方どうかと思うんですが。載ったからまあ良いが…。

将棋世界。相変わらず5手〜7手詰に好作が多い。どうも短手数に関してはプロの方が数段上の感じ。

順位戦最終決着。先崎でも落ちるんだからB1も恐い所。名人戦どうでしょう。どうも森内防衛の様な気がするんですが…。

（4-1か4-2位）

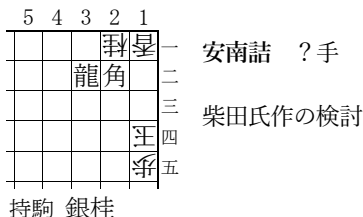
暖くなりました。4月20日以后にでもお会い出来たらと思います。では亦。

*後略

【2006(H18)年10月18日】75歳

16日はどうも…。

早速ですが、貴作下図簡単なダメです。



安南詰 ?手

柴田氏作の検討

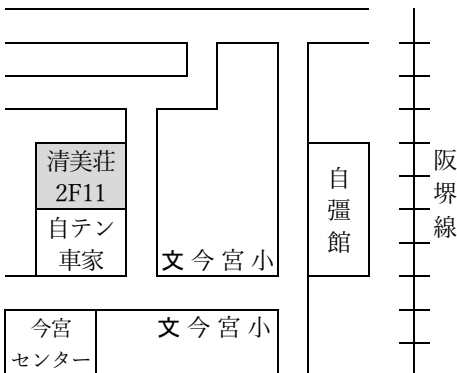
初手 34竜 24歩下 26桂 15玉 27銀 14玉 16銀まで。

何かをおくのももう一つ。15歩を香にする手もあります…。どうも、もう一つ。

創作は難しいんです。本当…。

どうも。詰パラ長田富美男で一握り詰（金二、銀二、桂二、香二、歩二…）。もし図面が合れば、次回にでも紹介して下さい。

我が家の地図。もう一回念押し…。



No.018

手紙No.01

5	4	3	2	1
	銀	科	星	一
		王		二
	歩	歩	歩	三
			馬	四
				五

持駒 飛

安南詰 5手

発表作

1970年1月号

作品集 第5番

①23飛 ②31玉 22飛成 同玉 23馬まで5手詰。

①22飛では以下31玉 23馬 42玉 以下不詰。

②同歩は22銀成以下駒余り。

No.025

手紙No.04

5	4	3	2	1
		王	飛	四
				五
	科			六
				七
				八
			王	九
		龍	桂	

持駒 なし

安南詰 11手

発表作

1979年10月号

作品集 第15番

14飛 16歩合 同飛 27玉 17飛 26玉 16歩 25玉 35龍 同玉 26歩まで11手詰。

敢えて謂うなら…飛び歩詰。

No.046

手紙No.02

5	4	3	2	1
		科	星	一
	銀	王		二
		歩	銀	三
		馬	歩	四
				五

持駒 飛飛銀

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第9番

32飛 同歩 12馬 ①同香 24飛 同歩 23銀まで7手詰。

①同馬では23銀の一発。

No.057

手紙No.05

5	4	3	2	1
			王	一
		馬		二
		歩		三
				四
				五

持駒 金銀桂

安南詰 5手

発表作

1984年8月号

作品集 第7番妹

11金 同歩 22銀 12玉 24桂まで5手詰。

No.056

手紙No.06

5	4	3	2	1
			王	一
		馬		二
		星		三
				四
				五

持駒 角金銀

安南詰 7手

発表作

1984年5月号

作品集 第7番

11金 同香 13角 12玉 14銀 同角 22角成まで7手詰。

姉妹局だが可成り味が違うので…。

No.024

手紙No.03

5	4	3	2	1
			星	一
			王	二
		王	歩	三
			歩	四
				五

持駒 角金桂

安南詰 9手

発表作

1979年10月号

作品集 第33番

24桂 13玉 31角 ①22桂合 25金 同桂 12桂成 24玉 42角成まで9手詰。

①桂合以外は12桂成捨て早詰。12桂合の意は23歩が桂に化けて35の地点に効きが生じ…。

*2004年11月に手作り版作品集は完成済。
2006年時点での30作は抜粋になります。
104ページ文末の文言と併せて最終完成版の候補作と思わせる内容です。

No.070

手紙No.07

5	4	3	2	1
		角	王	一
		銀		二
				三
		歩	歩	四
				五

持駒 飛銀

安南詰 9手

発表作

1986年12月号

作品集 第21番

22飛 13玉 23飛成 同玉 35銀 12玉 22角成

同馬 23歩成まで9手詰。

あっさり系。

No.066

手紙No.08

6	5	4	3	2	1
皇	爵		科		一
			王		二
		帝			三
		歩			四
					五

安南詰 11手

発表作

1985年9月号

作品集 第6番

持駒 飛角銀

22飛 31玉 53角 ①42飛合 同角成 同銀 51

飛 ②同銀 32銀 22玉 23銀生まで11手詰。

①絶対の合。23への効きが生じる。

②41飛合が出来れば…???

No.040

手紙No.09

5	4	3	2	1	
			香	桂	一
					二
		弓		玉	三
		銀	歩	歩	四
					五

安南詰 5手

発表作

1981年11月号

持駒 飛飛

①23飛 同銀 12飛 同銀 23とまで5手詰。

①手順前後は効かない。

No.061改

手紙No.10

7	6	5	4	3	
			銀		一
金		王			二
	飛		角		三
					四
					五

安南詰 7手

発表作

1985年2月号

作品集 第11番

の改作図(中央寄せ)

持駒 金銀桂

53銀 51玉 61金 同角 62飛成 同金 63桂
まで7手詰。

No.080

手紙No.11

5	4	3	2	1	
		角	桂	香	一
				玉	二
		歩	歩		三
					四
					五

安南詰 9手

発表作

1990年5月号

作品集 第24番

持駒 金金金金

13金 同桂 22角成 同桂 13金 同玉 24金 同
玉 ①35金まで9手詰。

①33歩が最終の35金を成立させる。

No.078

手紙No.12

5	4	3	2	1	
					一
		角	桂	香	二
				玉	三
		歩	歩		四
				歩	五

安南詰 11手

発表作

1989年8月号

作品集 第26番

持駒 金銀桂

25桂 14玉 23銀 同角 26金 13玉 35金 14玉
13桂成 同香 25金まで11手詰。

全体を一段ずらす事で成立。

No.017改

手紙No.13

5	4	3	2	1	
			桂		一
				玉	二
				帝	三
			香		四
					五

安南詰 5手

発表作

1970年1月号改

作品集 第1番

持駒 金銀

11金 同玉 22香成 同玉 23銀まで5手詰。

素朴な基本型。小駒一式へのコダワリもある。

No.045

手紙No.14

5	4	3	2	1	
				香	一
		角		玉	二
		歩			三
	角		飛	歩	四
					五

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第17番

持駒 金銀

21飛成 13玉 12金 同香 22龍 同歩 24銀
まで7手詰。

二歩禁は作図し易い命題。

No.022

手紙No.15

5	4	3	2	1
			飛	
		龍	王	
	馬		歩	
			香	

安南詰 9手

発表作
1979年10月号
作品集 第14番

持駒 飛金銀

13金 ①同玉 24銀 ②12玉 32飛 11玉 22飛
成 同玉 13銀成まで9手詰。

- ①同桂は24飛以下。
②14玉は13飛以下。
45角の置駒が心残り。

No.035

手紙No.16

5	4	3	2	1
			飛	
	歩		角	
	桂		王	
	龍	歩	歩	

安南詰 11手

発表作
1981年6月号
作品集 第35番

持駒 銀銀

32銀 同玉 31桂成 23玉 32銀 12玉 ①11角
成 同玉 22成桂 同玉 31銀生まで11手詰。

- ①21銀成では23玉で不詰。
21成桂と指せないのが安南。

No.127

手紙No.17

5	4	3	2	1
			飛	星
	歩			
		王	龍	
馬	歩	歩		

安南詰 5手

発表作
2003年3月号
作品集 第90番

持駒 金金

32金 同金 22龍 同金 32金まで5手詰。
2度の32金が味。

No.101

手紙No.18

5	4	3	2	1
			飛	
		飛		歩
			角	王
			歩	王

安南詰 7手

発表作
1999年9月号
作品集 第58番

持駒 金金金

22金 同玉 13金 同桂 33金 同玉 34角成
まで7手詰。

No.139

手紙No.19

5	4	3	2	1
			飛	星
				王
			馬	
			歩	歩

安南詰 9手

発表作
2004年11月号
作品集 第95番

持駒 角金銀

13銀 同玉 31角 22銀合 12金 同角 22角成
同玉 23銀まで9手詰。

絶対手順だが、何か惹かれませんか。

No.112

手紙No.20

5	4	3	2	1
				王
		飛	飛	

安南詰 11手

発表作
2001年1月号
作品集 第20番

持駒 金4銀

21金 同玉 22金 同玉 33金 11玉 21金 同桂
22金 同玉 23銀まで11手詰。

詰上りはやはり桂頭玉頭銀。

No.082

手紙No.21

5	4	3	2	1
	歩		飛	星
	銀と		王	
	馬		歩	歩
	馬			
			歩	

安南詰 9手

発表作
1990年11月号
作品集 第4番

持駒 飛飛桂

23飛 同角 12飛 同角 23と 31玉 22と 同角
23桂まで9手詰。

No. 9がベース。 (*手紙No.09)

No.013

手紙No.22

5	4	3	2	1
		料		
			皇	
龍				
	歩	王	角	
銀		桂	香	

安南詰 11手

発表作
1969年5月号
作品集 第30番

持駒 なし

16龍 同玉 28角 27玉 16角 28玉 38角 39玉
48歩 28玉 37桂まで11手詰。

配駒? (こんな無いかな?) が旨く仕上った。

No.011

手紙No.23

5	4	3	2	1
			料	
		王	王	
		帝	帝	帝
		歩		

安南詰 13手

発表作
1968年10月号
作品集 第37番

持駒 角金銀桂

22金 同金 24桂 同歩 23銀 11玉 22銀成 同玉
23金 14玉 37角 25歩 24金まで13手詰。

此れ以外の良型は望めない。

No.086

手紙No.24

5	4	3	2	1
			馬	
香				
	王	歩		
		桂	香	

安南詰 17手

発表作
1991年7月号
作品集 第8番

持駒 金金金

37馬 39玉 49金 同玉 59金 39玉 ①48馬 28玉
37馬 39玉 38金 29玉 28金 19玉 27金
18玉 28馬まで17手詰。

48馬の廻り道が入って、評価が上がった？

No.028

手紙No.25

5	4	3	2	1
		料	と	
			王	
		と	王	
	毎			

一 安南詰 19手
二
三 発表作
四 1980年2月号
五 作品集 第40番

持駒 飛桂

34飛 23銀上 25桂 12玉 24飛 21玉 13桂生
11玉 21桂成 同玉 23飛成 同桂 32銀 12玉
23と 11玉 24桂 22玉 12桂成まで19手詰。

少ない駒数と4×4枠で旨くまとまった。

No.047

手紙No.26

5	4	3	2	1
	と		料	皇
		毎		
			帝	王
		馬	帝	

一 安南詰 21手
二
三 発表作
四 1982年6月号
五 作品集 第22番

持駒 銀桂

25桂 22玉 44馬 33桂跳 31銀 21玉 33桂生
12玉 ①24桂 13玉 22銀生 同玉 21桂成 同玉
32桂成 同玉 42角 21玉 31角成 12玉 22馬
まで21手詰。

①に対し取ると34馬以下で駒余り。
仕上りで41と置き去りがチョッピリ残念。

No.142改

手紙No.27

5	4	3	2	1
		銀	料	皇
		銀	王	銀
				銀

一 安南詰 15手
二
三 発表作
四 2005年3月号
五 改作図

持駒 歩歩歩

24銀右成 12玉 13歩 同桂 23成銀 同桂 13歩
同玉 14歩 12玉 22銀引成 14玉 24銀成
同玉 25銀まで15手詰。

発表時は図面が違ったが、解説者その他解答者から10人もの余詰誤指摘があった。ちょっと嬉しい様な悲しい様な…。

No.111

手紙No.28

5	4	3	2	1
			料	
			料	
	と	馬	王	

持駒 角銀銀

16銀 同桂 26馬 同桂跳 33角 25玉 24角成
36玉 46馬 25玉 34銀 15玉 24馬 同玉 25銀
まで15手詰。

序だけ。5手目以下は安南詰の定石？

No.117

手紙No.29

5	4	3	2	1
	王		料	銀
	料			
			香	
	桂	角		
	と		歩	
		香		

持駒 桂

53桂 同桂 52角成 31玉 53馬 42金 43桂 41
玉 52桂成 32玉 31桂成 33玉 32成桂 同金
22銀生 同金 43成桂 34玉 26馬まで19手詰。

9手目からV o l u m eをあげる。

No.110

手紙No.30

7	6	5	4	3
		馬		
		王		

持駒 金金金

58金 49玉 48金 39玉 47金 28玉 38金 同玉
48馬 28玉 38金 17玉 27金打 18玉 28金引
19玉 29金 同玉 39馬 18玉 28馬まで21手詰。

【2006(H18)年10月30日】75歳

相当、過し易くなりました。とは謂うものの、
例年よりは可成り高い気温みたい。此の所、
自転車でコロガリまくってます。週に3回は堺
市内へ入ってます。コースは東寄りのアビコ
道からの南下。金岡あたりまで、北三国丘か
らのターンで。もう一つは東の方へ近畿自動
車道を越えてターンする。いずれも2.00～
2.30分位。

貴作。これは旨くまとまったみたいですね。
下図の様に思い切って位置を変える手もあり
そう。但し、角は成角になりますね。詰上り
55玉はどうでしょう。

7 6 5 4 3

	香	星	と	香
				香
銀	馬	料	王	

持駒 飛銀香

36飛 同歩 57馬 55玉 45と 同桂 ④56香 同
飛 44銀まで9手詰。

*余詰 ④46銀 同飛 56香まで

拙作の方、一寸強引なので気がひけるんです
が…。

No.170

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								と
		香						
	香		料					
		王						
			飛	香				
香								

持駒 角金

67金 76玉 88飛 67玉 13角 56桂合 57角成
59玉 89飛まで9手詰。

No.245 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									星
									一
									二
						酒			三
					銀				四
				角	王				五
									六
									七
				銀					八
									九

持駒 金桂

26金 14玉 ②27桂 25玉 15桂 14玉 23桂成
同歩 13銀成 同香 25金 16玉 26金 17玉 27
金まで15手詰。

どちらも、もう一つキレが足りない感じ。

*余詰

①13銀成 同香 25桂 同歩 同金 16玉 26金
17玉 27金まで。

天候も良いし、まだまだ当分走ります。1日2
～3時間位はね…。では亦。11月上旬にお伺い
します。

【2007(H19)年11月1日】76歳

11月号、頂戴致しました。どうも解答能力が
落ちて来たのか？ 小学校までが精一杯とい
う現状です。

大正、昭和初期の一流（でない人もいます
が…）どころ、消息不明とは悲しいですね。
何か人事で無い気持です。古い人はともかく、
稲富豊、西田尚史、河内繁夫、岸本雅美、な
どなど吃驚です。市川靖雄、不明。何故か此
の人の作品を苦勞して解いた記憶が残ってい
ます。

本当に平成もあっという間に19年。それも
残り60日。拙にとっては良くも悪くもまあ
あの一年でした。長田富美夫で復活はちょっ
と欲張りだが、まあ、詰パラもお付き合いし
て貰いましょう。

稍っと涼しくなってきました。自転車です
ものコースを走ったり、密室の中では旧作を
ゴソゴソいじくったり、例のナンバープレイ
スにいんどんだり。他にも何やかやと忙しい毎

余詰

安南詰

15手

未発表

2006/10/30

日ですが、まあ毎日毎日がワンパターン。そ
れも良いかもしれません。

いやー驚きました。柴田さんも元気ですね。
天牛の古本をあさりつつ、新刊の将棋世界は
まだだなあ。オヤ、近将の12月号がもう出て
るぞ。まあちょっと立読み…。何と貴方の作
品が解説。更に新題が載っている。結構大好
評ですし、難しそうです。やりますね。お目
出度うと謂うべきか？ 登場回数も凄いです
ね。いや本当驚いています。

中日が3勝1敗。どうも日ハムはペースをつか
めずに終わりそうですね。中日のメンバーも
福留が抜けると、飛車落みたいですが、日ハ
ムは五番以下が2軍のオンパレードですし、札
幌に戻れたとしても厳しいですね。落合は好
きにはなりませんが、まあセ・リーグの中で
は矢張り抜きん出た監督ですね。日ハムのヒ
ルマンですか、アメリカと契約して悠々とベン
チで指揮している。誰も批判も非難もしない
のにも驚いてます。

最期に発表はしない積りの安南詰を紹介して
…。

また、十日までに天気と相談して電話させて
戴きます。

では亦。

No.178 原図

7	6	5	4	3	
					三
					四
	歩	王			五
	飛				六
					七

持駒 角

安南詰 3手

2009年1月号へ発表

左右反転図

*原図は短評通り K II

67角 65玉 45角まで3手詰。

【2009(H21)年2月20日】77歳

長い間、御無沙汰でした。風邪ですか。小生
も2月は殆ど風邪との闘いでした。煙草も原因
でしょうが、喉と咳で苦しめられました。稍
っと治まった感じですが、一応食后薬の服用
を続けている有様です。

1月、2月と安南で結構アッピール出来たので

で、安南詣の方へ…。

持駒 金桂

2010年2月号へ発表
作品集 番外107番

21飛成 13玉 12金 23玉 22金 同角 33金 同桂 35桂まで9手詰。

まだ十分には検討していませんが多分OK…。

持駒 角桂桂

②4桂 13玉 12桂成 14玉 37角 25と 13成
桂 同桂 26桂まで9手詰。

こちらも9手詰。1九龍は必要みたい。
(24桂 18玉 37角 27金合…以下)

②4桂 同銀 23角 13玉 25桂 同銀右 14角
成 22玉 23馬まで。

③4桂 17玉 39角 28金 同角 18玉 27桂 29
玉 39金まで。など…

永い間、返事も出来ずに申し訳もありません。
例の「400人一局集」草稿をもう一度柴田さん
に送って確認を頂いてから、と思ったのです
が、柴田さんの印刷を参考に何とかものにし
たので、其の儘送付します。写真はパスしま
した。(例の御写真の件で、3枚程撮ったので
すが、余りにも小さいので…)

十月、何回か御電話したのですが何故か通じなくて、十一月、十二月に入ってからと思っているうちに、どうもインフルエンザにやられたかなと医者に診て貰い、たんなる風邪ということでほっとしたんですが、一向に症状に変わらないので参っています。幸い熱が全く出ないタイプでそうひどくは無いんですが、どうしても外出も臆くうになってしまいました。ということで、今年はもうこの儘正月へ直行。来年、暖かい日が来て何とかお会い出来ればと思っています。来年、何日がO.Kか新年号のパラダイスで御連絡頂ければ。(電話番号もファックス番号ともども恐れ入りますが再確認ということで…)

幼稚園担当の酒井さんから3通も長田作について丁重な検討を頂いて、驚きました。どうも普通作の創作力（安南の故でしょうか？）可成りダウンしてしまったみたい。まあ、これにこりないで応募する積りですが…。では良いお年を。

長い間御会いしていません。電話も無し。どうも十二月、一月と何という事も無く（はないんですが…）過ぎてしまったみたい。毎日何をしているのかワン・パターンになりつつあります。自転車旅行？もぐんと減る一方です。此頃殆ど一日一食か二食。体重が55kgを前後しています。

長田富美夫作が酒井さんからの検討で全滅み
たい。

1月応募しましたが、本当に腐っています。
安南の方は、どうも馬鹿の方へ重力が傾きつ
つあります。貴兄が御指摘の様に、普通の安
南詰、何か新路線（といっても、すぐには思
い付かない…）を見付けないと…。

100回記念作なんてとてもとても。野球の名選
手の科白じゃ無いが通過点と謂う事になりそ
うです。

何かありましたら、2月号の詰バラの中で御
連絡をお願いします。

安南の新作2題送ります。

2月には暖かい日を見付けて電話します。

では亦。

No.201

5	4	3	2	1	
		将	将	皇	一
		馬	留	王	二
		卒	卒		三
					四
					五
					六
				卒	七

安南詰 13手

2010年7月号へ発表
作品集 番外108番

持駒 金金金金

13金 同玉 24金 同歩 14金 12玉 13金打 同
桂 22馬 同桂 13角 14桂 22角成まで13手詰。

後半は例の頻出の手筋です。伏線は小石広志
当時の下記の作品です。まあ我田引水的で
が価値から謂えば、小石≫S u bですネ。

No.080

5	4	3	2	1	
		角	将	皇	一
				王	二
		卒	卒		三
					四
					五

安南詰 9手

発表作
1990年5月号
作品集 第24番

持駒 金金金金

13金 同桂 22角成 同桂 13金 同玉 24金 同
玉 35金まで9手詰。

No.247 小石広志

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							将		一
									二
							卒		三
						卒		王	四
							桂		五
						歩	留		六
									七
									八
									九

持駒 角桂

④13桂成 同桂 37角 25馬 26桂まで5手詰。

これは一寸簡単すぎたかな。

まあ最近はこの程度が稍つとです。

*余詰

④13桂成 25玉 16角(17桂) 24玉 14成桂まで

④13桂成 24玉 46角(以遠) 35馬 37桂まで

どうも再検討すると、長田もS u bも2/3は没
です。大変ですね、創作も。最近漸く気付い
て来た、と謂う訳。

【2011(H23)年3月18日】80歳

長い間お会いしていませんので、連絡の意味
と無事を伝えたいのでお便りしました。

東北大震災、驚きです。原子炉、或る程度予
測された事ですし、此れに関しては呆れては
いるものの、想定内の事だと思います。もう
余生も後僅かだろうし、此れからの日本どう
なるか関心ありません。

まあ、そんな事より、ぼつぼつと長田富美
夫もS u bも顔を出しているので御安心の程
を…。

パチンコの方はどうですか。小生の方はど
うも不調です。一円パチンコでも収入減は馬
鹿になりません。最近は一円パチンコから離
れています。

三桂クラブ(新世界の将棋クラブ)には週
一回位で詰将棋が載るんですが、久し振りに
好作を拝見したので紹介します。今月中に電
話させて貰うかも。(判りませんが…)

5	4	3	2	1	
			香	香	一
		桂	玉		二
		歩	歩		三
龍		と			四
					五

持駒 香

25香 24金 32歩成 12玉 23と 同金 14龍 同金 22と 13玉 23とまで11手詰。

変化も割り切れている。誰の作でしょう？

p.s.

花見の頃には中之島まで走っていきます。まだまだ体力には自信があります。柴田さんも無理せず、御自愛下さい。東北の方、何人かは会員が減った事でしょう。

では亦。

【2011(H23)年12月12日】80歳

No.1

御返事遅れて申し訳ありません。

12月号、またまた神無一族に踏み荒らされた感じ。柴田さんも412回とはすごいですね。まあ、岡田敏さんは抜けそうも無い。

田宮氏の訃報。11月に純子夫人から御一報を戴きました。まあ、お付き合いは無く、御返事もしていませんが。老兵は消えていきますね。小生もやがて仲間入りする訳ですが…。

貴作安南。初手44金以下どうも詰むと思いますが、何かとんでも無い間違いかも知れませんが。本当、最近解図力が極端に落ちた様で不安感があって…。

という事で、最近見掛けた同じ手数13手詰。2作紹介させていただきます。中々の作だと思います。

では亦。

5	4	3	2	1	
	皇			王	一
		金		角	二
	歩			歩	三
			馬		四
					五

持駒 金銀桂桂

普通詰 11手

作者不明
手順記載なし

22銀 同金 21金 同金 33馬 22金上 23桂 12玉 24桂 21玉 32桂成 同金 11馬まで13手詰。

5	4	3	2	1	
		変	王	角	一
		科			二
					三
					四
				桂	五
				香	六

持駒 飛金

普通詰 13手

作者不明
手順記載なし

22角成 同玉 23飛 12玉 11金 同玉 13飛成 21玉 11龍 同玉 23桂成 21玉 12香成まで13手詰。

*田宮克哉氏：2011年9月逝去

No.2

疑問に思った事。四百人一局集、若島正さんが抜けていますね。ファン投票だと恐らくベスト・スリーに入ると思うんですが…。

私のファンも一人おりました。昔々に気張り、ファン投票で小石広志を指名して下さった人がいました。全一人局だったかも…。とにかく嬉しい限りです。

安南創作まっしぐら。外に何も見えません。パチンコはどうも出費ばかり。1/2円パチンコを1度やりまして、箱4杯の玉で¥1500-。何ともハヤ…。此亦パチンコ依存症かも知れませんが。煙草もやめられないし、本当身心をさらしている毎日です。

寒かったり、暖かったり、大阪はゴミの街。良く生きていられるのが不思議です。

柴田さん。無理せず、ひたすら御自愛の程を。では亦。

*柴田氏との手紙は以上です。

付録2 大野孝氏との私信より

*編者注

- ・小西寛氏から大野孝氏宛ての手紙にも柴田氏と同様に、自作の安南詰が15作添えられていました。
- ・柴田氏とは年数が前後しています。

【2009(H21)年8月27日】78歳

安南詰め、楽しく拝見。駒数の少なさ、構図の美しさに驚かされます。最近、大野さんの安南詰を誌上で見ないので、寂しく思っていました。小生は、もう安南しかより処がありませんので、逃げ道も無いんですが…。

S u bで10年近く、安南馬鹿でお茶を濁したりして、何とか頑張ってます。何年まで続けられるか神のみぞ知る、と謂ったところですよ。

小石広志時代の作品（50局位かな？）整理して、一応自分なりにまあまあ平均点かなと思えるのを送らせて戴きます。何せ、参考書のない勉強でしたから、こんなんでも良いのかと自問自答し乍らの日々でした。

御笑覧下さい。

No.046

手紙No.01

5	4	3	2	1
			科	皇
		銀		王
			馬	皇
		馬		皇

安南詰 7手

発表作

1982年4月号

作品集 第9番

持駒 飛飛銀

32飛 同歩 12馬 同香 24飛 同歩 23銀まで7手詰。

No.024

手紙No.02

5	4	3	2	1
				皇
				王
		科	皇	
			皇	

安南詰 9手

発表作

1979年10月号

作品集 第33番

持駒 角金桂

24桂 13玉 31角 22桂合 25金 同桂 12桂成 24玉 42角成まで9手詰。

No.119改 余詰 手紙No.03

5	4	3	2	1
			科	皇
				王
			飛	
			歩	

安南詰 9手

発表作

2001年11月号

*元図の受方44角脱落の誤記。

持駒 金金金金

①14金 同銀 25金 同銀 23金 12玉 13金打 同桂 14飛まで9手詰。

②25金 12玉 13金 同桂 22金 同桂 13金。

No.223

手紙No.04

5	4	3	2	1
		角	科	皇
				王
			皇	
		皇		
			皇	
			歩	

安南詰 9手

作品集発表作

作品集 第27番

持駒 金金金

13金 同桂 22金 同桂 同角成 14玉 13金 同香 27桂まで9手詰。

No.080

手紙No.05

5	4	3	2	1
		角	科	皇
				王
		皇	皇	

安南詰 9手

発表作

1990年5月号

作品集 第24番

持駒 金金金金

13金 同桂 22角成 同桂 13金 同玉 24金 同玉 35金まで9手詰。

No.083

手紙No.06

5	4	3	2	1
			科	一
		科	王	二
		飛		三
				四
			香	五
			銀	六
		え		七

持駒 銀桂

24桂 22玉 12桂成 14玉 13成桂 24玉 35銀
33玉 34銀まで9手詰。

No.025

手紙No.07

5	4	3	2	1
		科	飛	四
				五
	科			六
				七
				八
			王	九
		龍	桂	

持駒 なし

14飛 16歩合 同飛 27玉 17飛 26玉 16歩 25
玉 35龍 同玉 26歩まで11手詰。

No.037 余詰

手紙No.08

5	4	3	2	1
			科	星
		飛		二
		香	龍	三
		飛		四
				五
		毎		六

持駒 角

35角 24金合 同角 14玉 13角成 同玉 12金
同銀 22飛成 同玉 24飛まで11手詰。

No.066

手紙No.09

6	5	4	3	2	1
星	龍		科		一
			王		二
		香			三
		歩			四
					五

持駒 飛角銀

安南詰

発表作

1985年9月号

作品集 第6番

22飛 31玉 53角 42飛合 同角成 同銀 51飛
同銀 32銀 22玉 23銀生まで11手詰。

No.078

手紙No.10

5	4	3	2	1
				一
		毎	科	星
				王
		香	香	四
				五
			香	

持駒 金銀桂

25桂 14玉 23銀 同角 26金 13玉 35金 14玉
13桂成 同香 25金まで11手詰。

No.011

手紙No.11

5	4	3	2	1
			科	一
		香		王
		香	香	三
				四
				五
		歩		六

持駒 角金銀桂

22金 同金 24桂 同歩 23銀 11玉 22銀成 同
玉 23金 14玉 37角 25歩 24金まで13手詰。

No.075

手紙No.12

5	4	3	2	1
			香	三
	角		科	四
			王	五
	歩	香	歩	六
				七
				八
	毎			九

持駒 飛飛

17角 16玉 15飛 27玉 28飛 37玉 26角 同桂
17飛 27香 同飛寄 同角成 38香 同桂成 27
飛 同成桂 47角まで17手詰。

手紙No.13

5	4	3	2	1
		桂		
			銀	
		と	玉	
	角			

安南詰 19手

发表作

1980年2月号

作品集 第40番

持駒 飛桂

34飛 23銀上 25桂 12玉 24飛 21玉 13桂生
11玉 21桂成 同玉 23飛成 同桂 32銀 12玉
23と 11玉 24桂 22玉 12桂成まで19手詰。

手紙No.14

5	4	3	2	1
			銀	皇
		銀		王
		飛		
			歩	

安南詰 19手

发表作

1980年6月号

作品集 第44番

持駒歩

34飛 22玉 32銀行成 23玉 33成銀 22玉 32
銀成 12玉 13成銀 同玉 14歩 23玉 33成銀
22玉 35飛 21玉 32成銀 12玉 15飛まで19手
詰。

手紙No.15

5	4	3	2	1
	マ		桂香	
		角		
			歩玉	
		馬	歩	

安南詰 21手

发表作

1982年6月号

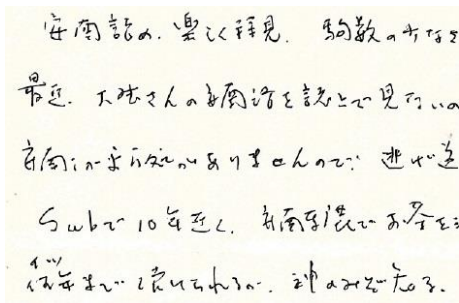
作品集 第22番

持駒 銀桂

25桂 22玉 44馬 33桂跳 31銀 21玉 33桂生
12玉 24桂 13玉 22銀生 同玉 21桂成 同玉
32桂成 同玉 42角 21玉 31角成 12玉 22馬
まで21手詰。

何やかやで安南語に憑かれて50年以上。空白もありましたが、何とか今迄来ました。語パ
ラある限り、続いて欲しい語物ですし、何と
か長手数とか出来たらな…とも思ってます。
では亦…。

*大野氏との手紙は以上です。



おまけ

参考図 小西 寛

[illegible]

普通詰
11千

旧王将
1949年12月号

持駒 金香

○七三歩成●同桂○九三角成●同玉○九四香
●八三玉○八四金●八二玉○九三金●八一玉
○九二金 迄11手詰。

【解説】

八二の角、七四の歩、この中どれを取られても拙い形です。となると、初手〇七三歩成は易いのでせう。そして〇九三角成と〇九四香の妙着を発見出来れば解決です。

●八三玉で九四同玉は○八四金迄。

*普通詰将棋の初入選作（18歳）。

作品集作品一覧表（刊行版）

図欄は作品集の図で、自：本人による変更 修：大野氏による修正図 余：掲載図の余詰

作品	発表	発表年月	名前	No	図	備考	作品	発表	発表年月	名前	No	図	備考
1	近将	1970(S45)01	小石	017	自	(039)	56	百番	2016(H28)06	小石	226		
2	近将	1968(S43)06	小石	003	自	071,211	57	百番	2016(H28)06	小石	227	余	修正
3	バラ	1979(S54)10	小石	023			58	バラ	1999(H11)09	S u b	101		
4	バラ	1990(H02)11	小石	082			59	バラ	1999(H11)10	S u b	102		
5	近将	1970(S45)01	小石	018		(041)	60	百番	2016(H28)06	小石	228		
6	バラ	1985(S60)09	小石	066			61	バラ	2000(H12)02	S u b	103		
7	バラ	1984(S59)05	小石	056			62	バラ	2000(H12)10	S u b	108		
7妹	バラ	1984(S59)08	小石	057			63	バラ	2000(H12)10	S u b	109		
8	バラ	1991(H03)07	小石	086			64	バラ	2001(H13)10	S u b	117		
9	バラ	1982(S57)04	小石	046		Best3	65	バラ	2003(H15)10	S u b	131		
10	バラ	1985(S60)01	小石	060	自	119	66	バラ	2002(H14)03	S u b	124		
11	バラ	1985(S60)02	小石	061			67	百番	2016(H28)06	小石	229	余	修正
12	棋界	1955(S30)01	長田	001		(007)	68	百番	2016(H28)06	小石	230		
13	バラ	1980(S55)06	小石	029	自	021,048,242	69	バラ	2000(H12)09	S u b	107		
14	バラ	1979(S54)10	小石	022			70	バラ	2000(H12)11	S u b	111		
15	バラ	1979(S54)10	小石	025			71	バラ	2000(H12)10	S u b	110		
16	近将	1968(S43)06	小石	005		100,126	72	百番	2016(H28)06	小石	231	修	余詰再修正
17	バラ	1982(S57)04	小石	045			73	バラ	2001(H13)08	S u b	115		
18	バラ	1980(S55)12	小石	031		(054)	74	バラ	2001(H13)10	S u b	116		
19	近将	1969(S44)05	小石	014	余	修正	75	バラ	2006(H18)04	S u b	149	修	2手長
20	バラ	2001(H13)01	S u b	112			76	バラ	2001(H13)08	S u b	114		
21	バラ	1986(S61)12	小石	070		163	77	百番	2016(H28)06	小石	232		
22	バラ	1982(S57)06	小石	047			78	百番	2016(H28)06	小石	233		
23	バラ	1985(S60)02	小石	064			79	バラ	2001(H13)11	S u b	120		
24	バラ	1990(H02)05	小石	080			80	バラ	2001(H13)11	S u b	118	自	
25	バラ	1993(H05)10	小石	095			81	バラ	2001(H13)11	S u b	123		
26	バラ	1989(H01)08	小石	078			82	バラ	2002(H14)10	S u b	126		100
27	百番	2016(H28)06	小石	223			83	百番	2016(H28)06	小石	234		
28	バラ	1983(S58)11	小石	051			84	バラ	2001(H13)11	S u b	121		
29	バラ	1983(S58)11	小石	052	自	修正、177	85	百番	2016(H28)06	小石	235	余	修正
30	近将	1969(S44)05	小石	013		164	86	バラ	2002(H14)09	S u b	125		
31	バラ	1991(H03)07	小石	085			87	バラ	2003(H15)10	S u b	130		
32	近将	1968(S43)06	小石	004			88	百番	2016(H28)06	小石	236	余	修正
33	バラ	1979(S54)10	小石	024		Best1	89	バラ	2003(H15)10	S u b	129		
34	バラ	1980(S55)02	小石	026		(053)	90	バラ	2003(H15)03	S u b	127		
35	バラ	1981(S56)06	小石	035			91	バラ	2004(H16)03	S u b	133		
36	バラ	1981(S56)06	小石	038			92	バラ	2004(H16)10	S u b	138		
37	近将	1968(S43)10	小石	011			93	バラ	2004(H16)09	S u b	136		
38	バラ	1981(S56)06	小石	037	余	修正	94	バラ	2004(H16)08	S u b	135		
39	バラ	1994(H06)01	小石	097		(147)	95	バラ	2004(H16)11	S u b	139		
40	バラ	1980(S55)02	小石	028		Best2	96	バラ	2005(H17)01	S u b	140		
41	バラ	1992(H04)12	小石	092	余	修正	97	バラ	2004(H16)10	S u b	137	余	修正
42	百番	2016(H28)06	小石	224			98	バラ	1987(S62)04	小石	073	自	
43	近将	1968(S43)10	小石	010	修	余詰再修正	99	バラ	2005(H17)09	S u b	146		
44	バラ	1980(S55)06	小石	030			100	バラ	1987(S62)07	小石	074		
45	バラ	1981(S56)06	小石	034			101	バラ	2005(H17)04	S u b	143		
46	バラ	2001(H13)04	S u b	113	自		102	バラ	2006(H18)04	S u b	148		
47	バラ	1991(H03)07	小石	084			103	バラ	2006(H18)05	S u b	153		
48	バラ	1992(H04)12	小石	093	余	修正	104	バラ	2006(H18)09	S u b	154		
49	バラ	1992(H04)06	小石	090			105	バラ	2007(H19)07	S u b	167	余	修正
50	バラ	1991(H03)07	小石	088			106	バラ	2008(H20)10	S u b	174	余	修正
51	バラ	1987(S62)08	小石	075			107	バラ	2010(H22)02	S u b	197		
52	百番	2016(H28)06	小石	225			108	バラ	2010(H22)07	S u b	201		
53	バラ	1993(H05)03	小石	094			109	バラ	2011(H23)10	S u b	217		
54	バラ	1981(S56)06	小石	036			110	バラ	2012(H24)03	S u b	219		
55	バラ	1991(H03)02	小石	083			111	バラ	2013(H25)10	S u b	222		

作品集作品の不完全作は、不満はありますが全作修正案を提示しています。

編集後記

改めて見返してみると、作者の好きな作品や、好きな筋が見えてきます。また、氏は創作図や掲載誌を残さず（見返さず）、記憶だけで作品を発表し続けていたようです。同一作や同作品も多いですが、安南詰の第一人者として苦手な人への啓蒙作も欠かさず発表され、安南詰を定着させてきた大きな功績が否定されるものではありません。

編者の初入選はパラ未入会だった頃、近代将棋の読者欄に掲載された安南詰。その後ほどなくパラに入会しましたが、そこには安南詰作家の「すごい人」がいました。若かった私は食い入るように氏の作品を解き、並べました。1980年頃の話です。今になり多くの安南作品を知ることになりましたが、創生期からのご活躍で才能が一步も二歩も抜きん出ていることがよく分かります。私にとっても「バイブル」そのものです。

詰将棋パラダイス400号の付録で「全国新進詰将棋作家名鑑」に編者は掲載されました。その中で好きな作家の欄に小石広志氏の名前を書かせて頂きました。柴田氏の手紙の最終文にある昔々の「ファン一人」はそのことだと信じています。覚えていて頂いて、こちらこそ嬉しく思っている次第です。

柴田様には貴重な手紙のご提供を頂き、ありがとうございます。氏の数少ない作品の感想を目にすることができました。封筒の消印と中身がすべてでしたが、多少中の手紙が別の封筒に入っているのではないかなと思わせる箇所もありましたが、調べる術はありませんのでそのまま記載しました。（柴田氏⇒大野氏⇒私の手元に来た経緯）

また手紙には省略箇所がありますが、すべてナンバープレースの問題を割愛させて頂きました。その中で少しだけ…。

【2006(H18)年1月10日】74歳

ナンバープレース

（興味が無いでしょうが、ひょっとして好奇心がわくかも）

・レンガナンプレ

命名は兎も角、中々味のあるナンバープレースです。

例題

4				
	1	5		
			2	
		6		4
	3		5	
2				1

①縦、横ともに1～6まで1つずつ入る。

②2枠（長方形）の中は必ず奇数と偶数の組合せとなる。

解答

4	6	1	5	2	3
6	1	5	4	3	2
5	4	3	2	1	6
3	2	6	1	4	5
1	3	2	6	5	4
2	5	4	3	6	1

此の問題は1～8と可成り難度が高い。

	6				5
2				1	8
5		6		8	7
			7	4	
		8		4	
	4		8		7
		1			7
3	2				1

＊解省略

最後に、

転記しただけですが、過去のパラを廃棄した私には、資料提供などが無ければ何もできませんでした。

私の興味本位でスタートした本編に対して、ご協力を賜りました方々に厚く御礼申し上げます。

編者 佐藤 達也

作者紹介

小西 寛 (こにしひろし)

生年月日 1931(S06)年8月25日
没 年 月 2012(H24)年8月
初 入 選 詰棋界 1955(S30)年 1 月号 (安南詰)
旧王将 1949(S24)年12月号 (普通詰)
最終発表 詰バラ 2013(H25)年10月号 (安南詰) 没後発表
詰バラ 2013(H25)年11月号 (普通詰) 没後発表
筆 名 長田富美夫
小石広志
S u b
酒中独歩
論 文 両王手の研究 詰棋界1954年 8 月(21号)～1955年 8 月(26号)

安南詰全集

安南詰一筋 足跡を訪ねて

2019年 1月 1日 初 版
2024年 8月 1日 第 2 版

作 者	小西 寛
資料提供	磯田 征一 大野 孝 柴田 昭彦
余詰検討	磯田 征一 大野 孝 佐藤 達也
修 正 図	大野 孝 佐藤 達也
編 集	佐藤 達也
発 行	安南詰啓蒙希望者たち

ISBN978-0-1931-0825-7

C2076 ¥0000E

定価： 本体 0 円 + 税

佐藤達也 編



磯田征一氏

躍動的で気持ちのいい手筋ですね。(No.008)

美しい。「待宵」だ。(No.080)

大野 孝氏

短い間でしたが、思い出は尽きません。

みなさまも作者の世界に浸ってください。(作品集より)